

令和7年度使用中学校用教科書 調査研究報告書

種目（国語）

	発行者番号	2	1 5																																																		
	発行者名	東京書籍	三省堂																																																		
1	<p><u>単元・題材等の構成及び内容の取扱い</u></p> <p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を効果的に構成して、単元・題材等が設定されているか</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が図られるよう工夫がなされているか</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む観点から、対話的、協働的な学びの場が設定できるなど、学習（言語活動等）が充実し、深い学びにつなげることができているか</p> <p>④主体的に学びに向かう力を育むために、興味・関心を喚起するよう工夫がなされているか</p>	<p>①・巻頭の「領域別教材一覧」で、付けたい力が「知識・技能」、「思考・判断・表現等」別に示されている。 また、SDGsとの関連も示されている。 ・各学年、各領域の教材数は右の通りである。 ・各教材に、「見通す」「振り返る」を配置し、見通しと次の学習への展望がもてるよう工夫されている。 ・3年では、高校への橋渡しとなるよう、社会性の高い題材等が設定されている。</p> <p>②・基礎的・基本的な内容を体系的に学ぶことができる。 ・情報リテラシーを育成できるよう「情報と論理の学び」が配置されている。 ・文法は、導入の「文法の窓」と詳細解説の「文法解説」の2部構成がとられている。 ・語彙を豊かにするために、「日本語探検」「広がる言葉」が配置されている。 ・古典では、別の章段などの資料を充実させることで楽しく学べるよう工夫している。</p> <p>③・各教材の学習のポイントを「言葉の力」（1年 P.32）と明示し、多彩な言語活動の中で活用することを通して「思考力・判断力・表現力等」を育成できる。 ・生徒が何に着眼して学習すればよいのか分かるよう、生徒の実態に合わせて書かれた「問いかけ」が明示されている。（3年 P.34） ・「情報と論理の学び」「文学の学び」「対話の学び」の3系統からなる「学びを支える言葉の力」で基礎的な力を習得し、前後の3領域で活用できるよう配列も考慮されている。 ・図表を見ながら文章を読む問題、文章を読み比べる教材、社会問題に関する教材がある。</p> <p>④・各教材に「てびき」が付されており学習しやすいよう配慮されている。 ・「未来への扉」に9つのテーマが設定されており、これまで学習した「言葉の力」を使って、主体的・対話的で深い学びが実現できるよう工夫している。（全 P.9 3年 P.214 1年 P.220） ・学期ごとに読書を勧められるように、3か所に読書案内がある。</p> <table border="1" data-bbox="1394 304 1721 493"> <thead> <tr> <th>領域</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>話・聞</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>書く</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>読む</td> <td>18</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>52</td> </tr> <tr> <td>知・技</td> <td>20</td> <td>19</td> <td>16</td> <td>55</td> </tr> </tbody> </table>	領域	1年	2年	3年	合計	話・聞	3	3	3	9	書く	5	5	4	14	読む	18	17	17	52	知・技	20	19	16	55	<p>①・巻頭の「領域別教材一覧」で、「知識・技能」、「思考・判断・表現等」別に付けたい力が明確に示されている。 ・各学年、各領域の教材数は右の通りである。 ・「読むこと」の学習と関連付けた「書くこと」「話すこと・聞くこと」の教材が随所に配置されている。 ・習得したことが生きて働く、効果的な学習ができるよう工夫されている。（3年 P.100 112） ・文章の長さは、各学年の発達段階に適合しており、意欲的に学べるよう配慮されている。 ②・図解と簡潔な文章によって可視化した「読み方を学ぼう」によって、読み方に関する知識・技能の汎用性を高め定着できるようにしている。 ・図解を用いて分かりやすく示した「思考の方法」が位置付けられており、情報と情報との関係を捉え、考えを整理する学習につなげている。 ・「語彙を豊かに」を各教材に設定し、多様な語句を身に付け、語感を磨くことができるように配慮されている。 ③・日常生活や現代社会における課題を取り上げ、対話を通して問題解決をする言語活動が設定されている。（3年 P.88 100 152） ・文章構成や論理展開が明快な教材が多く、論理的思考力を高めるのに適している。（1年 P.48 98） ④・「学習のポイント」や「学びの道しるべ」を示し、ゴールイメージをもたせる工夫がなされている。（1年 P.10） ・経済、国際理解、平和、防災、SDGsといった現代の課題を取り上げることで、自身と社会との関わりを考えられるようにしている。 ・巻末の資料に読書案内がある。 ・「読むこと」の領域の教材に、「学びの道しるべ」が付いている。</p> <table border="1" data-bbox="2537 304 2864 493"> <thead> <tr> <th>領域</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>話・聞</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>書く</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>読む</td> <td>15</td> <td>16</td> <td>15</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>知・技</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>21</td> </tr> </tbody> </table>	領域	1年	2年	3年	合計	話・聞	4	4	5	13	書く	6	6	4	16	読む	15	16	15	46	知・技	7	7	7	21
領域	1年	2年	3年	合計																																																	
話・聞	3	3	3	9																																																	
書く	5	5	4	14																																																	
読む	18	17	17	52																																																	
知・技	20	19	16	55																																																	
領域	1年	2年	3年	合計																																																	
話・聞	4	4	5	13																																																	
書く	6	6	4	16																																																	
読む	15	16	15	46																																																	
知・技	7	7	7	21																																																	
2	<p><u>文章表現・資料等</u></p> <p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等に配慮がなされているか</p> <p>②子どもの自主的、自発的な学習を促すために、指導者にとっても資料・手引き等が有効に使われるものとなっているか</p>	<p>①・点画の方向や部首等、書き文字の筆遣いや形に近い字体を用いている。（1年 P.200 罰 感 ） ・行を数えやすいように、各行の下に数字と点がある。 ・小さめの文字等には、ゴシック体を用いられている。 ・小学校から中学校への円滑なつながりの配慮として、1年の最初の教材は小学校高学年と同じ大きさの教科書体で示されている。</p> <p>②・デジタルコンテンツの使い方・コンテンツ一覧がある。 ・「言葉を広げよう」では、1870語の語彙が示されている。 ・各教材に二次元コードが付いており、学習に活用できる。1つのコードから様々な資料(導入に使える動画、教科書本文、練習問題)を選んで閲覧できるので、目的に応じて使うことができる。</p>	<p>①・1年の教科書は、字の大きさや行間など学習者への配慮がなされている。 ・古典はどの学年においても行間が広めに設定されている。 ・字体や字の大きさ、配色等についてユニバーサルデザインに配慮した紙面構成がなされている。 ・重要な情報は大きく示し、まとまりを囲んだり太字にしたりなど、分かりやすくする工夫がある。</p> <p>②・物語や随筆教材の後にある「読み方を学ぼう」のページで、学習用語や、読み取りにおける視点をもつことができる。 ・二次元コード参照先コンテンツ一覧がある。解説動画やワークシートは家庭学習等にも有用である。 ・「学習用語一覧」「語彙の広がり」等、語句の知識を広げたり深めたりできる資料がある。</p>																																																		
3	<p><u>挿絵・図表及び紙質・造本</u></p> <p>①内容に応じて、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されているか</p> <p>②図版の大きさ、位置等に配慮がなされているか</p>	<p>①・紙質は長時間の使用にも適しており、配色や挿絵も教科書として適切である。 ・ページ数も抑えられており、重量に関する負担感軽減につながる。</p>	<p>①・紙質は長時間の使用にも適しており、配色や挿絵も教科書として適切である。 ・項目ごとの色分けもふんだんになされており、色彩が豊かである。</p>																																																		
4	<p>教科独自の特色や長所</p> <p>①学習内容が子どもにとって分かりやすく、学んでみたいと思う工夫がなされているか</p>	<p>①・「情報の整理」に特化した教材が位置づけられている。 ・授業で扱った題材をもとに、「情報と論理の学び」「思考のヒント」で情報整理の仕方を学ぶようになっている。（3年 P.280） ・巻末資料には、ノートの書き方例や辞書の使い方、原稿用紙の使い方や思考ツール等が示されている。</p>	<p>①・生徒が知ってるであろう芸能人等の文章が教材化されており、生徒が興味をもって学習に臨めるよう工夫されている。 ・巻頭や巻末には、情報整理の仕方が示されており、生徒が学びやすいような思考ツール等の具体例がある。</p>																																																		
5	<p>大分市の子どもの実態</p> <p>①大分市の子どもにとって親しみがあり、興味をもてる題材が扱われているか</p>	<p>①・大分市の課題である「書くこと」に関する教材は4～5教材設定されている。前後の教材と関連付けられている。単元構成で、学習しやすい配慮がなされている。また、説明が簡潔で分かりやすい。 ・新学期、早い段階で「詩・短歌・俳句の創作」をすることで、交流する場を設定できる。 ・東日本大震災を扱った題材がある。（3年 P.188） ・菊池寛の「形」が掲載されている。（3年） ・特徴的な言語活動 1年 詩の創作、レポート、案内文・報告文、意見文、随筆 2年 短歌の創作、紹介文、依頼状・お礼状、意見文、短歌・物語 3年 俳句の創作・句会、新聞、批評文、未来への手紙</p>	<p>①・大分市の課題である「書くこと」に関する教材は4～6教材設定されている。 ・前後の教材と関連付けられている単元構成で学習しやすい配慮がなされている。 ・自然、環境、情報をテーマに身近な話題から社会的な内容へと題材が配られている。 ・テレビ番組に出ているタレントや歌手の文章や詩が示されている。（3年 P.224） ・特徴的な言語活動 1年 レポート、随筆、リーフレット、詩、意見文、新聞 2年 手紙・メール、短歌・俳句、投稿文、創作文、論説文、情報誌 3年 課題作文、批評文、漢字一字（説明）、名言集づくり（説明）</p>																																																		
	備考																																																				

令和7年度使用中学校用教科書 調査研究報告書

種目（国語）

	発行者番号	17	38																									
	発行者名	教育出版	光村図書出版																									
1	<p><u>単元・題材等の構成及び内容の取扱い</u></p> <p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を効果的に構成して、単元・題材等が設定されているか</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が図られるよう工夫がなされているか</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む観点から、対話的、協働的な学びの場が設定できるなど、学習（言語活動等）が充実し、深い学びにつなげることができているか</p> <p>④主体的に学びに向かう力を育むために、興味・関心を喚起するよう工夫がなされているか</p>	<p>①・巻頭の「領域別教材一覧」で付けたい力が、「知識・技能」、「思考・判断・表現等」別に示されている。また、SDGsとの関連も示されている。</p> <p>・各学年、各領域の教材数は右の通りである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>領域</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>話・聞</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>書く</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>読む</td> <td>17</td> <td>18</td> <td>20</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>知・技</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「文学的文章」の教材では、学習が進むにつれて長文作品へ、「説明的文章」の教材では、構成の明確な文章から徐々に評論・論説へと、発達の段階を考え配列されている。</p> <p>・「習得」と「活用」を、螺旋的に難易度を上げながら指導できるよう、系統的な単元構成がなされている。</p> <p>・古典文学教材では、視覚資料やコラムの設定によって、伝統的言語文化に親しめるよう工夫されている。</p> <p>・日常生活や言語生活に応じた内容を設定し、意欲的に取り組めるようにしている。</p> <p>②・言語教材では、単元内に「言葉の小窓」「文法の小窓」を配置し、日常生活からスムーズに学習に入れるように工夫している。</p> <p>・「理解に役立つ言葉」「表現に役立つ言葉」を巻末付録に設け、語彙の拡充が図れるよう工夫している。</p> <p>・漢詩を3年に配置することで「おくのほそ道」の学習と関連付けやすいように工夫されている。</p> <p>③・図表や写真等と文章の関係を捉えて読む題材や、複数の文章を比較して読む題材を用いて、「思考力・判断力・表現力等」が高められるよう工夫している。</p> <p>・多様なテキストを組み合わせて読み自分の考えを書く「学びのチャレンジ」を配置し、読解力の向上に配慮している。</p> <p>④・教材の末尾に設けられた「学びを生かす」によって、他教科や日常生活、社会生活との関連を意識できるようにしている。</p> <p>・「内容を捉えよう」「読み深めよう」「自分の考えを伝え合おう」の3段階の学習ステップが提示されており、主体的・対話的で深い学びが実現できるよう工夫されている。(3年 P.241)</p> <p>・単元ごとに読書案内がある。</p>	領域	1年	2年	3年	合計	話・聞	4	4	5	13	書く	5	5	4	14	読む	17	18	20	55	知・技	10	10	10	30	<p>①・巻頭の領域別教材一覧「学習の見通しをもとう」で付けたい力が、「知識・技能」、「思考・判断・表現等」別に簡潔に示されている。また、他教科やSDGsとの関連も示されている。</p> <p>・「話す・聞く」の領域の教材が充実している。</p> <p>・各学年、各領域の教材数は右の通りである。</p> <p>・一人1台端末の縦置きにも対応した紙面構成となっている。</p> <p>・ICT機器を活用すると効果的な場面を随所に位置付けている。</p> <p>②・語彙を増やし、語感を磨く資料がある「語彙を豊かに」「言の葉ポケット」がある。</p> <p>・思考や表現を支える言葉が紹介されている「語彙ブック」は、既習事項を確認することもできる。</p> <p>・古典教材では、観音開きの紙面で古典の世界を堪能できるよう工夫している。</p> <p>・3年で文語文法を発展的な学習として扱い、高校での学習に配慮している。</p> <p>③・教材や教科を超えて活用できる普遍的な資質能力が「学びのカギ・学びの地図」で示されている。これらを活用しながら各領域の言語活動を行う構成となっている。(3年 P.50 51)</p> <p>・「書くこと」に役立つ小さなワークとして「書くことのミニレッスン」が配置されている。</p> <p>・文学的文章は、多様な作品が偏りなく配置され、人権教育に配慮されている。</p> <p>・説明的文章は、現代社会を生きるのにふさわしい題材を配置し、「学びへの扉」や「学びのカギ」によって論理的思考のモデルを示している。</p> <p>④・生徒が主体的に学習に取り組めるよう、全領域で「学習の流れ」と「学習のポイント」が示されている。</p> <p>・学期ごとに扱えるよう、3か所、読書案内がある。</p> <p>・考え方を図やフローチャートで示し、生徒が主体的に学びやすくなるよう工夫されている。</p> <p>・1年「詩三篇」→「表現技法」→「比喻で広がる言葉の世界」と、知識の習得及び理解しやすい順に配置されている。</p>
領域	1年	2年	3年	合計																								
話・聞	4	4	5	13																								
書く	5	5	4	14																								
読む	17	18	20	55																								
知・技	10	10	10	30																								
2	<p><u>文章表現・資料等</u></p> <p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等に配慮がなされているか</p> <p>②子どもの自主的、自発的な学習を促すために、指導者にとっても資料・手引き等が有効に使われるものとなっているか</p>	<p>①・1年用の教科書については、主教材は文字も大きく行間もゆとりがあって見やすく学習しやすい。</p> <p>・領域や学習の重点をアイコン、マーク等で示している。</p> <p>・行を数えやすいように、各行の下に数字と点がある。</p> <p>②・「学びナビ」で、その単元における学習の重点やヒントを確認することができる。</p> <p>・二次元コードでは、「教材で学ぶ言葉一覧」の資料や作文の例等が示されている。</p>	<p>①・字体や字の大きさ、配色等についてユニバーサルデザインに配慮した紙面構成がなされている。</p> <p>・行を数えやすいように、各行の下に数字と点がある。</p> <p>②・「学びのカギ」で、学習における重点となる行に色付けされている。</p> <p>・「学習のための用語一覧」がある。</p> <p>・二次元コードからミニレッスン、漢字一覧、朗読、スピーチ動画作者インタビュー等の資料を活用することができる。議論の進め方を学習する資料もある。</p>																									
3	<p><u>挿絵・図表及び紙質・造本</u></p> <p>①内容に応じて、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されているか</p> <p>②図版の大きさ、位置等に配慮がなされているか</p>	<p>①・紙質は長時間の使用にも適しており、配色や挿絵も教科書として適切である。</p> <p>・挿絵は写真やカラーを多く用い、視覚的に理解が深められるようになっている。</p> <p>イラストが生徒に親しみやすいものとなっている。</p>	<p>①・紙質は長時間の使用にも適しており、配色や挿絵も教科書として適切である。</p> <p>・言葉のイメージを広げさせるためのイラストが随所にある。</p>																									
4	<p>教科独自の特色や長所</p> <p>①学習内容が子どもにとって分かりやすく、学んでみたいと思う工夫がなされているか</p>	<p>①・SDGsやエシカル、SNSやメディアリテラシー、AI等今日的な課題と関連ある教材を取り入れている。</p> <p>・写真・広告・漫画・SNS・脚本・映像作品・新聞・実用文（取扱書等）と題材が具体的である。</p> <p>・情報の扱いについては、巻末の「アイデアの一覧」と「学びナビ」に思考ツールが示されている。</p>	<p>①・説明的文章の教材や情報に特化した単元の後で、SDGs等と関連させながら、意見文や批評文を書く単元が位置づけられている。</p> <p>・巻頭の「思考の地図」や情報と情報の関係について学ぶ「思考のレッスン」で「思考ツール」等を使った情報整理の仕方が示され、練習問題も配置されている。</p> <p>・1年の古典教材では、文語文の横に口語文が掲載され、生徒が内容を確認しやすいようになっている。</p>																									
5	<p>大分市の子どもの実態</p> <p>①大分市の子どものために親しみがあり、興味をもてる題材が扱われているか</p>	<p>①・教材の文章が比較的短めであるので、文章全体が把握しやすい。</p> <p>・「学びのチャレンジ」で情報活用の問題に取り組める。(HP)</p> <p>・特徴的な言語活動</p> <p>1年 紹介文、案内文、意見文、随筆、報告文・推敲</p> <p>2年 新聞の投書、手紙・メール、説明文、意見文、物語（ショートショート）</p> <p>3年 客観的な記事、批評文、自己PR文、作品集を作る（3年間を振り返って）</p>	<p>①・学年の段階に応じて、イメージしやすい身近な題材から、次第に社会を意識した題材に配置されている。</p> <p>・特徴的な言語活動</p> <p>1年 授業ノートのとり方、情報の整理、案内文、資料の引用、随筆、レポート</p> <p>2年 職業ガイド（紹介）を作る、手紙や電子メール、推敲、意見文、物語、レポート</p> <p>3年 グラフを基に小論文、推敲、批評文、3年間の振り返り</p>																									
	備考																											

令和7年度使用中学校用教科書 調査研究報告書

種目（書写）

	発行者番号	2	15
	発行者名	東京書籍	三省堂
1	<p><u>単元・題材等の構成及び内容の取扱い</u></p> <p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を効果的に構成して、単元・題材等が設定されているか</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が図られるよう工夫がなされているか</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む観点から、対話的、協働的な学びの場が設定できるなど、学習（言語活動等）が充実し、深い学びにつなげることができているか</p> <p>④主体的に学びに向かう力を育むために、興味・関心を喚起するよう工夫がなされているか</p>	<p>①・第1学年 35（3単元）第2学年 25（2単元）第3学年 24（1単元）</p> <p>・「書写のかぎ」を核とし、「1見つめよう」「2確かめよう」「3生かそう」という単元展開によって「何を学ぶのか」「どのように学ぶのか」を明確化している。</p> <p>②・「はじめに」でこれまで学んできた基本を確認できる。</p> <p>・「書写テストに挑戦」（P.44、70、88）が学年別にあり、基礎的・基本的な知識を確認できる。</p> <p>③・国語の言語活動や、他教科で扱われる言語教材や題材とリンクさせることで、深い学びを図っている。</p> <p>④・季節や場面に応じた資料が多数掲載されている。</p>	<p>①・第1学年 34（3単元）第2学年 15（3単元）第3学年 13（1単元）</p> <p>・単元構成を見開きで示し、3年間の見通しを持たせている。</p> <p>・「振り返り」で、教材で学んだことを実際に文字で書き込んだり自分の学びを記したりする欄が設定されている。</p> <p>②・「学習のはじめに」で姿勢や持ち方を押さえている。</p> <p>・学力テスト問題（P.66、67）で、基礎的・基本的な知識を確認できる。模範解答だけでなく、解説（P.103）が入っている。</p> <p>③・国語の言語活動や他教科で扱う言語教材や題材とリンクさせることで深い学びを図っている。</p> <p>・グループ新聞作りや楷書と行書の使い分けで対話的な学びの場が設定できている。</p> <p>④・単元終わりには、発展的な資料を準備し、興味・関心を喚起するよう工夫している。</p>
2	<p><u>文章表現・資料等</u></p> <p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等に配慮がなされているか</p> <p>②子どもの自主的、自発的な学習を促すために、指導者にとっても資料・手引き等が有効に使われるものとなっているか</p>	<p>①・各学年とも簡潔な文章表現になっている。</p> <p>・ユニバーサルカラー・ユニバーサルデザインフォントの配慮がされている。</p> <p>②・巻末に「書写活用ブック」が41ページ分ある。</p> <p>・関連資料の二次元コードのコンテンツが66あり、書き方動画に工夫がされている。</p>	<p>①・各学年とも簡潔な文章表現になっている。</p> <p>・ユニバーサルカラー・ユニバーサルデザインフォントの配慮がされている。</p> <p>②・巻末に「資料編」が42ページ分ある。</p> <p>・関連資料の二次元コードのコンテンツが78あり、巻末に二次元コード一覧表（P.104）がある。</p> <p>・NHK高校講座とのリンクや、文字に関わる仕事の達人の紹介がある。</p>
3	<p><u>挿絵・図表及び紙質・造本</u></p> <p>①内容に応じて、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されているか</p> <p>②図版の大きさ、位置等に配慮がなされているか</p>	<p>①・姿勢や筆の持ち方、筆使いが写真で示されたり、実物の写真が適切に取り入れられられたりしている。</p> <p>②・折り込みを用いた実物大手本がある。</p>	<p>①・姿勢や筆の持ち方、筆使いが写真で示されたり、実物の写真が適切に取り入れられられたりしている。</p> <p>②・折り込みを用いた実物大手本がある。</p>
4	<p>教科独自の特色や長所</p> <p>①学習内容が子どもにとって分かりやすく、学んでみたいと思う工夫がなされているか</p>	<p>①・学習のポイントを「書写のかぎ」でまとめている。</p> <p>・行書の導入では、よく出てくる4つの動きを確かめる学習が設定されている。</p>	<p>①・行書のはじめに行書の特徴を押さえている。</p> <p>・毛筆で学んだことを硬筆に生かすような学習の流れになっている。</p> <p>・練習課題が楷書と行書の2パターンで示されている。</p>
5	<p>大分市の子どもの実態</p> <p>①大分市の子どものために親しみがあり、興味をもてる題材が扱われているか</p>	<p>①・学習に関する動画や資料を閲覧できる二次元コードがあり、主体的に学ぶことができる。</p>	<p>①・学習に関する動画や資料を閲覧できる二次元コードがあり、主体的に学ぶことができる。</p>
	備考		

令和7年度使用中学校用教科書 調査研究報告書

種目（書写）

	発行者番号	17	38
	発行者名	教育出版	光村図書出版
1	<u>単元・題材等の構成及び内容の取扱い</u> ①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を効果的に構成して、単元・題材等が設定されているか ②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が図られるよう工夫がなされているか ③思考力、判断力、表現力等を育む観点から、対話的、協働的な学びの場が設定できるなど、学習（言語活動等）が充実し、深い学びにつなげることができているか ④主体的に学びに向かう力を育むために、興味・関心を喚起するよう工夫がなされているか	①・第1学年 38（3単元）第2学年 28（3単元）第3学年 26（2単元） ・学習の振り返りや気付いたことを書き込める欄を設定している。 ②・「学習の進め方」を掲載し、「目標」「考えよう」「生かそう」「振り返ろう」という学習手順を示している。 ・「書写テストに挑戦」（P.44、70、88）が学年別にあり、基礎的・基本的な知識を確認できる。 ③・国語の言語活動や、他教科で扱われる言語教材や題材とリンクさせることで、深い学びを図っている。 ④・季節や場面に応じた資料が多数掲載されている。	①・第1学年 34（2単元）第2学年 19（2単元）第3学年 21（2単元） ・「学びのカギ」によって、単元のポイントが示されている。 ②・生涯にわたって学習内容を活用する力を付けることに重点を置き、バランスよく題材を扱っている。 ・「書写テストに挑戦しよう」（別冊書写ブック P.20、21）で基礎的・基本的な知識を確認できる。 ③・国語の言語活動や、他教科で扱われる言語教材や題材とリンクさせることで、深い学びを図っている。 ④・学習活動や日常生活の事例を多くあげることで、学習意欲の喚起を図っている。 ・漫画（P.88、89）を用いて、「手書きの良さ」について興味・関心を高めている。
2	<u>文章表現・資料等</u> ①文字、行間、鮮明度、文章表現等に配慮がなされているか ②子どもの自主的、自発的な学習を促すために、指導者にとっても資料・手引き等が有効に使われるものとなっているか	①・各学年とも簡潔な文章表現になっている。 ・ユニバーサルカラー・ユニバーサルデザインフォントの配慮がされている。 ②・巻末に「書写活用ブック」が41ページ分ある。 ・関連資料の二次元コードのコンテンツが66あり、書き方動画に工夫がされている。	①・各学年とも簡潔な文章表現になっている。 ・ユニバーサルカラー・ユニバーサルデザインフォントの配慮がされている。 ②・巻末に「日常に役立つ書式」等の資料が55ページ分ある。 ・関連資料の二次元コードのコンテンツが463ある。 ・SDGs、防災、情報モラル、左利き用動画が収録されている。
3	<u>挿絵・図表及び紙質・造本</u> ①内容に応じて、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されているか ②図版の大きさ、位置等に配慮がなされているか	①・姿勢や筆の持ち方、筆使いが写真で示されたり、実物の写真が適切に取り入れられたりしている。 ②・折り込みを用いた実物大手本がある。 ・半紙形のサイズを採用している。	①・姿勢や筆の持ち方、筆使いが写真で示されたり、実物の写真が適切に取り入れられたりしている。 ②・折り込みを用いた実物大手本がある。
4	教科独自の特色や長所 ①学習内容が子どもにとって分かりやすく、学んでみたいと思う工夫がなされているか	①・ノート の 使い 方（縦書き、横書き）の例が示され、日常の学習に生かせるようになっている。 ・毛筆は中心線や外形を示すものがあり、意識できるようになっている。 ・行書の特徴である書く速さを意識させる学習がある。	①・別冊「書写ブック」で行書の特徴等がまとめられている。 ・行書の特徴を「4つのスイッチ」でまとめ、その特徴を意識した漢字を順番に学習できる。 ・練習課題が楷書と行書の2パターンで示されている。
5	大分市の子どもの実態 ①大分市の子どものために親しみがあり、興味をもてる題材が扱われているか	①・学習に関する動画や資料を閲覧できる二次元コードがあり、主体的に学ぶことができる。	①・学習に関する動画や資料を閲覧できる二次元コードがあり、主体的に学ぶことができる。
	備考		

令和7年度使用中学校用教科書 調査研究報告書

種目（ 社会（地理的分野） ）

	発行者番号	2	1 7
	発行者名	東京書籍	教育出版
1	<p><u>単元・題材等の構成及び内容の取扱い</u></p> <p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を効果的に構成して、単元・題材等が設定されているか</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が図られるよう工夫がなされているか</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む観点から、対話的、協働的な学びの場が設定できるなど、学習（言語活動等）が充実し、深い学びにつなげることができているか</p> <p>④主体的に学びに向かう力を育むために、興味・関心を喚起するよう工夫がなされているか</p>	<p>①・巻頭に地理的な見方・考え方を説明する「地理を学ぶ5つのミカタ」がある。</p> <p>・単元構成を図解する「地理の学習をはじめよう」があり、編を通した問いが設定されている。</p> <p>・章は「①つかむ→②追求する→③解決する」で構成されている。</p> <p>・各単元に「導入の活動」と「まとめの活動」がある。</p> <p>・各単元に「探究課題」が設定されている。</p> <p>・1単位時間ごとに「学習課題」と「チェック&トライ」がある。</p> <p>・基本的に1単位時間の学習内容が見開き2ページで編集されている。</p> <p>②・巻末に「用語解説」がある。</p> <p>・要所要所に資料活用の技能を身に付ける「スキル・アップ」や「資料から発見！」がある。</p> <p>・まとめの活動として「確かめよう」や「ワードチェック」がある。</p> <p>③・導入の活動とまとめの活動に、対話的な活動を促す「みんなでチャレンジ」がある。</p> <p>④・まとめの活動に「探究のステップ」や「探究課題を解決しよう」がある。</p> <p>・章の始めには「小学校の社会で習ったことば」を確認するコーナーがある。</p> <p>・学びを広げ、より深い学びにつなげるコラム「もっと知りたい」や「未来にアクセス」がある。</p> <p>・巻末に「デジタルコンテンツを活用しよう」があり、随所に二次元コードがある。</p>	<p>①・各章の最初のページに「地理的な見方・考え方」の解説ページがある。</p> <p>・各編の最初のページに「学習を見通そう」のページがある。</p> <p>・各単元に「導入」と「学習のまとめと表現」がある。</p> <p>・各章に「学習課題(章を見通した学習課題)」が設定されている。</p> <p>・1単位時間ごとに「学習課題」と「確認と表現」がある。</p> <p>・基本的に1単位時間の学習内容が見開き2ページで編集されている。</p> <p>②・巻末に「用語解説」がある。</p> <p>・要所要所に資料活用の技能を身に付ける「地理にアプローチ」や「地理の技」、「THINK!」がある。</p> <p>・まとめの活動として「学習したことを確認しよう」や「ワードチェック」がある。</p> <p>③・思考力・判断力・表現力を高める「TRY!」がある。</p> <p>④・導入資料等を解説する「LOOK!」がある。</p> <p>・興味や関心を広げていくコラム「地理の窓」がある。</p> <p>・さまざまな情報をウェブサイトで見ることができる二次元コードが、随所にある。</p> <p>・要所要所にSDGsを扱った「クロスロード」がある。</p>
2	<p><u>文章表現・資料等</u></p> <p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等に配慮がなされているか</p> <p>②子どもの自主的、自発的な学習を促すために、指導者にとっても資料・手引き等が有効に使われるものとなっているか</p>	<p>①・文字はユニバーサルデザインフォントを使用しており、読み間違いを減らすように工夫している。</p> <p>・学習に集中できるようにフラットでシンプルなデザインにしている。</p> <p>・行間をしっかりと取っている。</p> <p>・カラーユニバーサルデザインに対応している。</p> <p>②・二次元コードからつながるコンテンツの数は351。</p> <p>・資料（動画、ワークシート、練習問題）や外部サイトにつながる、さまざまなシーンに最適な二次元コードを載せている。</p> <p>・重要語句の詳しい解説を同じページに載せている。</p> <p>・事項と地名の索引を分けている。</p>	<p>①・文字はユニバーサルデザインフォントを使用しており、読み間違いを減らすように工夫している。</p> <p>・カラーユニバーサルデザインに対応しており、色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすい工夫をしている。</p> <p>・キャラクターの吹き出しは読みやすいように改行を工夫している。</p> <p>・ふりがなを重要語句や難読漢字以外にもふっている。</p> <p>②・紙面に印刷された二次元コードからつながるコンテンツは64で、資料（動画やクイズ）は外部サイトにつながる。</p>
3	<p><u>挿絵・図表及び紙質・造本</u></p> <p>①内容に応じて、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されているか</p> <p>②図版の大きさ、位置等に配慮がなされているか</p>	<p>①・内容に応じた適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されている。</p> <p>・二次元コードで様々な写真、図表、統計、主題図、動画が見られる。</p> <p>・世界の諸地域の導入では、印象的な写真を採用し地域の特徴を分かりやすくした「世界の窓」を新設している。</p> <p>②・図版の大きさは、大きく見やすい。総ページ数を減らし、総重量を2.4%軽量化している。</p> <p>・ユニバーサルデザインのフォントや配色、レイアウトを採用している。</p> <p>・巻末資料写真…家畜9、鉱産物4、農産物14。</p>	<p>①・内容に応じた適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されている。</p> <p>・二次元コードで様々な写真、図表、統計、主題図、動画が見られる。</p> <p>・各単元の導入に地域的特色や人々の生活の営みを読み取ることができる写真を掲載している。</p> <p>・地図と読み物資料の掲載が多い。</p> <p>②・図版の大きさは、大きく見やすい。</p> <p>・ユニバーサルデザインのフォントや配色、レイアウトを採用。</p> <p>・本誌中間ページに見開きの日本列島衛星写真掲載。巻末資料写真・・・家畜8、鉱産物8、農産物18。</p>
4	<p>教科独自の特色や長所</p> <p>①学習内容が子どもにとって分かりやすく、学んでみたいと思う工夫がなされているか</p>	<p>①・北方領土、竹島、尖閣諸島について、歴史的経緯を踏まえ、地図や図、写真を用いて、我が国固有の領土であることを明確にしている。</p> <p>・北方領土については「不法に占拠」と記述している。</p> <p>・竹島については「不法に占拠」と記述している。</p> <p>・尖閣諸島については、領土問題はないが、中国や台湾が領有権を主張していることを記述している。</p> <p>・学習課題は「領土をめぐる問題をかかえる島々はどのような地理的特色をもっているのでしょうか」となっている。</p> <p>・学習のまとめは「それぞれの地域の特色を地形や気候などに分けて整理しましょう。」「領土をめぐる問題の背景にはそれぞれの地域のどのような地理的特色があるか説明しましょう」となっている。</p>	<p>①・北方領土、竹島、尖閣諸島について、歴史的経緯を踏まえ、地図や図、写真を用いて、我が国固有の領土であることを明確にしている。</p> <p>・北方領土については「不法に占拠」と記述している。ビザなし交流の写真がある。</p> <p>・竹島については「不法に占拠」と記述している。</p> <p>・尖閣諸島については、中国船がたびたび日本に侵入する事態が生じていることについて記述している。</p> <p>・学習課題は「日本の領土などをめぐる対立について理解し、平和的な解決のために必要なことを考えてみましょう」となっている。</p> <p>・学習のまとめは「日本の領土をめぐるロシア、中国、韓国との関係について表にまとめよう」「どこの国の領土でもない大陸を調べ、その理由を考えよう」となっている。</p>
5	<p>大分市の子どもの実態</p> <p>①大分市の子どもにとって親しみがあり、興味をもてる題材が扱われているか</p>	<p>①・九州地方の単元には、日田市の砂防ダムや別府温泉の湯けむり、八丁原地熱発電所の写真が掲載されている。</p>	<p>①・九州地方の単元には、別府温泉の湯けむりや八丁原地熱発電所の写真が掲載されている。</p>
	備考		

令和7年度使用中学校用教科書 調査研究報告書

種目（ 社会（地理的分野） ）

	発行者番号	4 6	1 1 6
	発行者名	帝国書院	日本文教出版
1	<p><u>単元・題材等の構成及び内容の取扱い</u></p> <p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を効果的に構成して、単元・題材等が設定されているか</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が図られるよう工夫がなされているか</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む観点から、対話的、協働的な学びの場が設定できるなど、学習（言語活動等）が充実し、深い学びにつなげることができているか</p> <p>④主体的に学びに向かう力を育むために、興味・関心を喚起するよう工夫がなされているか</p>	<p>①・巻頭に「地理的な見方・考え方」を解説するページがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に学習の全体像が示されており、「地理分野を学ぶ意義」も記されている。 ・各単元（章や節）に単元を貫く問いが設定されており、1 単位時間のページにも記載されている。 ・各単元に「単元の見通し（写真で眺める）」と「単元の振り返り（学習を振り返ろう）」がある。 ・1 単位時間ごとに「学習課題」と「確認しよう・説明しよう」がある。 ・基本的に1 単位時間の学習内容が見開き2 ページで編集されている。 <p>②・随所に分かりにくい用語を詳しく説明する「解説」がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りの活動として「節の重要語句」がある。 ・巻頭に「地図帳を活用した学び方」のページがある。 ・随所に「地図帳活用」のコーナーがある。 ・随所に資料活用の技能を身に付ける「技能をみがく」がある。 <p>③・主体的・対話的で深い学びを実践するコラム「アクティブ地理AL」がある。</p> <p>④・巻頭に「思考ツールを活用しよう」のページがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未来の社会をつくる取組を紹介するコラム「未来に向けて」がある。 ・学習内容に関連したコラム「地理プラス」がある。 ・巻頭に「QR コンテンツの活用」コーナーがあり、随所に二次元コードがある。 	<p>①・巻頭に「地理的な見方・考え方」を解説するページがあり、1 単位時間ごとに例を示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各単元（編・章・節）の問いが設定されている。 ・各単元に「学習のはじめに」と「まとめとふり返し」がある。 ・1 単位時間ごとに「学習課題」と「確認・表現」がある。 ・基本的に1 単位時間の学習内容が見開き2 ページで編集されている。 <p>②・巻末に「用語解説」がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りの活動として用語チェックのコーナーがある。 ・随所に資料活用の技能を身に付ける「スキルUP」がある。 <p>③・深い学びを実現するためのコーナー「議論してみよう」がある。</p> <p>④・世界の諸地域や日本の諸地域の節では、「節の問いを立てよう」がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容の理解を助けるコラム「地理+α」がある。 ・SDGs に関連したコラム「持続可能な地域をめざして」がある。 ・具体的な作業を通して学習内容を深めるコーナー「トライ」がある。 ・随所に「教科書二次元コードコンテンツ」がある。
2	<p><u>文章表現・資料等</u></p> <p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等に配慮がなされているか</p> <p>②子どもの自主的、自発的な学習を促すために、指導者にとっても資料・手引き等が有効に使われるものとなっているか</p>	<p>①・本文や図版などでは、文字をはっきり読み取ることができるユニバーサルデザインフォントが使用され、読み間違いを防ぐように配慮している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カラーユニバーサルデザインに対応している。 ・色数の多いグラフには模様、線種、記号などが使用されている。 ・難読文字にふりがなをふっている。 <p>②・二次元コードからつながるコンテンツの数は1705。資料（動画、ワークシート、練習問題）や外部サイトにつながる本文のページや二次元コードの中に用語解説が用意されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料の読み取りのポイントを示した「資料活用」が随所に設置されている。学習内容に関連する事項について細かいリンク機能が付いている。 ・事項と地名の索引を分けている。 	<p>①・見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを使用している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮して作られている。 ・ふりがなには判別しやすいゴシック体を使用。 <p>②・二次元コードからつながるコンテンツの数は301。資料（動画、白地図、練習問題）や外部サイトにつながるコンテンツがある場所にタブレットマークを設けて「動画」「リンク」の文字を入れて、コンテンツの種類を見分けるようにしている。</p>
3	<p><u>挿絵・図表及び紙質・造本</u></p> <p>①内容に応じて、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されているか</p> <p>②図版の大きさ、位置等に配慮がなされているか</p>	<p>①・内容に応じた適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードで様々な写真、図表、統計、主題図、動画が見られる。 ・単元の導入には、印象的な写真を採用し地域の特徴を分かりやすくしている。 ・読み物資料は少なめである。 <p>②・図版は大きく、反射を抑えて鮮明で見やすい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインのフォントや配色、レイアウトを採用している。 ・裏書きせず文字が書き込みやすく軽量の紙を使用している。巻末資料写真・・・家畜7、鉱産物3、農産物21。 	<p>①・内容に応じた適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードで様々な写真、図表、統計、主題図、動画が見られる。 ・地域的特色や人々の生活の営みを読み取ることができる写真を掲載し、学習意欲を喚起させるものになっている。 ・統計資料と絵図の掲載が多い。 <p>②・図版は、大きく鮮明で見やすい。ユニバーサルデザインのフォントや配色、レイアウトを採用。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・裏書きせず軽量の紙を使用している。巻末資料写真・・・家畜7、鉱産物5、農産物17。
4	<p>教科独自の特色や長所</p> <p>①学習内容が子どもにとって分かりやすく、学んでみたいと思う工夫がなされているか</p>	<p>①・北方領土、竹島、尖閣諸島について、歴史的経緯を踏まえ、地図や図、写真を用いて、我が国固有の領土であることを明確にしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北方領土については「不法に占拠」と記述している。ビザなし交流の写真がある。 ・竹島については「不法に占拠」と記述している。漁業が盛んだった昔の写真がある。 ・尖閣諸島については、領土問題はないが、中国や台湾が領有権を主張していることを記述している。 ・学習課題は「領域を構成する三つの要素をP18 図6や本文で確認しよう」となっている。 ・学習のまとめは「日本の領域の特徴を「領土」「排他的経済水域」の語句を使って説明しよう」となっている。 	<p>①・北方領土、竹島、尖閣諸島について、歴史的経緯を踏まえ、地図や図、写真を用いて、我が国固有の領土であることを明確にしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北方領土について「不法に占拠」と記述している。ビザなし交流の写真がある。国境の変化についての地図がある。 ・竹島については「不法に占拠」と記述している。 ・尖閣諸島については、中国船がたびたび日本に侵入する事態が生じていることについて記述している。 ・学習課題は「日本の領域をめぐる問題にともなう排他的経済水域を地図帳で確認しましょう」となっている。 ・学習のまとめは「日本の領域をめぐる問題のそれぞれの背景を、日本の周辺国との位置関係、歴史、資源の観点からまとめよう」となっている。
5	<p>大分市の子どもの実態</p> <p>①大分市の子どものために親しみがあり、興味をもてる題材が扱われているか</p>	<p>①・表紙と九州地方の単元には、由布岳と観光列車「ななつ星 in 九州」の写真が掲載されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九州地方の単元には、別府市の地獄蒸しや八丁原地熱発電所の写真が掲載されている。 	<p>①・九州地方の単元には、別府市の湯けむりや観光客でにぎわう湯布院、八丁原地熱発電所、大分市の太陽光発電所の写真が掲載されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九州地方の単元には、地域ブランドの例として「関あじ・関さば」「大分乾しいたけ」「大分かぼす」が掲載されている。また、「一村一品運動」が本文で紹介されている。
	備考		

令和7年度使用中学校用教科書 調査研究報告書

種目（ 地図 ）

	発行者番号	2	4 6
	発行者名	東京書籍	帝国書院
1	<p><u>単元・題材等の構成及び内容の取扱い</u></p> <p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を効果的に構成して、単元・題材等が設定されているか</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が図られるよう工夫がなされているか</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む観点から、対話的、協働的な学びの場が設定できるなど、学習（言語活動等）が充実し、深い学びにつなげることができているか</p> <p>④主体的に学びに向かう力を育むために、興味・関心を喚起するよう工夫がなされているか</p>	<p>①・ページ総数は176で、「資料」「世界」「日本」「統計」「さくいん」のページで構成されている。</p> <p>・世界の州・日本の地方ごとに「一般図」「鳥瞰図」「主題図」「資料」で構成されている。</p> <p>・領土に関する記述について</p> <p>＊北方領土…日本固有の領土であるが、ロシアが不法に占拠していることの記載がある。</p> <p>＊竹島…日本固有の領土であるが、韓国が不法に占拠していることの記載がある。</p> <p>＊尖閣諸島…日本固有の領土であり、国際社会からも認められていることの記載がある。</p> <p>②・巻頭に「この地図帳の活用方法」のページがある。</p> <p>③・随所に、地図を深く読み取るためのヒントとなる問いのコーナー「Bee's eye」がある。</p> <p>④・SDGsに関する特設ページがある。</p> <p>・「デジタルコンテンツを活用しよう」のコーナーがあり、随所に二次元コードがある。</p>	<p>①・ページ総数は198で、「資料」「世界」「日本」「統計」「さくいん」のページで構成されている。</p> <p>・各地図または資料に、他分野との関連を示すアイコンが付けられている。</p> <p>・世界の州・日本の地方ごとに「一般図」「鳥瞰図」「主題図」「資料」で構成されている。</p> <p>・随所にページ全体に関わる主題（テーマ）「主題学習」がある。</p> <p>・領土に関する記述について</p> <p>＊北方領土…日本固有の領土であるが、ロシアが不法に占拠していることの記載がある。</p> <p>＊竹島…日本固有の領土であるが、韓国が不法に占拠していることの記載がある。</p> <p>＊尖閣諸島…日本固有の領土であることの記載がある。</p> <p>②・巻頭に「この地図帳の使い方」のページがある。</p> <p>③・随所に、地図をもとに学習内容を確認したり深めたりする問いのコーナー「地図で発見！」がある。</p> <p>④・「世界のページ」には「日本との結びつき」のコーナーがある。</p> <p>・SDGsや防災に関する特設ページがある。</p> <p>・「QRコンテンツを活用しよう」のコーナーがあり、随所に二次元コードがある。</p>
2	<p><u>文章表現・資料等</u></p> <p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等に配慮がなされているか</p> <p>②子どもの自主的、自発的な学習を促すために、指導者にとっても資料・手引き等が有効に使われるものとなっているか</p>	<p>①・ユニバーサルデザインフォントを使用することで、文字の読みやすさに配慮している。ふりがなには読み取りやすいゴシック体を使用している。文字を縁取りしたり、グラフでは線種を見分けがつくようにしたりして工夫している。</p> <p>②・二次元コードからつながるコンテンツの数は110。資料（動画、統計、クイズ等）や外部サイトにつながる。</p> <p>・巻頭ページに「地図帳の使い方」が解説されている。</p>	<p>①・ユニバーサルデザインフォントを使用することで、文字の読みやすさに配慮している。赤文字で記された都道府県名や国名については読みやすいように白色で縁取りしている。学習上、特に重要な地名は、大きい太い文字で示し、「国名」「都道府県名」は他の地名より目立つように白く縁取りされている。</p> <p>・地図中の地名の漢字には、すべてふりがなが付され、正しく読めるように配慮されている。</p> <p>・都道府県名等を手話で表すコーナーを設けている。</p> <p>②・重要な「国名」「首都名」には欧文が併記されており、国際化へ対応。</p> <p>・二次元コードからつながるコンテンツの数は971。資料（動画、統計、クイズ等）や外部サイトにつながる。</p> <p>・世界の主題図は、可能な限り同縮尺で示されている。</p> <p>・巻頭ページに「地図帳の使い方」が分かりやすく解説されている。</p>
3	<p><u>挿絵・図表及び紙質・造本</u></p> <p>①内容に応じて、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等は配置されているか</p> <p>②図版の大きさ、位置等に配慮がなされているか</p>	<p>①・内容に応じた、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等は配置されている。（総ページ数176ページ）</p> <p>・特定の地域や地方を示す地図が、地球上や日本列島のどこに位置しているかが分かるように、地球儀や日本列島を模した位置図を掲載している。</p> <p>・国旗掲載数は197か国・統計資料の項目5・表やグラフ75・日本の主な産業の記号凡例86種類、前半の資料8ページ、後半の資料30ページ。</p> <p>・世界の各州の掲載順はアジア、欧州、アフリカ、北米、南米、オセアニア。</p> <p>・北極圏の地図あり。</p> <p>②・判型はA判で、地図や資料の色調は落ち着いた配色がなされている。</p>	<p>①・内容に応じた、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等は配置されている。総ページ数198ページ。</p> <p>・特定の地域や地方を示す地図が、地球上や日本列島のどこに位置しているかが分かるように、地球儀や日本列島を模した位置図を掲載している。</p> <p>・世界の各地域ごとに「日本との結びつき」という資料を設定している。</p> <p>・国旗掲載数は197か国・統計資料の項目16・表やグラフ112・日本の主な産業の記号凡例43種類、前半の資料14ページ、後半の資料29ページ</p> <p>・世界の各州の掲載順はアジア、アフリカ、欧州、北米、南米、オセアニア</p> <p>・太平洋の島々の拡大図がある。</p> <p>②・判型はA判。地図や資料の色調は明るく鮮やかな配色がなされている。</p>
4	<p>教科独自の特色や長所</p> <p>①学習内容が子どもにとって分かりやすく、学んでみたいと思う工夫がなされているか</p>	<p>①・巻頭にSDGsを知るためのページが設けられている。</p> <p>・「ミツバチーズ」というキャラクターが世界旅行をするという設定で、各ページに3種類のミツバチが登場する。</p> <p>・地図を深く読み取るためのヒントとなる問い「Bee's eyes」が記されており、その解答例が二次元コードで見られるようになっている。</p>	<p>①・巻頭にSDGsを知るためのページが設けられている。</p> <p>・目次に歴史や公民、SDGsとの関連がわかりやすいマークが付けられている。</p> <p>・二次元コードがついており、現在だけでなく歴史的な資料や防災の資料等、現在、過去、未来が分かるようになっている。</p> <p>・見開き1ページに防災に関する地図や模式図等を大きく丁寧に記載している。</p>
5	<p>大分市の子どもの実態</p> <p>①大分市の子どものために親しみがあり、興味をもてる題材が扱われているか</p>	<p>①・P.94に大分市の中学生が修学旅行で訪れる京都・奈良市内の主題図に、歴史的建造物のイラストや京都の地名の読み方が詳しく掲載されている。</p>	<p>①・P.90に大分空港が掲載されている。</p> <p>・P.91に大分市にゆかりのある列車のイラストが掲載されている。</p> <p>・P.93とP.94に大分市から見た瀬戸内海周辺の鳥瞰図が掲載されている。</p> <p>・P.98の「地図で発見!」に大分と近畿地方を結ぶ航路を調べる活動がある。</p>
	備考		

令和7年度使用中学校用教科書 調査研究報告書

種目（ 社会（歴史的分野） ）

	発行者番号	2	1 7
	発行者名	東京書籍	教育出版
1	<p><u>単元・題材等の構成及び内容の取扱い</u></p> <p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を効果的に構成して、単元・題材等が設定されているか</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が図られるよう工夫がなされているか</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む観点から、対話的、協働的な学びの場が設定できるなど、学習（言語活動等）が充実し、深い学びにつなげることができているか</p> <p>④主体的に学びに向かう力を育むために、興味・関心を喚起するよう工夫がなされているか</p>	<p>①・章、節、1単位時間で「探究課題」、「探究のステップ」、「学習課題」の3段階の問いが課題解決的な学習になるよう工夫されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1時間が見開き2ページになっており、1単位時間毎に「学習課題」が示されている。 ・1単位時間毎に「チェック&トライ」の流れで構造化し、学習内容が確実に定着するよう工夫されている。 <p>②・基礎的な知識・技能を系統的に習得させる「スキル・アップ」のコーナーが21項目示されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・章末に「地域の歴史を調べよう」のコーナーが5項目設けられており、地域調査等の技能を身に付けることができるよう工夫されている。 <p>③・1単位時間毎に「トライ」コーナーが設けられており、基礎的・基本的な内容を基に、自分の言葉で説明する活動が設定されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各章末の「まとめの活動」コーナーで「探求のステップ」が設けられており、各節の学習課題を解決しながらまとめることができるようになっている。 ・各章末に「深めよう」コーナーが設けられており、様々な思考ツールを用いて、時代の特色をまとめられるようになっている。 ・「見方・考え方」のコーナーで、資料を読み取るための視点が示されている。 <p>④・「みんなでチャレンジ」コーナーが設けられており、グループで話し合うための学習課題が示され、対話的な学びができるようになっている。</p>	<p>①・基礎・基本の定着とその活用を図るため、章の最後に「学習のまとめと表現」という振り返りの活動が設けられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1時間が見開き2ページになっており、1単位時間毎に「学習課題」が示されている。 <p>②・見通しをもって追究が進められるように、単元を通して追究する問いや各節のタイトルとキーワードが工夫されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「歴史の技」のコーナーが8項目設けられ、基礎的・基本的な内容を確認することができる。 ・「身近な地域の歴史を調べよう」のコーナーが6項目設けられており、地域調査等の技能を身に付けることができるよう工夫されている。 ・1単位時間毎に「確認！」コーナーが設けられ、基礎的・基本的な内容を確認することができる。 ・見開きページ内に「解説」が付いており、授業内容を確認しやすい。 <p>③・1単位時間毎に「表現！」、また適宜「TRY!」、「THINK!」コーナーが設けられており、基礎的・基本的な内容を基に、自分の言葉で説明する活動が設けられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学習のまとめと表現」の「JUMP!」コーナーでは、歴史的な見方・考え方が示され、時代の特色をまとめられるようになっている。 <p>④・各章の導入に「学習のはじめに」コーナーが設けられており、資料を読み解き、学習する時代の特色をイメージできるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「歴史ゲームで遊ぼう」が導入部分に設けられており、歴史学習に取り組みやすい。
2	<p><u>文章表現・資料等</u></p> <p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等に配慮がなされているか</p> <p>②子どもの自主的、自発的な学習を促すために、指導者にとっても資料・手引き等が有効に使われるものとなっているか</p>	<p>①・1単位時間は見開き2ページでまとめられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横28文字、縦最大20行である。 ・ユニバーサルデザインフォントになっている。 ・図、資料（写真や文献）が見開き2ページで8～9点ほど掲載されている。 <p>②・教科書の詳細な使い方、毎ページに資料を確認できる二次元コード、用語解説が掲載されている。</p>	<p>①・1単位時間は見開き2ページでまとめられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横29文字、縦最大20行である。 ・ユニバーサルデザインフォントになっている。 ・図、資料（写真や文献）が見開き2ページで8～9点ほど掲載されている。 <p>②・教科書の使い方、二次元コード、用語解説が掲載されている。</p>
3	<p><u>挿絵・図表及び紙質・造本</u></p> <p>①内容に応じて、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されているか</p> <p>②図版の大きさ、位置等に配慮がなされているか</p>	<p>①・写真や絵、地図やグラフなどのカラー資料が多く、生徒の興味・関心や理解を高めるものとなっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色覚特性がある生徒にも配慮したデザインとなっている。 ・AB判で、生徒の負担に配慮した軽量の紙質の再生紙で、植物油インキを利用している。 ・本文と資料が背景の色で区別され、識別しやすい。また、本文に対応した番号が付けられ、分かりやすい。 <p>②・章毎に背景色を変えており、時代を捉えやすい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年表資料が多く、時代の流れや出来事を捉えやすい。 	<p>①・写真や絵、地図やグラフなどのカラー資料が多く、生徒の興味・関心や理解を高めるものとなっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色覚特性がある生徒にも配慮したデザインとなっている。 ・AB判の環境に配慮した再生紙と植物油インキで、表紙は抗菌加工をしている。 ・本文と資料が背景の色で区別され、識別しやすい。また、本文に対応した番号がつけられ分かりやすい。 ・学習用端末の使い方や、感染症対策についての二次元コードが掲載されている。 <p>②・章毎に背景色を変えており、時代を捉えやすい。</p>
4	<p>教科独自の特色や長所</p> <p>①学習内容が子どもにとって分かりやすく、学んでみたいと思う工夫がなされているか</p>	<p>①・教科書全体をSDGsのテーマで貫き、現代的な諸課題を意識しながら学習できるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードを読み取ることで、内容の理解につながる動画やシミュレーションなど、豊富なコンテンツを利用することができる。 ・「もっと知りたい」など歴史的事象を多面的・多角的に捉えることができ、より確かな理解につなげることができる。 ・1単位時間ごとに年表がページ横に縦書きで示され、時代を視覚的に捉えやすい。 	<p>①・単元を貫く問いが設定され、見通しをもって課題追求できる工夫が見られる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各単元に「確認と表現」があり、学びの定着を図る工夫が見られる。 ・「学習のまとめと表現」において、学習内容の振り返りと時代の転換点や時代の特色を捉える工夫が見られる。 ・1単位時間毎に単元名の上部に年表が示され、学習する時期を意識することができる。
5	<p>大分市の子どもの実態</p> <p>①大分市の子どものために親しみがあり、興味をもてる題材が扱われているか</p>	<p>①・フラットデザインが採用され、学習者が学習に必要な情報に集中できるようにしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインフォントを使用し、読み取りやすい。 ・見分けやすい色が使用され、小さな文字も読み取りやすい書体になっている。 	<p>①・キャラクターのイラストなど多様性への配慮が行われている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校との接続や他分野との連携、「歴史の技」による表現力の育成など学習者の関心を高める工夫が見られる。 ・見やすい配色やフォントを使用している。
	備考	総ページ数287ページ	総ページ数298ページ

令和7年度使用中学校用教科書 調査研究報告書

種目（ 社会（歴史的分野） ）

	発行者番号	4 6	8 1
	発行者名	帝国書院	山川出版社
1	<p>単元・題材等の構成及び内容の取扱い</p> <p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を効果的に構成して、単元・題材等が設定されているか</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が図られるよう工夫がなされているか</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む観点から、対話的、協働的な学びの場が設定できるなど、学習（言語活動等）が充実し、深い学びにつなげることができているか</p> <p>④主体的に学びに向かう力を育むために、興味・関心を喚起するよう工夫がなされているか</p>	<p>①・章、節、1単位時間毎に「章の問い」、「節の問い」、「学習課題」が示され、章末には、振り返りをできる活動がある。</p> <p>・1時間が見開き2ページになっており、1単位時間毎に「学習課題」が示されている。</p> <p>②・大きなイラストで各時代の様子を概観する特設「タイムトラベル」（全12テーマ）を、各時代のはじめに設けられており、学習する時代の見通しを立てられるよう、工夫されている。</p> <p>・「技能をみがく」のコーナーが14か所設けられており、資料や図表の見方といった基礎的・基本的な技術を身に付けることができるよう、工夫されている。</p> <p>・1単位時間毎に「確認しよう」コーナーが設けられており、基礎的・基本的な内容を確認することができる。</p> <p>③・1単位時間毎に「説明しよう」コーナーが設けられており、基礎的・基本的な内容を基に、自分の言葉で説明する活動が設けられている。</p> <p>・各章末の「学習を振り返ろう」コーナーに「タイムトラベルを活用して振り返ろう」が設けられており、イラストから時代の特色を捉えることができるようになっている。</p> <p>④・各章の導入に「対話」コーナーが設けられており、学習する時代の見通しをもてるようになっている。</p> <p>・「アクティブ歴史」コーナーが全5回あり、歴史的な見方・考え方を働かせて、自他の意見を交流したり、まとめたりしながら、学びを深めることができる。</p> <p>・「世界とのつながりを考えよう」コーナーが全6回あり、イラストや世界地図から、当時の世界の様子をイメージをもって学習することができる。</p>	<p>①・章のはじめに全体の内容についての説明があり、章末には各時代の特色をまとめる活動がある。</p> <p>・1時間が見開き2ページになっており、1単位時間毎に「学習課題」が示されている。</p> <p>②・用語をすぐに確認でき、理解が深まるように、「用語解説」が本文の脇に示されている。</p> <p>・各時代の世界の状況を地図とイラストで紹介するページが5か所あり、通観して視覚的に理解できるよう工夫されている。</p> <p>・章末に「地域からのアプローチ」のコーナーが6項目設けられており、地域調査等の技能を身に付けることができるよう工夫されている。</p> <p>・各資料に吹き出しで問いが示され、資料読み取りの基礎的・基本的な技能を身に付けることができるよう、工夫されている。</p> <p>③・1単位時間毎に「ステップアップ」コーナーが設けられており、学習を補充・深化できる発問が設けられている。</p> <p>・各章末に「まとめ」コーナーが設けられており、自分の言葉で表を完成させ、まとめる活動が設けられている。</p> <p>④・各章の導入に、学習する時代の日本と世界の年表と資料が示されており、学習する時代の見通しをもてるようになっている。</p> <p>・章毎の「歴史へのアプローチ」コーナーや「歴史を考えよう」コーナーで、問いについて深く考えることができるようになっている。</p>
2	<p>文章表現・資料等</p> <p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等に配慮がなされているか</p> <p>②子どもの自主的、自発的な学習を促すために、指導者にとっても資料・手引き等が有効に使われるものとなっているか</p>	<p>①・基本的に1単位時間は見開き2ページでまとめられており、3ページ扱いもある。</p> <p>・横30文字、縦最大23行である。</p> <p>・ユニバーサルデザインフォントになっている。</p> <p>・図、資料（写真や文献）が見開き2ページで8～9点ほど掲載されている。</p> <p>②・教科書の詳細な使い方、裏表紙に二次元コード、用語解説が掲載されている。</p> <p>・二次元コードが様々なサイトにリンクしており、思考ツールや資料を得ることができる。</p>	<p>①・1単位時間は見開き2ページでまとめられている。</p> <p>・横32文字、縦最大34行で、フォントを小さくして収めている。</p> <p>・ユニバーサルデザインフォントになっている。</p> <p>・図、資料（写真や文献）が見開き2ページで8～9点ほど掲載されている。</p> <p>②・教科書の使い方、二次元コード、用語解説が掲載されている。</p>
3	<p>挿絵・図表及び紙質・造本</p> <p>①内容に応じて、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されているか</p> <p>②図版の大きさ、位置等に配慮がなされているか</p>	<p>①・写真や絵、地図やグラフなどのカラー資料が多く、生徒の興味・関心や理解を高めるものとなっている。</p> <p>・色覚特性がある生徒にも配慮したデザインとなっている。</p> <p>・AB判で、軽くて耐久性に優れた再生紙で、ライスインキを利用している。</p> <p>・本文と資料が背景の色で区別され識別しやすい。また、本文に対応した番号が付けられ、分かりやすい。</p> <p>②・章毎に背景色を変えており、時代を捉えやすい。</p> <p>・地図資料が多く、地理的分野との関連をもちやすい。</p>	<p>①・写真や絵、地図やグラフなどのカラー資料が多く、生徒の興味・関心や理解を高めるものとなっている。</p> <p>・全体的にフォントを小さくし、まとめられている。</p> <p>・AB判の環境に配慮した再生紙と植物油インキで、表紙は抗菌加工をしている。</p> <p>・本文と資料が背景の色で区別され、識別しやすい。また、本文に対応した番号が付けられ、分かりやすい。</p> <p>②・章毎に背景色を変えており、時代を捉えやすい。</p> <p>・古代～中世と近現代で、ページ等の色分けがされている。</p> <p>・単元名の色が、世界に関するものは青色、日本に関するものは赤色に色分けされている。</p>
4	<p>教科独自の特色や長所</p> <p>①学習内容が子どもにとって分かりやすく、学んでみたいと思う工夫がなされているか</p>	<p>①・他分野との関連を図った学習ができるようにページ下部に記載がある。</p> <p>・1単位時間ごとに年表がページ横に縦書きで示され、時代を捉える工夫が見られる。</p> <p>・「学びを深める工夫」として、「アクティブ歴史」や「技能をみがく」などのコンテンツが各所に設けられており、二次元コードとリンクしている。</p>	<p>①・各章の扉では視覚的に流れをつかむことができる工夫があり、2、8、13、16、18世紀の世界のページでは、地図と親しみやすいイラストで関心をもてる工夫が見られる。</p> <p>・二次元コードがあり、より深く学べる工夫が見られる。</p> <p>・資料が多数掲載され、深い学びにつなげることができる。</p>
5	<p>大分市の子どもの実態</p> <p>①大分市の子どものために親しみがあり、興味をもてる題材が扱われているか</p>	<p>①・図版に背景色や囲み線をつけるなど図版と本文を区別しやすくしたり、ユニバーサルデザインフォントを採用したり、識別しやすい色使いにしたりするなどの工夫が見られる。</p> <p>・「タイムトラベル」（全12テーマ）が各時代の初めに設けられ、当時の社会への興味・関心を高め、学びに向かう意欲につながっている。</p>	<p>①・まとめの構成が見やすく、学習に取り組みやすい工夫が見られる。</p> <p>・ユニバーサルデザインフォントやカラーユニバーサルデザインを取り入れている。</p>
	備考	総ページ数314ページ	総ページ数288ページ

令和7年度使用中学校用教科書 調査研究報告書

種目（ 社会（歴史的分野） ）

	発行者番号	1 1 6	2 2 5
	発行者名	日本文教出版	自由社
1	<p><u>単元・題材等の構成及び内容の取扱い</u></p> <p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を効果的に構成して、単元・題材等が設定されているか</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が図られるよう工夫がなされているか</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む観点から、対話的、協働的な学びの場が設定できるなど、学習（言語活動等）が充実し、深い学びにつなげることができているか</p> <p>④主体的に学びに向かう力を育むために、興味・関心を喚起するよう工夫がなされているか</p>	<p>①・「導入資料」、「学習課題」、「見方・考え方」、「学び合い」、「確認・表現」の流れを繰り返し学習する構造となっている。</p> <p>・1時間が見開き2ページになっており、1単元時間毎に「学習課題」が示されている。</p> <p>②・各章末に「まとめとふり返り」で年表と地図を活用しながら基礎的・基本的な知識を定着できるよう工夫されている。</p> <p>・二次元コードで確認小テストで基礎的・基本的な知識を定着できるよう、工夫されている。</p> <p>・各章に「出かけよう！地域調べ」のコーナーが設けられており、地域調査等の技能を身に付けることができるよう、工夫されている。</p> <p>・1単元時間毎に、「確認」コーナーが設けられており、基礎的・基本的な内容をふまえ、確認する活動ができる。</p> <p>・「スキルUP」コーナーで、情報の収集、読み取り、まとめの技能を身に付けることができる。</p> <p>③・1単元時間毎に「表現」コーナーが設けられており、基礎的・基本的な内容を基に、自分の言葉で説明する活動ができる。</p> <p>・各章末に「まとめとふり返り」コーナーが設けられており、学習課題（問い）について考え、時代の特色をまとめる活動ができる。</p> <p>④・各章の導入に「学び合い」コーナーが設けられており、問いを立てたり、学習する時代の見通しをもてるようになっている。</p>	<p>①・各章末には、「調べ学習」、「復習問題」、「時代の特徴を考える」、「対話とまとめ図」の4つのページを定型とし、振り返りの活動ができる。</p> <p>・1時間が見開き2ページになっており、1単元時間毎に「学習課題」が示されている。</p> <p>②・単元で学ぶ内容が、ページ下の年表でどこに位置するかを、明確に意識できるよう、工夫されている。</p> <p>・1単元時間毎に「チャレンジ」コーナーが設けられており、単元毎に簡単な知識を整理し、基礎的・基本的な知識を定着できるよう、工夫されている。</p> <p>③・1単元時間毎に「チャレンジ」コーナーが設けられており、基礎的・基本的な内容を基に、自分の言葉で説明する活動も設けられている。</p> <p>・各章末に「調べ学習」、「復習問題」、「時代の特徴を考える」、「対話とまとめ図」の4つのページがあり、時代の特色を捉える問題が設けられている。</p> <p>④・各章の導入に「登場人物紹介コーナー」が設けられており、小学校で学習した人物を主体とした年表から、学習する時代の見通しをもてるようになっている。</p>
2	<p><u>文章表現・資料等</u></p> <p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等に配慮がなされているか</p> <p>②子どもの自主的、自発的な学習を促すために、指導者にとっても資料・手引き等が有効に使われるものとなっているか</p>	<p>①・基本的に1単元時間見開き2ページでまとめられており、4ページにわたる単元もある。</p> <p>・横30文字、縦最大23行である。</p> <p>・ユニバーサルデザインフォントになっている。</p> <p>・図、資料（写真や文献）が見開き2ページで5～9点ほどで掲載されている。</p> <p>②・教科書の詳細な使い方、二次元コード、用語解説が掲載されている。</p>	<p>①・1単元時間見開き2ページでまとめられている。</p> <p>・横29文字、縦最大23行である。</p> <p>・図、資料（写真や文献）が見開き2ページで8～9点ほどで掲載されている。</p> <p>②・教科書で使うマークとロゴについて紹介している。</p>
3	<p><u>挿絵・図表及び紙質・造本</u></p> <p>①内容に応じて、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されているか</p> <p>②図版の大きさ、位置等に配慮がなされているか</p>	<p>①・写真や絵、地図やグラフなどのカラー資料が多く、生徒の興味・関心や理解を高めるものとなっている。</p> <p>・色覚特性がある生徒にも配慮したデザインとなっている。</p> <p>・AB判で、環境にやさしい植物油インキと再生紙を利用している。</p> <p>・本文と資料が背景の色で区別され、識別しやすい。また、本文に対応した番号が付けられ、分かりやすい。</p> <p>②・章毎に背景色を変えており、時代を捉えやすい。</p> <p>・地図資料、年表資料ともに多く、様々な視点から資料を見られるようになっている。</p>	<p>①・写真や絵、地図やグラフなどのカラー資料が多く、生徒の興味・関心や理解を高めるものとなっている。</p> <p>・色覚特性がある生徒にも配慮したデザインとなっている。</p> <p>・AB判である。</p> <p>・本文と資料が背景の色で区別され、識別しやすい。また、本文に対応した番号が付けられ、分かりやすい。</p> <p>②・章毎に背景色を変えており、時代を捉えやすい。</p>
4	<p>教科独自の特色や長所</p> <p>①学習内容が子どもにとって分かりやすく、学んでみたいと思う工夫がなされているか</p>	<p>①・「チャレンジ歴史」、「歴史を掘り下げる」コーナーがあり、楽しく歴史を感じる工夫が見られる。</p> <p>・二次元コードがあり、動画や確認小テスト、問いを構造的に記入するポートフォリオなど、個別最適な学習に対応している。</p>	<p>①・各ページの語句の説明や「歴史の言葉」などによって、歴史を深く学べる工夫が見られる。</p> <p>・「もっと知りたいコラム」では、その時代の特徴的な内容を取り上げ、生徒の興味・関心や深い学びにつなげることができる。</p>
5	<p>大分市の子どもの実態</p> <p>①大分市の子どものために親しみがあり、興味をもてる題材が扱われているか</p>	<p>①・ユニバーサルデザインフォントやカラーユニバーサルデザインを取り入れている。全ての重要語句に振り仮名が付いている。</p> <p>・「出かけよう！地域調べ」コーナーで、歴史を身近に感じ、歴史を学ぶ面白さが体験できるものとなっている。</p>	<p>①・本文の内容を補足する、資料や地図、写真等が多彩に配置され、内容の理解につながっている。</p>
	備考	総ページ数307ページ	総ページ数300ページ

令和7年度使用中学校用教科書 調査研究報告書

種目（ 社会（歴史的分野） ）

	発行者番号	2 2 7	2 2 9
	発行者名	育鵬社	学び舎
1	<p><u>単元・題材等の構成及び内容の取扱い</u></p> <p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を効果的に構成して、単元・題材等が設定されているか</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が図られるよう工夫がなされているか</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む観点から、対話的、協働的な学びの場が設定できるなど、学習（言語活動等）が充実し、深い学びにつなげることができるか</p> <p>④主体的に学びに向かう力を育むために、興味・関心を喚起するよう工夫がなされているか</p>	<p>①・各章・節には、単元を貫く問いとして「章の課題」、「節の課題」を設け、学習内容に見通しをもてるような活動ができる。</p> <p>・1時間が見開き2ページになっており、1単元時間毎に「学習課題」が示されている。</p> <p>②・各章末に「学習のまとめ」コーナーが設けられており、年表や資料を用いた問題形式で基礎的・基本的な内容を確認することができる。</p> <p>・本文の資料には、「資料活用」コーナーが適宜設けられ、情報を集め読み取り、まとめる技能を身に付けられる工夫がされている。</p> <p>・1単元時間毎に「確認」コーナーが設けられており、基礎的・基本的な内容をふまえ、確認する活動が設定されている。</p> <p>・見開きページに小年表が掲載されており、どの時代や年代の学習が把握ができる。</p> <p>③・1単元時間毎に「探求」コーナーが設けられており、基礎的・基本的な内容を基に、自分の言葉で説明する活動ができる。</p> <p>・各章末に「学習のまとめ」コーナーが設けられており、問題形式で時代の特色を捉えることができる。</p> <p>④・各章の導入に「歴史絵巻」や「虫の目で見ると〇〇（時代区分）」が設けられており、小学校の学習を振り返ったり、資料から人々の生活の様子や町並みを読み解いたりする活動ができる。</p>	<p>①・部、章毎に学習課題が示され、章ごとに振り返りが設定されている。また、部毎にまとめが設定されている。</p> <p>②・1単元時間が見開き2ページで構成されており、1単元時間毎に「学習課題」が示されている。</p> <p>③・「歴史を体験する」のコーナーで、様々な知識や技能を身に付けられる。</p> <p>・各章の振り返りにおいて、基礎知識を定着できるようになっている。</p> <p>・地域調査に取り組めるように設定されている。</p> <p>・各章の振り返りや「歴史を体験する」コーナーなど様々な場面で、グループ討議を行い、思考力、判断力、表現力を育めるように設定されている。</p> <p>④・各章のはじめの「扉のページ」に、その時代の代表的な出来事などを、世界地図やカラーの資料を用いて分かりやすく示しており、興味・関心を高める工夫がされている。</p>
2	<p><u>文章表現・資料等</u></p> <p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等に配慮がなされているか</p> <p>②子どもの自主的、自発的な学習を促すために、指導者にとっても資料・手引き等が有効に使われるものとなっているか</p>	<p>①・1単元時間を見開き2ページでまとめられている。</p> <p>・横30文字、縦最大25行である。</p> <p>・ユニバーサルデザインフォントになっている。</p> <p>・図、資料（写真や文献）が見開き2ページで8～9点ほどで掲載されている。</p> <p>②・教科書の使い方、用語解説が詳しく説明されている。</p>	<p>①・1単元時間を見開き2ページで構成されている。</p> <p>・横32文字、縦最大27行で大きく見やすい。</p> <p>・図、資料（写真や文献）は見開き2ページで5～10点で見やすい。</p> <p>②・教科書の使い方を詳しく説明している。</p>
3	<p><u>挿絵・図表及び紙質・造本</u></p> <p>①内容に応じて、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されているか</p> <p>②図版の大きさ、位置等に配慮がなされているか</p>	<p>①・写真や絵、地図やグラフなどのカラー資料が多く、生徒の興味・関心を高め、理解を深められるものとなっている。</p> <p>・色覚特性がある生徒にも配慮したデザインとなっている。</p> <p>・AB判で、本文用紙の一部は再生紙で、植物油インキを利用している。</p> <p>・本文と資料が背景の色で区別され、識別しやすい。また、本文に対応した番号が付けられ、分かりやすい。</p> <p>②・章毎に背景色を変えており、時代を捉えやすい。</p>	<p>①・写真や絵、地図やグラフなどの資料は多く、適切に配置されており、生徒の興味・関心を高めるものとなっている。</p> <p>・A版で大きく見やすく、再生紙、植物インキを使用している。</p> <p>・ユニバーサルデザインになっている。</p> <p>・本文と資料のレイアウトが区別されている。</p> <p>②・章毎に見出しの色を変えていて、時代を捉えやすい。</p>
4	<p>教科独自の特色や長所</p> <p>①学習内容が子どもにとって分かりやすく、学んでみたいと思う工夫がなされているか</p>	<p>①・「人物クローズアップ」や「歴史ビュー」により本文の内容を、深く学べる工夫が見られる。</p> <p>・「歴史ズームイン」では、学習した内容を深め、違う視点から学習できる工夫が見られる。</p>	<p>①・各章の導入には、興味・意欲が高められる資料が掲載されている。</p> <p>・巻末には、日本と世界の動きを関連付けた縦型年表があり、時代を捉えやすくなっている。</p>
5	<p>大分市の子どもの実態</p> <p>①大分市の子どもにとって親しみがあり、興味をもてる題材が扱われているか</p>	<p>①・「歴史絵巻」や「虫の目で見ると〇〇（時代区分）」コーナーによって、生徒の主体的な学びにつなげる工夫が見られる。</p> <p>・ユニバーサルデザインフォントを使用するなど、文字の視認性が向上している。</p> <p>・各章の導入に二次元コードがあり、自学自習ができるようにしている。</p>	<p>①・興味・関心が高まる資料・図版を掲載している。</p> <p>・最初の見開きページに、世界地図と主な史跡の場所が示されており、出来事を視覚的に捉えることができ、興味をもちやすい。</p>
	備考	総ページ数292ページ	総ページ数299ページ

令和7年度使用中学校用教科書 調査研究報告書

種目（ 社会（歴史的分野） ）

	発行者番号	236
	発行者名	令和書籍
1	<p><u>単元・題材等の構成及び内容の取扱い</u></p> <p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を効果的に構成して、単元・題材等が設定されているか</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が図られるよう工夫がなされているか</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む観点から、対話的、協働的な学びの場が設定できるなど、学習（言語活動等）が充実し、深い学びにつなげることができるか</p> <p>④主体的に学びに向かう力を育むために、興味・関心を喚起するよう工夫がなされているか</p>	<p>①・各単元に「課題」が設定されている。</p> <p>②・従来の歴史区分を用いつつ、我が国の歴史の特色に従って歴史の転換点を独自に設定し、テーマ史の中で歴史の連続性を実感できるよう、工夫されている。</p> <p>・各ページに解説があり、語句を丁寧に解説している。</p> <p>・章末に「field work」コーナーがあり、地域調査など調べ学習ができるよう、工夫されている。</p> <p>・章末に「まとめ学習」という振り返りが設けられ、基礎的・基本的な内容を確認することができる。</p> <p>③・1単位時間毎に「課題」コーナーが設けられており、学習した内容について、自分の言葉で説明する活動が設定されている。</p> <p>・各章末に「〇〇（時代区分）のまとめ」コーナーが設けられており、「政治」「文化」「外交」「産業」の4つの視点からの問題で、時代の特色を捉えることができる。</p> <p>・「考えよう」コーナーがあり、教科書本文や資料を読み取り、説明や記述する活動が設けられている。</p> <p>④・各章の導入に「政治」、「文化」、「外交」、「産業」の4つの視点から学習課題が設けられており、見通しをもって学習できるように工夫されている。</p>
2	<p><u>文章表現・資料等</u></p> <p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等に配慮がなされているか</p> <p>②子どもの自主的、自発的な学習を促すために、指導者にとっても資料・手引き等が有効に使われるものとなっているか</p>	<p>①・資料が白黒で表現されている。</p> <p>・縦最大24字、横19行の2段構成となっている。</p> <p>・図や資料は、見開き2ページで平均2～3点である。</p> <p>②・政権担当者、出来事対照表や世界各国王朝略年表など、詳細な資料が掲載されている。</p> <p>・単元毎に学習課題が位置付けられており、授業構成がしやすい。</p>
3	<p><u>挿絵・図表及び紙質・造本</u></p> <p>①内容に応じて、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されているか</p> <p>②図版の大きさ、位置等に配慮がなされているか</p>	<p>①・写真や絵、地図やグラフなどのカラー資料が巻末にまとめられている。</p> <p>・人物画や写真、詳しい資料が多く掲載されている。</p> <p>②・A5サイズで持ち運びしやすい。</p>
4	<p>教科独自の特色や長所</p> <p>①学習内容が子どもにとって分かりやすく、学んでみたいと思う工夫がなされているか</p>	<p>①・資料や解説が詳しく、歴史を深く学ぶための工夫が見られる。</p> <p>・各種資料やコラムから、これまでの日本の成り立ちが掲載されている。</p>
5	<p>大分市の子どもの実態</p> <p>①大分市の子どものために親しみがあり、興味をもてる題材が扱われているか</p>	<p>①・ページ数が多く、詳細な歴史を学ぶことができるため、興味・関心を高める内容となっている。</p>
	備考	総ページ数463ページ

令和7年度使用中学校用教科書 調査研究報告書

種目（ 社会（公民的分野） ）

	発行者番号	2	1 7
	発行者名	東京書籍	教育出版
1	<p><u>単元・題材等の構成及び内容の取扱い</u></p> <p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を効果的に構成して、単元・題材等が設定されているか</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が図られるよう工夫がなされているか</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む観点から、対話的、協働的な学びの場が設定できるなど、学習（言語活動等）が充実し、深い学びにつなげることができているか</p> <p>④主体的に学びに向かう力を育むために、興味・関心を喚起するよう工夫がなされているか</p>	<p>①・終章を含め6章17節で構成され、各単元・題材の構成が適切である。各単元導入部で単元を貫く課題が設けられている。また、1時間ごとに学習課題が明示されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元の最初に、小学校で学習した用語や他分野で学習した、写真等が示されている。 単元の導入部分が話し合い活動をする教材が設定されている。 <p>②・本文中にゴシック体が430あり、知識の定着を図ることができる。また、章のまとめに、基礎・基本的な用語が示され、穴埋め形式になっており、学習内容を振り返ることができる。</p> <p>③・項目ごとに説明、追究、意見交換を促す課題が設定されている。(100個近くある)</p> <ul style="list-style-type: none"> Yチャート、ウェビング、座標軸などの思考ツールを紹介したり、活用したりするなど、話し合い活動を促す箇所が30近く設定されている。 <p>④・コラムや補助資料（未来にアクセス、もっと知りたい・解説など）の数が43あり、興味・関心を喚起している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 調べ学習（終章）では、「課題把握」「課題探究」「意思決定」「提案参加」の順で学びの過程が示されている。 	<p>①・大項目ごとに写真資料等が示され、イラスト等の資料があり、問いかけに対して考える活動を行う教材が設定されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 終章を含め7章18節で構成され、各単元・題材の構成が適切である。(現代社会、憲法、政治、経済、国際社会の順に構成) 「学び方」のページが設定されており、公民のノートづくりや思考ツールを使って情報を整理し、発表の方法を学べるようになっている。 章のはじめに「学習の見通し」がもてるページが設定され、単元全体を貫く課題や1単位時間の「学習課題」が設定され、章末には、章の全体について穴埋め形式で基礎的・基本的な用語の確認、学習内容の振り返りができるようになっている。 脚注部に「小学校、他分野、他教科との関連」や「関連するSDGs」が表示され、系統的、横断的な学習に取り組めるようになっている。 北方領土・竹島の領土問題や尖閣諸島をめぐる動きなど、今日的な課題について地図や写真とともに複数のページで解説している。(P.198～201) 「18歳選挙と私たち」(P.90～91)を設定し、主権者として政治参加することへの理解を高められるよう工夫されている。 <p>②・「用語解説」に収録されている語句は太字でページ数を打っているので分かりやすい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文の学習ごとに、学習課題と対応させた「確認」と「表現」のコーナーがあり、基礎的事項の確認と社会的事象についての説明や話し合い等の表現活動に取り組めるようになっている。 文章がどの資料と関連しているか一目で分かるようになっている。 <p>③・話し合い活動を特に促す箇所が29箇所設けられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料に「公民の技」を設け、社会の動きを考察し、思考力・判断力・表現力の育成を図っている。 <p>④・「公民の窓」にて現代社会の諸課題を紹介し、興味・関心を喚起している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 終章では「持続可能な社会」についての調べ学習が設定され、「作成ナビ」にてそれぞれの活動過程例やヒントが示されており、主体的に学びに向かう力を育む工夫がされている。
2	<p><u>文章表現・資料等</u></p> <p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等に配慮がなされているか</p> <p>②子どもの自主的、自発的な学習を促すために、指導者にとっても資料・手引き等が有効に使われるものとなっているか</p>	<p>①・1列の文字数が、28文字で、より多くの人に見やすいユニバーサルデザインに配慮するとともに、振り仮名を随所に採用し、読み取りやすさを向上させている。</p> <p>②・本文中に示されている、基本的な用語はゴシック体で示されており、語句数が430ある。</p> <ul style="list-style-type: none"> 章別に目次が色分けされており、見やすくなっている。資料を読み取るヒントを示す箇所は、90ある。 二次元コードからつながるコンテンツは332ある。資料や外部サイトにつながる。 	<p>①・1列の文字数が30字で、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮し、読みやすいUDフォントを使用している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文は敬体で、難解な語句にはふりがなや用語の意味の解説がなされている。 <p>②・基本的な用語として本文中にゴシック体で示されている用語数は426巻末索引数647。</p> <ul style="list-style-type: none"> 章別に目次が色分けされ、章の題名も書かれ教科書での学習内容が分かりやすい。 資料を読み取るヒントを示す箇所は27、二次元コードからつながるコンテンツ数は32。 資料まなびリンク（動画、クイズ、まとめのワーク等）や外部サイトにつながり学習できる。 コラムや補助資料の数は56。 本文は敬体で、難解な語句にはふりがなを採用し、読み取りやすさを向上させている。
3	<p><u>挿絵・図表及び紙質・造本</u></p> <p>①内容に応じて、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されているか</p> <p>②図版の大きさ、位置等に配慮がなされているか</p>	<p>①・本文を中心に学習内容に興味・関心をもたせる多くの資料（挿絵、図表、統計資料、写真）や疑問・学習課題が配置されている。資料の数（新聞記事27、統計資料72、テキスト54、図解・図表154）</p> <ul style="list-style-type: none"> 軽量の紙、再生紙、植物油インキを使用している。総数246ページ <p>②・AB判239 配色等に関する配慮の記載あり。</p>	<p>①・本文を中心に学習内容に興味・関心をもたせる多くの資料（挿絵、図表、統計資料、写真）や疑問・学習課題が配置されている。資料数（新聞記事3、統計資料74、図解・図表136）</p> <p>②・AB判、再生紙、植物油インキを使用。</p> <ul style="list-style-type: none"> 総ページ数264ページ 配色等に関する配慮の記載あり。
4	<p>教科独自の特色や長所</p> <p>①学習内容が子どもにとって分かりやすく、学んでみたいと思う工夫がなされているか</p>	<p>①・単元の最初を含め、話し合い活動を促す資料や、コラム等が多く設定されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 18歳へのステップ（教科書P60）をはじめ、中学生と社会との関わりを示す、資料等が多く掲載されている。 北方領土、竹島、尖閣諸島が扱われてるページ3、写真7 地図・絵図5 新聞記事1 二次元コードを使ったデジタルコンテンツがあり、思考ツールの使い方、探究学習の進め方、白地図等があり、端末を使用した学習も可能であり、学習を行う上での手立てやヒントが示されている。 	<p>①・SDGs（持続可能な開発目標）を公民学習のアプローチから終章まで全面に出して系統化されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際理解に関する学習では、「なぜ、外交の役割は重要なのだろうか」「なぜ、子どもたちのためにSDGsを達成すべきなのだろうか」が特設されている。 章や節での学習を貫く探求課題が設定されており追求しまとめる活動まで、系統的で多くの手立てやヒントも示されている。 民主政治に関して、法律・条例・制度や仕組みの名称が示されている数が多い。(現代社会3 経済43 政治83 国際社会20 合計149)
5	<p>大分市の子どもの実態</p> <p>①大分市の子どもにとって親しみがあり、興味をもてる題材が扱われているか</p>	<p>①・章ごとにまとめが図式化されていること、穴埋め形式で用語を確認できることから生徒が取り組みやすく理解しやすい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 資源・エネルギー問題の学習では、地元教材として大分県九重町の地熱発電所が取り上げられており、興味をもちやすい。 	<p>①・地元教材として、豊後高田市の「昭和の町」、竹田市のカボス農家の、別府市の障がい者を多く雇用する企業、九重町の地熱発電所が取り上げられており、興味・関心をもちやすい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各ページ毎に小学校社会科で学習した情報が載せられているため、既習内容を思い出しやすく、新たな学習に取り組みやすくなっている。 小学校の学習指導要領に盛り込まれた「社会的な見方・考え方」「情報教育」等について、より深化させた学習が展開できる。
	備考		

令和7年度使用中学校用教科書 調査研究報告書

種目 (社会 (公民的分野))

	発行者番号	4 6	1 1 6
	発行者名	帝国書院	日本文教出版
1	<p><u>単元・題材等の構成及び内容の取扱い</u></p> <p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を効果的に構成して、単元・題材等が設定されているか</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が図られるよう工夫がなされているか</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む観点から、対話的、協働的な学びの場が設定できるなど、学習（言語活動等）が充実し、深い学びにつなげることができているか</p> <p>④主体的に学びに向かう力を育むために、興味・関心を喚起するよう工夫がなされているか</p>	<p>①・大項目ごとに小学校の学習との関連を示されるとともに、イラスト等の資料から読み取りの活動を行う教材が設定されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 全体を5部にわけ、各単元・題材の構成が適切である。(人権・憲法、政治、経済、国際社会の順に構成) 各単元導入部で、単元全体を貫く課題と節の最初に節の課題が設けられ、1単位時間の「学習課題」が明示され、章の最後に学習の振り返りを行うことで単元全体を通して学習内容の定着を図っている。 「公民プラス」という項目で、学習内容を補完し、発展的な学習に取り組めるようになっている。 「アクティブ公民」が10箇所設けられており、学習指導要領が定める社会的な概念に基づいた理論的な説明と様々な立場を踏まえての合意形成を目指す活動に取り組めるようになっている。 <p>②・見開きごとに学習のまとめとして「確認しよう」「説明しよう」にて学習の内容の確認と深めるための話し合い課題が設定されており、言語活動を充実させる工夫がみられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各ページ「資料活用」が設定され、獲得した知識をもとに技能の習得を図る工夫がなされている。 憲法との関連性の明示(語句の下に第〇条) <p>③・話し合い活動を特に促す箇所が10箇所設けられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習内容に関連する対話的な活動が「アクティブ公民」で取り上げられ、学習内容を確実に理解させ、話し合いなどを通じて多様な意見にふれながら価値判断を行えるようにしている。 <p>④・「公民プラス」にて現代社会の諸課題を紹介し、興味・関心を喚起している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 終章では、「持続可能な社会の形成に向けて解決すべき課題」について調べ学習が設定され、「課題を決めよう」「資料を集めよう」「考察しよう」「レポートを書こう」の順で活動過程を示し、それぞれに例・ヒントが示され、主体的に学びに向かう力を育む工夫がなされている。また、高等学校への準備、18歳(主権者)としての役割が記述されている。 	<p>①・大項目ごとに漫画や解説等が示され、問いかけに対して考えるなどの活動を行う教材が設定されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 全体を4編に分け、各単元・題材の構成が適切である。(現代社会・憲法・政治・経済、国際社会の順に構成) 各編の導入時に漫画形式を取り入れ、1単位時間の「学習課題」が明示され、編末の「まとめと振り返り」で学習内容と語句を整理ができるようになっている。 「アクティビティ」で見方・考え方を働かせる問いを設定し、主体的・対話的な学びを意図して掲載している。 領土問題が特設で扱われており、また他国において平和的に領土問題が解決された例が示されている。 各編(章)の最後に「チャレンジ公民」等が設定され、各編(章)に関わる社会の課題について確認・考察できるようになっている。 <p>②・右下の「確認」で、重要語句や学習内容の振り返りができるようになっており、基礎的・基本的な知識を定着させる学習活動ができるようになっている。また、自分の考えを説明させる「問い」から、習得した知識を用い文章化・言語化できる工夫をしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 難解語句は巻末の「用語解説」で確認することができる。また、類似用語集が巻末に収録されており、間違えやすい用語の比較をすることができる。 <p>③・話し合い活動を特に促す箇所が12箇所設けられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> シンキングツールの紹介があり、課題について考える手助けになっている。 <p>④・「公民+α」「明日に向かって」にて現代社会の諸課題を紹介し、興味・関心を喚起している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 終章では、「持続可能な社会の形成に向けて解決すべき課題」について調べ学習が設定されている。 「まとめと評価」の順で活動過程を示し、それぞれに例・ヒントが付され、主体的に学びに向かう力を育む工夫がなされている。
2	<p><u>文章表現・資料等</u></p> <p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等に配慮がなされているか</p> <p>②子どもの自主的、自発的な学習を促すために、指導者にとっても資料・手引き等が有効に使われるものとなっているか</p>	<p>①・1列の文字数が30文字で、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮し、読みやすいUDフォントを使用している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文は敬体で、難解な語句にはふりがなを採用し、読み取りやすさを向上させている。 <p>②・基本的な用語として本文中にゴシック体で示されている用語数は463。</p> <ul style="list-style-type: none"> 章別に目次が色分けされ、章の題名も書かれ教科書での学習内容が分かりやすい。 資料を読み取るヒント箇所は29。 資料を読み取るヒント箇所は50。二次元コードは728箇所。 	<p>①・列文時数が、30文字で、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮し、読みやすいUDフォントを使用している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文は敬体で、難解な語句にはゴシック体の振り仮名を採用し、読み取りやすさを向上させている。 <p>②・基本的な用語として本文中にゴシック体で示されている用語数は394。</p> <ul style="list-style-type: none"> 章別に目次が色分けされ、章の題名も書かれ教科書での学習内容が分かりやすい。 資料を読み取るヒント箇所は28。二次元コードからつながるコンテンツ数は277。
3	<p><u>挿絵・図表及び紙質・造本</u></p> <p>①内容に応じて、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されているか</p> <p>②図版の大きさ、位置等に配慮がなされているか</p>	<p>①・本文を中心に学習内容に興味・関心をもたせる多くの資料(挿絵・図表・統計資料・写真)や疑問・学習課題が配置されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料の数(新聞資料4、統計資料105、テキスト16、図解・図表152) <p>②・AB版、再生紙、ライセンスインキ使用。</p> <ul style="list-style-type: none"> 配色等に関する配慮の記載あり。 総ページ数224ページ 	<p>①・本文を中心に学習内容に興味・関心をもたせる資料(挿絵、図表、統計資料、写真)や学習課題が配置されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料数(新聞記事14、統計資料100、図解・図表88) <p>②・AB版、再生紙、植物油インキを資料。</p> <ul style="list-style-type: none"> 配色等に関する配慮の記載あり。 総ページ数265ページ
4	<p>教科独自の特色や長所</p> <p>①学習内容が子どもにとって分かりやすく、学んでみたいと思う工夫がなされているか</p>	<p>①・教科に関わる身近な資料や写真が掲載されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 直接見るできない資料・写真が掲載されている。 国際理解に関する学習で、「2040年の日本の電源構成を提案しよう」「脱酸素社会に向けて地方公共団体の挑戦」「持続可能な社会に向けて大阪・関西万博」が示されている。 北方領土、竹島、尖閣諸島が扱われているページが2ページ、写真2ページ、地図2ページ。 小学校で学習したことを想起させる資料も同時に掲載している。 	<p>①・各編の学習のはじめに、漫画を用いてその章で学習する内容を把握できるよう工夫している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各編に見方・考え方を働かせ、深い学びに繋がるテーマや学習内容について各種思考ツールを用いて、整理し活用できるようにしている。 各節の終わりに「明日に向かって」の項目で中学生が社会に参画するための手がかりのページが設定されている。 国際理解に関する学習で、「SDGsから未来の社会を考えよう」「地球温暖化に対する政策について考えよう」が示されている。 北方領土、竹島、尖閣諸島が扱われているページが4ページ、写真6ページ、地図3ページある。
5	<p>大分市の子どもの実態</p> <p>①大分市の子どものために親しみがあり、興味をもてる題材が扱われているか</p>	<p>①・写真が大きく、生徒の興味・関心を引きやすいものが厳選されており、授業への意欲喚起につながる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 地元教材として、地熱発電所(大分県九重町)が取り上げられており、興味・関心をもちやすい。 ページの下部に小学校・地理・歴史との関連がある語句が示されており、既習事項を振り返りつつ、関連付けて学習することができる。 「未来にむけて」の項目がSDGsと関連しており、生徒の興味・関心を示しやすい。 	<p>①・地元教材として、障害のある人が働く職場(大分県別府市)や地熱発電所(大分県九重町)が取り上げられており、興味・関心をもちやすい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ビッグデータ、自動運転など新しい事例や身近で話題性のある事例が多く、授業への意欲喚起につながる。 ページ下部に小学校・地理・歴史との関連がある内容が示されており、既習事項を振り返りつつ、関連付けて学習することができる。
	備考		

令和7年度使用中学校用教科書 調査研究報告書

種目（ 社会（公民的分野） ）

	発行者番号	2 2 5	2 2 7
	発行者名	自由社	育鵬社
1	<p><u>単元・題材等の構成及び内容の取扱い</u></p> <p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を効果的に構成して、単元・題材等が設定されているか</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が図られるよう工夫がなされているか</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む観点から、対話的、協働的な学びの場が設定できるなど、学習（言語活動等）が充実し、深い学びにつなげることができているか</p> <p>④主体的に学びに向かう力を育むために、興味・関心を喚起するよう工夫がなされているか</p>	<p>①・大項目ごとに学習内容に関わる問いかげが4行程度で示されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・序章、終章を含め7章16節で構成し、各単元・題材の構成が適切である。（現代社会・人権・憲法・政治・経済・国際社会の順に構成） ・国際社会に関する学習内容の割合が高い。 ・各ページの見出しに学習課題が設定されているため、視点を明確にすることができる。 ・領土問題についても特設で設定。（P.170～171） ・随所に「もっと知りたい」が設定され、「日本人の精神」「国旗と国歌を考えてみよう」等、愛国心について記述された項目が多い。 <p>②・各ページの最後に「ここがポイント」があり、学習内容のまとめと振り返りができるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・途中途中で「やってみよう」があり、個人や集団で考えを深められるようになっている。 ・章末に「学習のまとめと発展」があり、最重要語句の確認のほか、基礎的・基本的な知識をもとに発展的な考えを喚起する設問が設定されている。 ・難解語句に関しては各ページに多くの解説がある。 ・重要な言葉については適時「ミニ知識」のコラムを設け、正確に理解できるようにしている。また、他の関連事項が容易に理解できるようになっている。 <p>③・話し合い活動を特に促す箇所が7箇所で設けられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容に関連する対話的な活動が「アクティブに深めよう」で取り上げられ、学習内容を確実に理解させ、話し合いなどを通じて多様な意見に触れながら価値判断を行えるようにしている。 <p>④・終章は「レポートと卒業論文をつくらう」「ディベートをやってみよう」の10ページで構成され、課題解決の活動過程を示し、それぞれに例・ヒントが付され、主体的に学びに向かう力を育む工夫がなされている。</p>	<p>①・5章14節で構成され、各単元・題材の構成が適切である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各章の始めに「～の入り口」とあり、その章で学ぶ内容を見通すことができ、章末に「これから」を設け、未来の社会を構想できるように構成されている。 <p>②・本文中にゴシック体が394あり、知識の定着を図ることができる。また、章のまとめに、基礎・基本的な用語が示され、穴埋め形式になっており、学習内容を振り返ることができる。</p> <p>③・大項目ごとに説明、追究、意見交換を促す課題が設定されている。（90個ほどある）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マトリクス、ランキング等の思考ツールを紹介したり、活用したりするなど、話し合い活動を促す箇所が12ほど設定されている。 <p>④・コラムや補助資料（公民にアクセス、もっと公民など）の数が45あり、興味・関心を喚起している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べ学習（終章）では、「テーマ決め」「課題探究の計画立て」「プレゼンテーション」「内容の見直し」の順で学びの過程が示されている。
2	<p><u>文章表現・資料等</u></p> <p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等に配慮がなされているか</p> <p>②子どもの自主的、自発的な学習を促すために、指導者にとっても資料・手引き等が有効に使われるものとなっているか</p>	<p>①・1列の文字数が29字である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文は敬体で、難解な語句にはふりがなや用語の意味の解説がなされている。 <p>②・基本的な用語として本文中にゴシック体で示されている用語数は452・巻末索引数713</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見開きごとに、学習課題と共に導入や展開に用いる写真等の資料が示されている。 ・章別に目次が色分けされ、章の題名も書かれ教科書での学習内容が分かりやすい。 ・序章から終章まで一貫した通し番号がふられている。 ・コラムや補助資料の数は67。 ・資料を読み取るヒント箇所は29。 ・調べ学習は「レポートと卒業論文をつくらう」「ディベートをやってみよう」が10ページで構成されている。 	<p>①・1列の文字数が、30文字で、より多くの人に見やすいユニバーサルデザインに配慮するとともに、振り仮名を随所に採用し、読み取りやすさを向上させている。</p> <p>②・本文中に示されている、基本的な用語はゴシック体で示されており語句数が394ある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・章別に目次が色分けされており、みやすくなっている。資料を読み取るヒントを示す箇所は52ある。 ・二次元コードからつながるコンテンツは58ある。資料や外部サイトにつながる。
3	<p><u>挿絵・図表及び紙質・造本</u></p> <p>①内容に応じて、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されているか</p> <p>②図版の大きさ、位置等に配慮がなされているか</p>	<p>①・本文を中心に学習内容に興味・関心をもたせる資料（挿絵、図表、統計資料、写真）や学習課題が配置されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料数（新聞記事5、統計資料42、図解・図表68） <p>②・AB版</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総ページ数261ページ 	<p>①・本文を中心に学習内容に興味・関心をもたせる多くの資料（挿絵、図表、統計資料、写真）や疑問・学習課題が配置されている。資料の数（新聞記事20、統計資料91、テキスト20、図解・図表79）</p> <p>②・AB判256 配色等に関する配慮の記載あり。</p>
4	<p>教科独自の特色や長所</p> <p>①学習内容が子どもにとって分かりやすく、学んでみたいと思う工夫がなされているか</p>	<p>①・公民としての資質を身に付け、国際社会で主体的に生きる日本人の育成のため「国旗と国歌を考えよう」「海をめぐる国益の衝突」「国連改革とわが国の取り組み」「近隣諸国との人権問題」「日本人拉致問題」「国際平和協力活動への取り組み」が示されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際理解に関する学習では、「国旗と国歌を考えよう」「わが国の領土問題」「国連改革とわが国の取り組み」が特設されている。 	<p>①・社会の一員として生きるために公民としての資質を身に付けた日本人を目指し、学習することを方針として打ち出している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北方領土、竹島、尖閣諸島が扱われてるページ4、写真6 地図・絵図4 新聞記事1。 ・二次元コードを使ったデジタルコンテンツがあり、思考ツールの使い方や、探究学習の進め方、白地図等があり、端末を使用した学習も可能であり、学習を行う上での、手立てやヒントが示されている。
5	<p>大分市の子どもの実態</p> <p>①大分市の子どもにとって親しみがあり、興味をもてる題材が扱われているか</p>	<p>①・序章から終章まで一貫した番号がふられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ページ毎に「ここがポイント」が示されており、まとめがされているので、学習内容の確認が行いやすい。 ・「やってみよう」の欄が設定されており、地元についてまとめたり、考えたりする場面が用意されている。 	<p>①・最初に「なぜ公民を学ぶのか」から始まっており、生徒にとって学ぶ意義が分かりやすく、意欲的に取り組むことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校社会科で学習した関連内容を各章の最初で、地理的分野・公民的分野で学習した関連内容は該当する見開き紹介しており、関連付けて学習することができる。
	備考		

令和7年度使用中学校用教科書 調査研究報告書

種目（ 数学 ）

	発行者番号	2	4
	発行者名	東京書籍	大日本図書
1	<p><u>単元・題材等の構成及び内容の取扱い</u></p> <p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を効果的に構成して、単元・題材等が設定されているか</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が図られるよう工夫がなされているか</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む観点から、対話的、協働的な学びの場が設定できるなど、学習（言語活動等）が充実し、深い学びにつなげることができているか</p> <p>④主体的に学びに向かう力を育むために、興味・関心を喚起するよう工夫がなされているか</p>	<p>①・第1学年では、0章「算数から数学へ」の中で、九九表のきまりを見つけさせ、その中で素因数分解を位置付けている。</p> <p>・第2学年の「データの活用」領域では、「確率」→「データの比較」の順に位置付けている。</p> <p>・第3学年では、2次方程式の解き方については、平方根→解の公式→因数分解の順に位置付けている。測定値、近似値、有効数字等は、相似の利用の中に位置付けている。</p> <p>②・節の終わりに「基本の問題」、章の終わりに「章の問題」を設定している。また、二次元コードによるフラッシュカードを設け、基礎的・基本的な知識及び技能の習得ができる構成となっている。</p> <p>③・章の終わりに「深い学び」というコーナーを設け、単元で学んだ知識・技能を活用して問題解決できる題材を用い、問題をつかむ→見直しをたてる→問題を解決するという流れで思考力・判断力・表現力等を育成できるよう工夫されている。</p> <p>・数学的な表現を用いて求め方を説明する場面を位置付けている問題数は、合計107問である。</p> <p>④・章の導入では、身の回りの題材や図などを用い、その中から問題意識をもてるよう工夫がなされている。</p> <p>・他教科やSDGsとの関連を位置付けている。(例 第3学年 P.126 家庭科、SDGsの目標11・13・14)</p>	<p>①・第1学年の1章「数の世界のひろがり」では、正の数、負の数に入る前に自然数を定義し、素数の意味を理解するところから入り、その後、素因数、素因数分解を扱っている。また、素因数分解の利用で思考力を育む題材を用いている。その後正の数、負の数へと展開が広がられている。「正の数・負の数」での計算では数直線の考え方から、数直線を使わず求める方法を模索している。2章「文字と式」では、文字を使った式で数量を表すことから入っている。その後、代入（式の値）の考えを入れ、式の表す意味につなげている。式の計算では、数と1次式の乗法・除法を先に、1次式の加法・減法を後に配列している。</p> <p>・第2学年では、5章「三角形と四角形」の3節に「三角形や四角形の性質の利用」がある。第6章で「データの比較と箱ひげ図」が配置され、最後に7章「確率」に入っている。</p> <p>・第3学年では、近似値と誤差、有効数字の表し方が平方根の大小の後に入っている。その直後に数の範囲を無理数まで拡張することについて触れている。その後、根号をふくむ数の近似値を求める工夫として分母の有理化が扱われている。2次方程式では因数分解による解き方→平方根の考えを使った2次方程式の解き方→解の公式を使った解き方という構成になっている。</p> <p>②・各章の終わりには、基礎的・基本的な知識及び技能の習得ができるよう確認問題が多く取り入れられている。巻末に解答もついている。また、各節にも適切な量で確認問題の設定があり、授業で習ったことを定着するための工夫がされている。</p> <p>③・活用・探究の題材が各章の終わりに導入され、既習事項を使って探究活動ができるような工夫がなされている。</p> <p>・数学的な表現を用いて求め方を説明する場面を位置付けている問題数は、合計167問である。</p> <p>④・巻末に課題学習の題材となる話題がたくさん取り入れられ、数学が身近なところで活用されていることを実感できるよう工夫がなされている。章の導入では身近な題材が扱われ、興味・関心をひく内容になっている。</p> <p>・「めあて」が本時で扱う最初の部分で明記され、その時間のポイントがつかみやすい。</p>
2	<p><u>文章表現・資料等</u></p> <p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等に配慮がなされているか</p> <p>②子どもの自主的、自発的な学習を促すために、指導者にとっても資料・手引き等が有効に使われるものとなっているか</p>	<p>①・標題、本文、振り仮名等、読みやすいフォントを使用している。</p> <p>・問題、めあて、課題等の背景にオレンジを配色し、注目しやすい配慮がなされている。</p> <p>②・教科書の初めに、「デジタルコンテンツDの使い方」、「大切にしたい数学の学び方」、「教科書の構成と使い方」など、生徒が自ら学びを進められる工夫がなされている。</p> <p>・巻末に「数学の自由研究」というコーナーを設け、レポートの作り方や発展的な数学の内容を掲載しており、さらなる思考力・判断力・表現力等の育成ができる工夫がなされている。</p>	<p>①・中学校第1学年には比較的難しい漢字に、ふりがなを付けるなど読みやすくする工夫がある。覚えるべき語句は太字でフォントで示す工夫をしている。</p> <p>②・小学校第6学年から中学の教科書に代わるときのギャップがあまり感じられないように、十分な余白を設けている。学年が上がるにつれて文章量が増えている。中学校第3学年にとっては多少難しさを感じる内容も入っている。生徒が自主的、自発的に学習できるよう、身近な題材が教科書の至るところに散りばめられている。</p>
3	<p><u>挿絵・図表及び紙質・造本</u></p> <p>①内容に応じて、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されているか</p> <p>②図版の大きさ、位置等に配慮がなされているか</p>	<p>①・とびらのページや「深い学び」には、図や写真などを使い、興味・関心を引き出す工夫がなされている。</p> <p>・「データの活用」領域では、各学年とも、学習内容に応じたデータを掲載している。(例 第3学年 P.219)</p> <p>②・基本的には、右側に、図、表、グラフ、キャラクターの吹き出し、振り返りができる教科書のページなどを配置し、統一感がある。</p>	<p>①・内容に応じて適切な挿絵・図表、統計資料、写真資料が配置されている。日常の風景の中の数学を取り上げている写真の採用が多い。</p> <p>②・書き込める座標平面を多く取り入れたり、作図の練習だけのページがあったり、実際に操作しながら理解できるような工夫がされている。</p> <p>・巻末に図形領域で使用できる教具が挿入されており、実際に操作活動を行って親しみやすく習得できるような工夫がなされている。</p>
4	<p>教科独自の特色や長所</p> <p>①学習内容が子どもにとって分かりやすく、学んでみたいと思う工夫がなされているか</p>	<p>①・二次元コードからつながる動画は、生徒に課題意識をもたせる導入教材(例 第3学年 P.27 スタート地点を決めよう)や、視覚的に変化の様子を表すシミュレーション(例 第2学年 P.88)、理解を促進する実験(例 第1学年 P.219 円柱の体積と半球の体積)、復習ができるフラッシュカード等、工夫がなされている。</p> <p>・巻末に「数学の目でふりかえろう」というコーナーを設け、第1学年では、各領域の内容について、小学校から中学校第1学年までの接続を示している。</p> <p>・第1学年では、「学びのペース(まとめ編)」というコーナーを設け、学習の土台となる内容を問題形式で確認できるよう位置付けている。(第1学年 P.260)</p> <p>・数学的活動の問題数は、合計284問である。</p>	<p>①・巻末にはその学年のまとめとして一覧表に要点がまとめられ、すぐに確認できるようになっている。</p> <p>・数学の世界を広げるため、数学ブックリストとして数学に関連する書籍の紹介もされている。</p> <p>・巻末に課題学習の題材となる話題がたくさん取り入れられ、数学が身近なところで活用されていることを実感できるよう工夫されている。</p> <p>・巻末では、図形において第1学年で実際に展開図から正多面体をつくることができるキット、第3学年では三平方の定理を証明するためのキット等、実際に操作しながら習得できるような工夫がなされている。</p> <p>・数学的活動の問題数は、合計285問である。</p>
5	<p>大分市の子どもの実態</p> <p>①大分市の子どものために親しみがあり、興味をもてる題材が扱われているか</p>	<p>①・大分国際車いすマラソン(第1学年 P.153)を比例の利用の題材としている。</p> <p>・別府市富士見町が全国の「富士見」という地名として紹介されている。(第3学年 P.203)</p> <p>・「数学のまど」のコーナーでは、写真や二次元コードから視聴できる動画により数学と日常生活や社会とのつながりを示している。(例 第1学年 P.28、第2学年 P.89 第3学年 P.114)</p> <p>・「章の問題 B」では、実生活の場面で知識・技能を活用する力を問う「活用」の問題を設け、「思考力・判断力・表現力等」を身に付けられるよう工夫されている。</p>	<p>①・思考力をつけることができる題材や図、写真が数多く挿入され、授業の工夫の仕方で生徒が親しみやすく考えを深めることができる内容になっている。</p> <p>・中1ギャップを感じないよう第1学年では十分な余白によって見やすいデザインになっており、学年が上がるにつれて文字数が増え、難易度も上がっている。</p>
	備考		

令和7年度使用中学校用教科書 調査研究報告書

種目 (数学)

	発行者番号	1 1	1 7
	発行者名	学校図書	教育出版
1	<p><u>単元・題材等の構成及び内容の取扱い</u></p> <p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を効果的に構成して、単元・題材等が設定されているか</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が図られるよう工夫がなされているか</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む観点から、対話的、協働的な学びの場が設定できるなど、学習（言語活動等）が充実し、深い学びにつなげることができているか</p> <p>④主体的に学びに向かう力を育むために、興味・関心を喚起するよう工夫がなされているか</p>	<p>①・第1学年では、1章の導入で身の回りにあるマイナスのついた数を写真で取り上げ、マイナスの概念がわかりやすく示されている。加法・減法ではカードゲームの得点と数直線を同時に示しながら減法の仕組みをわかりやすく説明し、減法と加法の関係を丁寧に扱っている。乗法・除法→数の集合と計算の関係→素数・素因数分解の順で学習がすすむ。素因数分解では、小学校の復習として最小公倍数、最大公約数を丁寧に扱っている。2章「文字式」では、導入で「ストーリーは何本？」という題材を扱い、その流れから代入、式の値を理解するように配列されている。文字式の表し方→数量の表し方から式の計算の展開である。3章「方程式」では、初めに等式と不等式から入り、等式と不等式の違いを比較しながら方程式へと進み、方程式の解き方へと展開されている。方程式の最後に比例式が入り、方程式と関連付けて理解できる構成になっている。</p> <p>②・5章「平面図形」では、導入で土器の復元、宝探しなどを扱っている。90°の角の作図の中で、基本的な用語を扱い、垂直二等分線の作図→垂線の作図→60°、30°の角の作図を作るために角の二等分線の作図、という展開が工夫されている。6章「空間図形」では、導入で立体の分類から入り、立体の名称に展開され、その後、立体の投影図→多面体の紹介の流れになっている。立体の体積では、二次元コードがところどころで挿入されている。</p> <p>・第2学年では、図形領域で数多くの図形や写真で身近なところから数学を見つけ、興味をひくように工夫されている。証明問題では穴埋め問題で証明を進めている。各章のまとめ問題を「基本・応用・活用」と明記している。7章「データの活用」では最初に箱ひげ図を学習し、後半は箱ひげ図を使ってデータ分析できるようにしている。</p> <p>③・7章「データの活用」では2つのデータの結果を導入で扱い、2つの結果を比較し、既習事項を生かしながらデータの傾向を読み取る工夫がされている。</p> <p>・教科書最後の「さらなる数学へ」（協働学習）では新しいことを学んだことを生かし、どのような見方・考え方をすればよいかをまとめている。協働しながら課題解決できるような題材を数多く取り上げている。</p> <p>・数学的な表現を用いて求め方を説明する場面を位置付けている問題数は合計139問である。</p> <p>④・導入で、小学校で学んだ知識を生かしていくよう、思考の流れを意識させる構成になっている。生徒にとっては既習事項とつながっていると感じやすい。</p> <p>・「目標」が本時で扱うページの上部に明記され、その時間のポイントがつかみやすい。</p> <p>・吹き出しに疑問形式で問題提起し、「まとめ」をしやすくしている。</p>	<p>①・第1学年では、1章に「整数の見方」を設け、2章の「正の数・負の数」の学習の前に、素因数分解を扱う配列となっている。「データの活用」は8章「データの分析」という単元名になっている。</p> <p>・第2学年では、連立2元1次方程式の解法が、加減法→代入法の順で構成されている。発展的な内容として「数学の広場」というスペースの中に、連立3元1次方程式を扱っている。「データの活用」は、7章「データの分析」という単元名で、6章「確率」の前に配列されている。</p> <p>・第3学年では、「2次方程式」の解法が、因数分解による解き方→平方根の考え方を使った解き方→解の公式の順に配列されている。</p> <p>②・各章に入る前に、その章で学習する内容につながる既習事項の確認ができるページがある。</p> <p>・例題と問いの間、または、問いと問いの間に、「たしかめ」の問題があり、基本事項を確認することができるようになっている。</p> <p>・各単元の終わりに、「学習のまとめ」のページがあり、基本的な公式を確認することができるようになっている。その後に章末問題が配列されており、基礎・基本の定着に向けて工夫がなされている。</p> <p>③・学習したことを活用する問題や、多様な考え方を引き出す課題が設定されており、自分の考えを説明したり解決の仕方を話し合ったりしやすいように、「学びのプロセス」が示されている。（第1学年P.97、第2学年P.100～101）</p> <p>・各学年とも、P.6～9に「大切にしたい数学的な見方・考え方」のコーナーがあり、問題解決のためのプロセスや解決の糸口の見つけ方が示されている。</p> <p>・各学年で数学的な表現を用いて求め方を説明する場面を位置付けている問題数は、合計173問である。</p> <p>④・各単元のとびらのページに、生活の中に使われている数学に触れ、興味をもたせている。また、続いて「Let's Try」のページがあり、その章の学習内容につながる課題が身近な問題の中から設定され、生徒の興味・関心を引き出す工夫がされている。</p> <p>・解決のヒントになる事柄が、生徒の言葉として吹き出しの中に示されている。</p>
2	<p><u>文章表現・資料等</u></p> <p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等に配慮がなされているか</p> <p>②子どもの自主的、自発的な学習を促すために、指導者にとっても資料・手引き等が有効に使われるものとなっているか</p>	<p>①・文字間隔や行間が適切である。落ち着いた配色で、目標は赤で表現されている。</p> <p>・3年間を通して同じくらいの文章量に感じる。生徒が自主的、自発的に学習できるよう、身近な題材が教科書の至るところに散りばめられている</p> <p>②・協働学習ができるような題材が数多く取り上げられており、指導者の工夫次第で生徒の自主的・自発的な学習が期待できる。</p>	<p>①・問題や説明、まとめ、重要語句などで文字の種類や大きさを変えている。</p> <p>・1時間の授業ごとの「めあて」が、太字で示されており、その時間の学習すべき内容が分かりやすい。</p> <p>②・巻頭に、「教科書の使い方」「みんなで数学をはじめよう」「大切にしたい数学的な見方・考え方」等を示している。</p> <p>・章末問題は、「たしかめよう」「力をのばそう」「学んだことを活用しよう」の3つの難易度で構成されている。</p>
3	<p><u>挿絵・図表及び紙質・造本</u></p> <p>①内容に応じて、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されているか</p> <p>②図版の大きさ、位置等に配慮がなされているか</p>	<p>①・身近にある多くの画像を使用し、普段目にしていないものが数学につながっていることを意識させる工夫がなされている。指導者も興味をもって授業できるような題材が扱われている。</p> <p>・巻末ではカードゲーム、サイコロなど実際に手に取って作業するための道具となる資料が挿入されている。</p> <p>②・書き込める座標平面を多く取り入れたり、作図の練習だけのページがあったり、実際に操作しながら理解できるような工夫がされている。</p>	<p>①・キャラクターや男女の中学生が、コメントする形で、ポイントや解き方のヒントを示しており、問題に取り組みやすい工夫がされている。</p> <p>・公式や定理は、言葉や式だけでなく、図もあわせて示している。</p> <p>・図や表は、色使いが鮮やかで見やすく工夫されており、問題解決のための配慮がなされている。</p> <p>②・表紙は表面にコーティングが施されており、汚損しにくくなっている。</p>
4	<p>教科独自の特色や長所</p> <p>①学習内容が子どもにとって分かりやすく、学んでみたいと思う工夫がなされているか</p>	<p>①・導入等で数多くの写真を挿入しており、身近な題材を数学につなげることが意識できるような工夫がされている。</p> <p>・身近な現象（迷惑メールの見分け方、開票率1%で当選!？）など普段疑問に思っているような内容を課題とし、既習事項を用いて解決できるような場面を各章で取り上げている。</p> <p>・章末問題では、「基礎・応用・活用」と明記され、難易度が分かりやすい。</p> <p>・小学校での授業展開と同じように、生徒の疑問から本時の課題を位置付けるような流れが多く、生徒にとっては馴染みのある構成になっている。</p> <p>・数学的活動の問題数は、合計230問である。</p>	<p>①・巻頭に「教科書の使い方」「みんなで数学をはじめよう」「大切にしたい数学的な見方・考え方」「工夫してノートを書く」のページがあり、問題解決の過程や学び方のポイントが示されている。</p> <p>・各章の章末に「数学仕事人」「学んだことを活用しよう」「数学の広場」のページがあり、高校の学習内容を紹介する発展的な内容を扱ったり、とびらの学習内容とリンクさせていたりして、主体的で深い学びにつながるよう工夫されている。</p> <p>・巻末に切り取って使える紙教材がついている。</p> <p>・数学的活動の問題数は、合計202問である。</p>
5	<p>大分市の子どもの実態</p> <p>①大分市の子どもにとって親しみがあり、興味をもてる題材が扱われているか</p>	<p>①・活用問題として扱える題材を章末に数多く掲載している。協働学習しながら課題解決できる題材やヒントがあり、授業の中で思考力を高めるためのきっかけをつくることことができる。</p> <p>・巻末の「さらなる数学へ」でこれまでに学習した内容を一歩進めて、「数学的な見方・考え方」を鍛えるための題材があり、最近の題材（SDGs等）により、生徒が興味・関心をもつような内容になっている。</p> <p>・課題としている思考力を高めるための授業展開が期待される。時間に余裕があったり研究授業を行ったりする場合に利用することができる。難易度は高くなく、適切である。</p>	<p>①・身の回りの事象の中にある数学に目を向けさせ、問題として取り上げることにより、生徒の興味・関心を引き出す工夫がされている。</p> <p>・各章のはじめに「Let's Try」に取り組むことで、課題を生徒が自ら見つけられるようになっている。</p> <p>・第1学年のP.287に「小学校算数計算のふりかえり」がある。P.288～296には「学びのマップ」があり、小学校の内容の復習ができるのと同時に中学校第1学年の内容との関連性が見えるようになっている。</p>
	備考		

令和7年度使用中学校用教科書 調査研究報告書

種目（ 数学 ）

	発行者番号	6 1	1 0 4
	発行者名	啓林館	数研出版
1	<p><u>単元・題材等の構成及び内容の取扱い</u></p> <p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を効果的に構成して、単元・題材等が設定されているか</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が図られるよう工夫がなされているか</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む観点から、対話的、協働的な学びの場が設定できるなど、学習（言語活動等）が充実し、深い学びにつなげることができているか</p> <p>④主体的に学びに向かう力を育むために、興味・関心を喚起するよう工夫がなされているか</p>	<p>①・学習内容のつながりを意識して題材が構成されている。</p> <p>・第1学年では、1章「正の数・負の数」の単元の中で、正の数・負の数の計算を学習した後、4節「数の世界の広がり」で、既習の数を整理・分類し、演算の可能性を確認した後、素数を学び、素因数分解へとつなげる流れになっている。</p> <p>・第2学年では、2章「連立方程式」の解法は、加減法→代入法の順で配列されている。「データの活用」は、7章「箱ひげ図とデータの活用」という単元名で、6章「場合の数と確率」の後に構成されている。</p> <p>・第3学年では、2章「2次方程式」で、「平方根の考え方をを用いた解き方」→「解の公式を用いた解き方」→「因数分解を用いた解き方」の順で配列されている。</p> <p>②・例題の扱い方が、「考え方」を示して大まかな見通しをもたせた後に、解答を示しており、とても分かりやすく丁寧である。</p> <p>・重要語句は太字で、公式や定理はカラーの枠組みで囲まれており、分かりやすくなっている。</p> <p>・各ページに補充問題の二次元コードが載っており、問いや練習問題が早く終わった生徒が自主的に問題に取り組めるように工夫がなされている。</p> <p>・章末問題のページには、解説の動画が見られる二次元コードが示されている。</p> <p>③・問題の内容に応じて、「広げよう」「話し合おう」「説明しよう」のコーナーにおいて、考える視点や方向性が示されており、自分の考えを深めたり、多様な考え方に触れたりする場が設定されている。</p> <p>・各学年で数学的な表現を用いて求め方を説明する場面を位置付けている問題数は、合計169問である。</p> <p>④・各章のとびらのページは、身の回りの題材から数学を見つける内容になっており、生徒の興味・関心を引き出す配慮がなされている。また、そのページに二次元コードが載せられており、そこから生徒の思考を助けるような動画を見ることができると工夫がなされている。</p>	<p>①・第1学年では、1章「正の数・負の数」の4節「いろいろな計算」の中で、「正の数、負の数の利用」の前に「素因数分解」を取り上げている。文字式の表す意味の読み取りは「文字式の利用」として料金、面積を扱っている。7章は「データの活用」である。</p> <p>・第2学年では、6章「データの活用」7章「確率」の配列である。6章「データの活用」では、ヒストグラムの比較からデータの散らばりを表すために四分位数、箱ひげ図を学ぶ流れとなっている。</p> <p>・第3学年「2次方程式」の解法は、「因数分解による解法→平方根の考えを使った解き方→解の公式」となっている。</p> <p>②・章初めに振り返りのページを設け、新たな章の学びがスムーズに進むようにしている。</p> <p>・「例」や「問」を細かく配置し、基礎的・基本的な知識及び技能が無理なく習得できるよう配慮している。</p> <p>③・「方法の説明」「理由の説明」を各所に設け、伝え合う力が高まるようにしている。（第2学年 P.168等）</p> <p>・「めあて」にオレンジ色のアンダーラインを示している。</p> <p>・各学年で数学的な表現を用いて求め方を説明する場面を位置付けている問題数は、合計105問である。</p> <p>④・解決の見通しやヒントを、教師と生徒のキャラクターの会話形式や吹き出しで示している。</p>
2	<p><u>文章表現・資料等</u></p> <p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等に配慮がなされているか</p> <p>②子どもの自主的、自発的な学習を促すために、指導者にとっても資料・手引き等が有効に使われるものとなっているか</p>	<p>①・重要語句は太字で、公式や定理はカラーの枠で囲まれており、ポイントが一目で分かりやすい。</p> <p>・1時間の授業ごとの「めあて」が、黄色の枠で囲まれて示されており、その時間の目指すべきことが分かりやすい。</p> <p>②・巻頭に「教科書の構成と使い方」「ノートを工夫して学習に役立てよう」を示している。</p> <p>・章末問題は、「学びをたしかめよう」と「学びをみにつけよう」の2つの難易度で構成されている。</p> <p>・裏表紙に各学年の学習内容のポイントが簡潔にまとめられている。右隅には、前の学年のまとめをふりかえることができる二次元コードがついている。</p>	<p>①・丁寧でやさしい文章表現である。</p> <p>・UDフォントを大きめのサイズで用い、文章を文節で改行している。</p> <p>・太字、下線、枠囲い等で大事なところを強調している。</p> <p>・奇数ページにツメ見出しがあり、ページが検索しやすい。</p> <p>②・巻頭に「この教科書について」「学習に役立つコンテンツ」「学習の進め方」を示している。</p> <p>・単元末に3つの難易度で構成された「問題A・B」「学んだことを活用しよう」、巻末に「チャレンジ」を設定している。</p>
3	<p><u>挿絵・図表及び紙質・造本</u></p> <p>①内容に応じて、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されているか</p> <p>②図版の大きさ、位置等に配慮がなされているか</p>	<p>①・キャラクターが考えるヒントや解決の糸口を問いかけたり、大事なポイントを吹き出しの中で示したりしている。</p> <p>②・問題解決に必要な図や写真、表、グラフが適切な場所や大きさと配置されている。</p> <p>・グラフや図を書き込む問題では、十分なスペースを確保し、問題に取り組みやすく配慮されている。</p> <p>・総ページ数が1学年は299ページ、2学年は235ページ、3学年は279ページと、比較的少なめで軽くて扱いやすい。</p>	<p>①・学習を補助する図表や写真、統計資料などが適切に配置されている。</p> <p>・キャラクターの会話が、以前の学習内容を思い出すきっかけや学びを深めるきっかけとなっている。</p> <p>②・グラフや図を書く問題、長さや角度を測る問題は、本を開いた時の外側に配置して書き込みやすい。</p>
4	<p>教科独自の特色や長所</p> <p>①学習内容が子どもにとって分かりやすく、学んでみたいと思う工夫がなされているか</p>	<p>①・巻頭に「教科書の構成と使い方」「表現する力を身につけよう」「問題を発見し解決して、さらに深める力を身につけよう」「学びを確かなものにしよう」「いろいろな場面で役に立つ大切な考え方を身につけよう」があり、学びを広げたり深めたりするためのヒントとなっている。</p> <p>・巻末に「数学広場」のページがあり、「学びをふりかえろう」「力をつけよう」「学びをいかそう」の3段階構成になっている。</p> <p>・数学的活動の問題数は、合計233問である。</p>	<p>①・各章初めの導入では、日常生活にある数学に着目した題材や学びから生まれる自然な疑問が取り上げられ、学んでみたくなる工夫がある。</p> <p>・数学的活動の問題数は、合計349問である。</p> <p>・各章の学習に入る前に、その章に関連する既習内容を確認できる「ふりかえり」ページがあり、新しい学習にスムーズに取り組むことが期待できる。</p> <p>・必要に応じて小学校算数の学習内容に触れ、内容の系統性が理解できるようにしている。（第1学年 P.31、第3学年 P.237等）</p> <p>・前に学んだ教材と新しい内容を関連付けたり、視点を変えて捉えたりする場を設けている。（第3学年 P.226等）</p> <p>・多様な生徒に合った学びができるよう「補充」「イメージ」「資料」「考察」「探求」の5種類の二次元コードを配置している。</p>
5	<p>大分市の子どもの実態</p> <p>①大分市の子どものために親しみがあり、興味をもてる題材が扱われているか</p>	<p>①・第1学年のP.248～253に「学びをふりかえろう」のページがあり、小学校の内容の復習ができるようになっている。「速さ・時間・道のり」「割合」「小数・分数」「データの整理」の公式だけでなく、例題や問いも載っており、二次元コードによる解説動画も見ることができるようになっている。</p>	<p>①・各所に設けられた「方法の説明」や「理由の説明」を通して、思考力・判断力・表現力等の育成が期待できる。</p> <p>・大分県立美術館 OPAM（第1学年巻頭の次）、職場体験の話（第2学年 P.44）等の身近な題材が扱われており、興味をもてると期待できる。</p>
	備考		

令和7年度使用中学校用教科書 調査研究報告書

種目（ 数学 ）

	発行者番号	1 1 6
	発行者名	日本文教出版
1	<p>単元・題材等の構成及び内容の取扱い</p> <p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を効果的に構成して、単元・題材等が設定されているか</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が図られるよう工夫がなされているか</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む観点から、対話的、協働的な学びの場が設定できるなど、学習（言語活動等）が充実し、深い学びにつなげることができるか</p> <p>④主体的に学びに向かう力を育むために、興味・関心を喚起するよう工夫がなされているか</p>	<p>①・題材のまとめ方、構成が適切でわかりやすい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1学年では、1章「正の数・負の数」の3節「乗法と除法」の中で、4節「正の数と負の数の活用」の前に「素因数分解」を配列している。文字式の表す意味の読み取りは、式の値の後、いろいろな数量の表し方の学習後に配列し、料金、面積を扱っている。7章は「データの活用」である。 第2学年では、6章「場合の数と確率」、7章「データの比較」の順に配列している。7章「データの比較」ではヒストグラムの比較からデータの散らばりを表すために四分位数、箱ひげ図を学ぶ流れとなっている。 第3学年「2次方程式」の解法は、「因数分解による解法→平方根の考えを使った解き方→解の公式」となっている。 <p>②・新しい章に入る直前に、既習事項を確認する「次の章を学ぶ前に」を設けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「例」に見出しをつけ、復習がしやすくなっている。「例」や「問」はスモールステップで段階的に学びを積み上げていける。 <p>③・数学的な表現を用いて説明する「説明できるかな？」をすべての章に設けている。（第2学年 P.87 等）</p> <ul style="list-style-type: none"> 「めあて」を朱書き、その場面で必要な「大切な見方・考え方」が生徒にも分かる表現で横欄に示されている。 「深めよう」「話し合おう」等の学習活動があり、吹き出しで解決の見通しやヒントを示している。 各学年で数学的な表現を用いて求め方を説明する場面を位置付けている問題数は、合計 167 問である。 <p>④・問題解決型の授業展開を明示した「学び合おう」、そこで話し合いを通して学びを深める「対話シート」がある。（第1学年 P.52～53,P.299 等）</p>
2	<p>文章表現・資料等</p> <p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等に配慮がなされているか</p> <p>②子どもの自主的、自発的な学習を促すために、指導者にとっても資料・手引き等が有効に使われるものとなっているか</p>	<p>①・文章表現が簡潔でわかりやすい。</p> <ul style="list-style-type: none"> UD フォント、必要な漢字には UD ゴシック体を用い、文章を読みやすい位置で改行している。 見分けやすい配色、図中の文字の大きさ等、情報が読み取りやすい紙面構成になっている。 <p>②・巻頭に「この本の使い方」「ノートの工夫」「ICTの使い方」を示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元末に2つの難易度で構成された「章の問題」「とりくんでみよう」、巻末に「補充問題」「活用の問題」を設定している。
3	<p>挿絵・図表及び紙質・造本</p> <p>①内容に応じて、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されているか</p> <p>②図版の大きさ、位置等に配慮がなされているか</p>	<p>①・学習内容に応じた適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が取り入れられ、生徒の興味・関心を高め、思考や理解を助ける材料となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> キャラクターの吹き出しで、ポイントやまちがえやすい箇所などを押さえていてわかりやすい。 <p>②・グラフや図をかく問題は本を開いた時の外側に配置し、図版の大きさも適切で書き込みやすい。</p>
4	<p>教科独自の特色や長所</p> <p>①学習内容が子どもにとって分かりやすく、学んでみたいと思う工夫がなされているか</p>	<p>①・巻頭の見返しや章の扉はインパクトがあり、生徒に疑問を抱かせ、どうすれば疑問を解決できるのかと興味を引くようなことがらを写真やイラストを用いた楽しい紙面で扱っている。また、その疑問を解決する過程を丁寧に扱っている。（第1学年巻頭見返し→P.209、第2学年巻頭見返し→P.32 等）</p> <ul style="list-style-type: none"> 数学的活動の問題数は、合計 386 問である。 各章の学習に入る前に「次の章に入る前に」があり、その章に関連する既習内容を確認できる。 必要に応じて小学校の学習内容について、丁寧に学び直しができる。（第1学年 P.224 等） 「算数の確かめ」があり、必要に応じて小学校の内容を振り返ることができる。（第1学年 P.264～268） 「知っていることを使えるようにする」「同じように考える」ことを適宜明示しているので、既習事項を生かした学びができ、学びの意欲につながることが期待される。 二次元コードの数が豊富で、式・表・グラフ・図形等を変形させて考察ができるようにしている。
5	<p>大分市の子どもの実態</p> <p>①大分市の子どもにとって親しみがあり、興味をもてる題材が扱われているか</p>	<p>①・全ての章に設けている、方法や理由を数学的な表現を用いて説明する「説明できるかな?」、話し合いを通して学びを深めていく小節「学び合おう」で、思考力・判断力・表現力等の育成が期待できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 高崎山自然動物公園（第1学年 P.85）、大分県美術館 OPAM（第2学年 P.53）や、大分国際車いすマラソンを題材にした SDGs と数学のコナー（第1学年 P.248～249）等、親しみや興味をもって取り組むことが期待できる。
	備考	

令和7年度使用中学校用教科書 調査研究報告書

種目（理科）

	発行者番号	2	4
	発行者名	東京書籍	大日本図書
1	<p><u>単元・題材等の構成及び内容の取扱い</u></p> <p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を効果的に構成して、単元・題材等が設定されているか</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が図られるよう工夫がなされているか</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む観点から、対話的、協働的な学びの場が設定できるなど、学習（言語活動等）が充実し、深い学びにつなげることができているか</p> <p>④主体的に学びに向かう力を育むために、興味・関心を喚起するよう工夫がなされているか</p>	<p>①・各学年とも1分野と2分野がバランスよく配置されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に「「探究」の流れを確認しよう」を設け、学習活動の流れを示している。 ・各単元の最初に、小学校や中学校下位学年での既習事項を確認できるように学習の系統性を重視している。 ・各単元の最初に、「これから学ぶこと」を提示し、見通しをもって学習ができる工夫がある。 ・各章の導入時の自分の考えと学習後の自分の考えを整理することができる（「Before&After」）。 ・観察や実験では、「結果の見方」や「考察のポイント」の記載があり、文章記述の手助けとなる。 ・観察や実験では、朱書きで注意点が記載されており、安全面への配慮が見られる。 ・各節において、「課題」を明示し、学習後、使用するキーワードを提示して自分の考えをまとめる構成になっている。また、巻末には考え方の例示があり、思考の手助けとなる。 <p>②・章末ごとに基本事項の確認があり、定着を図ることができるような構成になっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元末ごとに重要語句をまとめた「学習内容の整理」があり、基礎的な用語を確認できる。 ・単元末ごとに「確かめ問題」と「活用問題」があり、単元を通して学んだことを定着、発展させることができる。 ・巻末に、実験等を行う基本技能が「理科室のきまり」にまとめられている。 <p>③・生徒が探究的な学習に取り組めるように、「仮説」「構想」「分析解釈」「検討改善」などの科学的に思考・表現する言語活動が配置されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「理科の見方・考え方」で科学的な見方・考え方を示している。 ・学習の終わりには、「ふり返り」「活用」を設定しており、深い学びができるようになっている。 <p>④・冒頭の「問題発見レッツスタート！」やコラム「まちなか科学」「なるほどね！」などで、身の回りの事象について考える場面を設けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「歴史にアクセス」では、マンガを取り入れており、興味関心を持ちやすい。 ・章末の「学びを生活や社会に広げよう」では、学習内容を日常や社会につなげられるようになっている。 	<p>①・各学年とも1分野と2分野がバランスよく配置されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に「理科の学習の進め方」を設け、学習活動の流れを示している。 ・各単元の最初に、見開きで「これまでに学習したこと」「これから学習すること」が提示されており、学習の系統性とともに見通しをもって学習できる工夫がある。 ・課題をもって観察や実験を行うことができるよう、「課題」が明示されている。 ・観察や実験では、結果の整理の仕方や結果の例が示されており、まとめ方を理解しやすくしている。 ・観察や実験では、写真が多く掲載され、実験方法を把握しやすくする工夫が見られる。 <p>②・章末ごとに要点チェックがあり、定着を図ることができるような構成になっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元末ごとに重要語句をまとめた「まとめ」があり、基礎的な用語を確認できる。 ・単元末ごとに「単元末問題」と「読解力問題」があり、単元を通して学んだことを定着、発展させることができる。 ・巻末に、実験等を行う基本技能が「理科室のきまり」にまとめられている。 ・計算を伴う学習内容では、「演習」として類題が示され、定着を図ることができるよう工夫されている。 <p>③・観察、実験の計画を立案する活動や「探究の進め方」があり、主体的、対話的な学習活動を促している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実験の結果や考察が次のページに配列されており、学ぶ場をもたせるよう工夫がみられる。 <p>④・「つながる」では他教科との関わり、「sciencepress」では科学の話題、「くらしの中の理科」では日常生活との関わりなど学習意欲を喚起する資料がふんだんに掲載されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・章末に「探究活動」の項目を入れ、科学的な見方・考え方を育む工夫が見られる。
2	<p><u>文章表現・資料等</u></p> <p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等に配慮がなされているか</p> <p>②子どもの自主的、自発的な学習を促すために、指導者にとっても資料・手引き等が有効に使われるものとなっているか</p>	<p>①・本文がページ全体（横幅）に占める割合は1/2～2/3で、図・写真・補足などが右側に掲載されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文中、太字で示された重要語句の漢字ほとんどに振り仮名がある。 <p>②・巻頭には「探究の流れ」「考察やレポートのまとめ方」「議論や情報収集のしかた」等、巻末には「自由研究の例」「基本操作（グラフの書き方）」「自分の考えをまとめよう」等があり自主的、自発的な学習に活用できるよう工夫されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードを読み取ると、導入の動画、実験動画を主に、ワークシート、練習問題等が表示され、学びを深めることができるようになっている。（資料数561） 	<p>①・本文がページ全体（横幅）に占める割合は1/2～2/3で、図・写真・補足などが外側に掲載されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年生の文字が大きい。本文中、太字で示された重要語句の漢字すべてに振り仮名がある。 <p>②・単元のはじめに図や写真を用いた「これまでに学習したこと」と「これから学習すること」があり、見通しをもった学習ができるよう工夫されている。また巻頭に「自由研究にチャレンジしよう」等、巻末には「基本操作」「理科の学習と算数・数学」自主的・自発的な学習に活用できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人1台端末などで利用できるウェブコンテンツと連動しており、動画で実験器具の操作方法を理解できる。（資料数59）
3	<p><u>挿絵・図表及び紙質・造本</u></p> <p>①内容に応じて、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されているか</p> <p>②図版の大きさ、位置等に配慮がなされているか</p>	<p>①・観察、実験の注意事項を文章と安全マークで示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの挿絵、図表、写真がバランスよく配置され、視覚的に情報が得られやすい構成である。 <p>②・単元の導入で見開き2ページ、章ごとに1ページの写真を掲載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A B判で、軽量の紙質の造本となっている。 	<p>①・観察、実験の注意事項を文章で示している。</p> <p>②・単元の導入で見開き2ページ、章ごとに2分の1ページの写真を掲載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・B5判で、軽量の造本となっている。
4	<p>教科独自の特色や長所</p> <p>①学習内容が子どもにとって分かりやすく、学んでみたいと思う工夫がなされているか</p>	<p>①・単元末「社会へつながる科学」での職業人へのインタビューで、学んだことを人生や社会に生かそうとする力を養う工夫がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2学年では巻末にペーパークラフトがあり、個人で学習内容の理解を深めることができるようになっている。 ・「歴史にアクセス」の記述では、マンガを活用し、偉業を紹介している。 	<p>①・単元末の「読解力問題」では、学んだことを活用したり、表現したりできるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各単元の終わりに「探究活動」があり、学んだことを活かし思考力を養えるよう構成されている。
5	<p>大分市の子どもの実態</p> <p>①大分市の子どものために親しみがあり、興味をもてる題材が扱われているか</p>	<p>①・多くの二次元コードが用意されており、実験の方法やシミュレーションなど工夫されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジュアルシンキングを多用し、学習意欲を高めさせる工夫がされている。 ・学習の流れやポイントが見える化し、系統的な学びに取り組みやすいように工夫されている。 ・各単元のはじめにこれまでに学んだこと(小学校・中学校)とこの単元で学ぶことを記載しており、見通しがもちやすい。また、本文中に小学校で学んだことについても「これまでに学んだこと」として写真やイラスト等を用いて説明がある。 	<p>①・大分の地域写真が複数掲載されており、大分市の生徒が興味をもつことができるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほとんどの題材ごとに「くらしの中の理科」という内容があり、日常とのつながりを興味もちやすいように紹介している。 ・各単元末に「読解力問題」があり、表やグラフの読み取る力を付ける内容となっている。 ・各単元のはじめにこれまでに学んだこと(小学校・中学校)とこれから学ぶことを見開き2ページにわたり記載しており、見通しがもちやすい。また、本文中に小学校で学んだことについても「思い出そう」という内容で説明がある。
	備考		

令和7年度使用中学校用教科書 調査研究報告書

種目 (理科)

	発行者番号	1 1	1 7
	発行者名	学校図書	教育出版
1	<p><u>単元・題材等の構成及び内容の取扱い</u></p> <p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を効果的に構成して、単元・題材等が設定されているか</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が図られるよう工夫がなされているか</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む観点から、対話的、協働的な学びの場が設定できるなど、学習（言語活動等）が充実し、深い学びにつなげることができているか</p> <p>④主体的に学びに向かう力を育むために、興味・関心を喚起するよう工夫がなされているか</p>	<p>①・各学年とも1分野と2分野がバランスよく配置されている。</p> <p>・巻頭に「どうする、探究の進め方」が配置され、学習活動の流れを示している。</p> <p>・各単元の最初に、「振り返ろう・つなげよう」が提示されており、学習の系統性を重視している。</p> <p>・1年「探究の課題をつくる」、2年「課題から仮説、実験計画」、3年「探究の結果や考察に基づいて振りかえり、全体が適切か考える」といった学年目標が設定されている。</p> <p>・観察や実験では、生徒や先生のキャラクターの吹き出しを利用し、方法や考察の手助けが示されている。</p> <p>・観察や実験では結果例が示され、実際に行った実験結果を検証する手助けとなっている。</p> <p>・ページ右上に「この時間の課題」、ページの右下に「まとめ」が掲載され、思考の流れに沿って整理されている。</p> <p>②・単元末ごとに「学習のまとめ」があり、ステップ1として重要用語の一覧、ステップ2として基本問題が記載されている。</p> <p>・巻末に「補充資料」として、基本操作のまとめや計算問題例、読解力強化問題、思考をさらに深める問題例がまとめられている。</p> <p>③・探究活動が「気づき」「課題」「仮説」「計画」「方法」「結果」「考察」という流れで一貫しており思考に方向性をもたせやすい。</p> <p>・「理路整然」というコラムで科学的な考え方や実験方法、グラフの書き方など丁寧に説明している。</p> <p>④・巻末の補充資料では、身近な話題、科学史、発展的な内容などを取り上げている。</p>	<p>①・各学年とも1分野と2分野がバランスよく配置されている。</p> <p>・巻頭にどのページからも確認しやすいように「探究の進め方」折り込みページとして掲載され、各観察や実験の大きな流れを確認することができる。</p> <p>・各単元の最初に、「学んでいくこと」、「これまでの学習」を提示し、見直しをもって学習できるよう工夫がある。</p> <p>・各章の導入時の自分の考えと学習後の自分の考えを整理することができる工夫が見られる。</p> <p>・実験や観察では、「疑問」「課題」「観察（実験）」「結論」と流れが順立てて示されている。</p> <p>・観察や実験では考察のポイントがまとめられており、思考の手助けとなっている。</p> <p>②・章末ごとに要点チェックがあり、定着を図ることができるような構成になっている。</p> <p>・単元末ごとに重要語句をまとめた「要点と重要用語の整理」があり、基礎的な用語を確認できる。</p> <p>・単元末ごとに「基本問題」と「活用問題」があり、単元を通して学んだことを定着、発展させることができる。</p> <p>・巻末に、学年末総合問題や基礎技能をまとめた資料の掲載がある。</p> <p>③・実験のページは「目的」「考察」までが見開きのページとなっており、思考の流れが見えやすい。</p> <p>・「私のレポート」を多く掲載しており、論理的な考察ができるように例示している。</p> <p>④・「ハローサイエンス」や「科学者列伝」などのコラムで科学の話題を紹介している。</p>
2	<p><u>文章表現・資料等</u></p> <p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等に配慮がなされているか</p> <p>②子どもの自主的、自発的な学習を促すために、指導者にとっても資料・手引き等が有効に使われるものとなっているか</p>	<p>①・本文がページ全体（横幅）に占める割合は1/2～2/3で、図・写真・補足などが右側に掲載されている。</p> <p>・本文中、太字で示された重要語句の漢字ほとんどに振り仮名がある。</p> <p>・各節ごとに「この時間の課題」が右上、「この時間のまとめ」が右下に小さく掲載されている。</p> <p>②・巻頭に「なぜ理科を学ぶの?」「探究の進め方」「レポートのかき方」等、巻末に「基本操作」「発展学習」「思考をさらに深める」等があり自主的、自発的な補充（応用）学習に発展できるよう工夫されている。</p> <p>・二次元コードを読み取ると、すべての教科書紙面、練習問題、実験動画等が表示され、学びを深めることができるようになっている。（資料数636）</p>	<p>①・本文がページ全体（横幅）を占める記載を基本に、図・写真・補足などをその間や右側に掲載している。</p> <p>・3学年を通じて文字が大きい。字間が広く読みやすい。重要語句を赤字（振り仮名つき）で表記している。</p> <p>・観察・実験を中心とした「課題」とそれに対応する「結論」の記載があり、背景や枠に色が付いている。</p> <p>②・巻頭に詳しく「探究の進め方」「レポートの書き方」等、巻末に「自由研究」「基本操作（グラフ）」等があり自主的、自発的な学習に活用できるようになっている。</p> <p>・右下の二次元コードを読み取ると、解説動画、実験動画を主に、補充問題やWebリンク等が表示され学びを深めることができる。（資料数350）</p>
3	<p><u>挿絵・図表及び紙質・造本</u></p> <p>①内容に応じて、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されているか</p> <p>②図版の大きさ、位置等に配慮がなされているか</p>	<p>①・観察、実験の注意事項を文章で示している。</p> <p>②・単元の各章ごとに見開き2ページの写真を掲載している。</p> <p>・A B判である。</p>	<p>①・観察、実験の注意事項を文章と安全マークで示している。</p> <p>②・単元の導入で見開き2ページ、章ごとに1ページの写真を掲載している。</p> <p>・A B変形判である。</p>
4	<p>教科独自の特色や長所</p> <p>①学習内容が子どもにとって分かりやすく、学んでみたいと思う工夫がなされているか</p>	<p>①・各単元に、「この時間の見方」と「考え方」が示されており、理科の見方や考え方を意識して学習に取り組めるように工夫されている。</p> <p>・「補充資料」として実験操作方法の詳細や発展的な内容をまとめられている。高校入試や全国学力学習状況調査の問題を入れて、思考を深められるように工夫されている。</p> <p>・「Can・DoList」として、単元を通して身に付けたい目標が示されており、見直しをもって学習に取り組めるよう工夫されている。</p>	<p>①・「ハローサイエンス」で、生活に身近な内容を入れ、さらに深く学べるように工夫されている。</p> <p>・「学習前の私」と「学習後の私」で、学んだことを整理する工夫がされている。</p> <p>・各単元末に「要点をチェック」と「学習後の私」があり、学習による変容を認識させることで、学習を深められるように工夫されている。</p>
5	<p>大分市の子どもの実態</p> <p>①大分市の子どものために親しみがあり、興味をもてる題材が扱われているか</p>	<p>①・題材ごとに理科の「見方・考え方」を表記しており、学習を通して「何ができるようになったか」を意識できるまとめ方をしている。</p> <p>・実験、観察での探究の過程を細分化して示されており、科学的探究の手法を身に付けやすく工夫されている。</p> <p>・全国学力学習状況調査や高校入試の問題を取り上げ、思考を深められるよう工夫されている。</p> <p>・教科書全ページをウェブページ化し、総ルビ、文節改行されている。多言語対応がなされている。</p> <p>・各単元のはじめに、「振り返ろう・つなげよう」があり、これまでに学んだこと(小学校・中学校)が示されている。</p>	<p>①・小単元(章)の最後に「ハローサイエンス」という内容があり、高校で学習する発展的内容やSDG sの内容がある。</p> <p>・デジタルコンテンツ「まなびリンク」で、動画のみではなく、デジタル図鑑や要点チェックの内容が準備されており、生徒が主体的に学べるように工夫されている。</p> <p>②・各単元扉の「学んでいくこと」、各章扉の「これまでの学習」、各単元の中に適宜「思い出そう」を配置し、学習の系統性を意識できるように工夫されている。</p>
	備考		

令和7年度使用中学校用教科書 調査研究報告書

種目（理科）

	発行者番号	61
	発行者名	啓林館
1	<p><u>単元・題材等の構成及び内容の取扱い</u></p> <p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を効果的に構成して、単元・題材等が設定されているか</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が図られるよう工夫がなされているか</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む観点から、対話的、協働的な学びの場が設定できるなど、学習（言語活動等）が充実し、深い学びにつなげることができるか</p> <p>④主体的に学びに向かう力を育むために、興味・関心を喚起するよう工夫がなされているか</p>	<p>①・各学年とも、2分野、1分野の順に配列されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に「探究の流れ」、「ICTの活用」が掲載され、自主的な活動ができるよう工夫が見られる。 ・各章の導入時にICTを活用して、自分の考えと学習後の自分の考えを整理したり、学んだ知識を活用して考え方を記述させたりするなどの工夫が見られる。 ・各単元の最初に、「つながる学び」が提示されており、学習の系統性を重視している。 ・学習課題がわかりやすく明示されている。 ・観察や実験では、思考の手助けとして、結果や考察を行うポイントが記載されている。 <p>②・章末ごとに「振り返ろう」があり、用語の確認や大切な考え方を定着させることができる構成になっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元末ごとに重要語句をまとめた「学習のまとめ」があり、基礎的な用語を確認できる。 ・単元末ごとに「力だめし」があり、単元を通して学んだことを定着、発展させることができる。 ・巻末に、「学年末総合問題」の掲載があり、学年の振り返りができるよう工夫されている。 <p>③・Actionでは学習した内容から身近な事象を考えるように発問が工夫されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元末の「力だめし」の中にある、「思考力UP問題」は活用問題である。 ・観察、実験後の「探究の振り返り」で新たな疑問につなげる工夫がある。 ・各単元に1つ「探Q実験」を設定している。「探Qシート」も巻末に折り込んであり探究的・協働的な学びが設定できる。 ・教科書の中に「かきこみ」というコーナーがあり、自分の考えを記入することができ、表現力の育成につながる。作図などの自分の考えを書き込んで作業することができ、理解を深めることができる。 <p>④・写真が大きく興味をひきやすい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科学コラムの「なるほど」や「お料理ラボ」などで、身近な内容を知ることができる。 ・「探Qのたね」というコラムで、生徒が考えるきっかけになりやすい問いかけが示されている。
2	<p><u>文章表現・資料等</u></p> <p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等に配慮がなされているか</p> <p>②子どもの自主的、自発的な学習を促すために、指導者にとっても資料・手引き等が有効に使われるものとなっているか</p>	<p>①・本文がページ全体（横幅）に占める割合は3/5程度で中央配置、図・写真・補足などが外側に掲載されており、統一感があり見やすい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年生の文字が大きい。本文中、太字で示された重要語句の漢字すべてに振り仮名がある。 <p>②・巻頭に「探究とは」「ICTの活用」等、単元末毎に「サイエンス資料」「〇〇ラボ（科学コラム）」、巻末に「探Qシート」があり、自主的・自発的な学習に活用できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードを読み取ると、導入の動画、実験動画、補充問題や振り返りシート等のICTの活用が充実しており、学びを深めることができる。（資料数504）
3	<p><u>挿絵・図表及び紙質・造本</u></p> <p>①内容に応じて、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されているか</p> <p>②図版の大きさ、位置等に配慮がなされているか</p>	<p>①・観察、実験の注意事項を文章と安全マークで示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすい挿絵、図表、写真がバランスよく配置され、視覚的に見やすい構成である。 <p>②・単元の導入で見開き2ページ、章ごとに1ページの写真を掲載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A B判で、比較的軽量の紙質の造本となっている。
4	<p>教科独自の特色や長所</p> <p>①学習内容が子どもにとって分かりやすく、学んでみたいと思う工夫がなされているか</p>	<p>①・課題解決的な学習を行うため「探Q実験」と「探Qシート」が対応した構成になっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「科学コラム」で身近な現象を扱い、学習したことを深められるように工夫されている。
5	<p>大分市の子どもの実態</p> <p>①大分市の子どものために親しみがあり、興味をもてる題材が扱われているか</p>	<p>①・各単元末の「みんなで探Qクラブ」では、理科の見方・考え方を働かせて探究していく内容を取り入れる工夫がされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「深めるラボ」などの科学コラムがあり理科の学習の有用性を実感できるよう工夫されている。 ・「振り返りシート」や「学ぶ前にトライ！」の内容をポータルフォリオとして使用し、自己評価に利用することで、学びを深められるように工夫されている。 ・「つながる学び」で、小学校の内容や既習事項を確認した上で、新しい学習に入れるように工夫されている。 ・各単元のはじめに「学ぶ前にトライ」という内容があり、学習後にリトライさせる工夫がある。
	備考	

令和7年度使用中学校用教科書 調査研究報告書

種目（音楽 一般）

発行者番号 発行者名	17 教育出版	27 教育芸術社
<p>単元・題材等の構成及び内容の取扱い</p> <p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を効果的に構成して、単元・題材等が設定されているか</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が図られるよう工夫がなされているか</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む観点から、対話的、協働的な学びの場が設定できるなど、学習（言語活動等）が充実し、深い学びにつなげることができているか</p> <p>④主体的に学びに向かう力を育むために、興味・関心を喚起するよう工夫がなされているか</p>	<p>①・領域、分野別の題材数は「歌唱教材」72、「器楽教材」9、「鑑賞教材」26、「創作教材」7で構成されている。 ・教科書の学習内容を示す「学習MAP」のページでは、領域分野ごとの学習目標や教材が表示されているとともに、3つの資質・能力に基づいた学習の進め方が提示されている。 ・各教材とも「学習目標」が示されている。 ・学習指導要領のねらいに沿って、学校で創意工夫できるような単元・題材が設定されている。</p> <p>②・音楽を形づくっている要素の説明のページは、楽曲やプレゼンの課題を提示して学習を進める流れになっている。 ・指導要領の共通事項に示されている用語や記号を、ページの端に分かりやすく示している。 ・発声について、姿勢・息のコントロール・母音、子音、鼻濁音の発音・変声期に心がけることなど、歌唱に必要なポイントを3つに分けて示している。 ・指揮について1年で基礎を、2・3年下で楽曲とともにイラスト入りで例が示されている。 ・3学年ともリコーダーの運指表とコードネーム表が各学年に掲載されている。 ・楽典は、巻末に折り込みで3ページ構成で3学年とも同じ資料が使用されており、見やすく活用しやすい。 ・鑑賞教材での音楽の時代表記に工夫がある。</p> <p>③・聴き取ったこと、思いや意図、楽曲の魅力、調べたこと等を記入する活動が示されている教材数は「歌唱教材」6、「鑑賞教材」14、「創作教材」6である。 ・創作の学習では、言葉を素材とした活動が多く、音素材を楽しみながら創作活動に取り組みやすい。またデジタルツールで音素材を確認できる教材もある。 ・音楽を形づくっている要素に基づき、「比べてみよう」というページが設定され、楽曲を比較して学びを深めることができる。 ・「Active！」（ワークシート）では、音楽を形づくっている要素に基づいて課題が設定されており、ポイントが絞られ主体的に取り組みやすい。 ・キャラクターによる吹き出しで、学習活動を深める活動を促すコメントが多い。</p> <p>④・学習のめあてを掲載している教材数は、「歌唱教材」61、「鑑賞教材」22、「創作教材」6である。 ・巻頭には、アーティストからのメッセージと作曲家からの思いや生き方に触れるページが掲載されている。 ・動画コンテンツが多くあり、主体的な学習を促す工夫がなされている。 ・生活や社会と音楽のかかわりでは、音楽の力やコンピュータについて触れられている。また著作権について2・3年上で扱われている。</p>	<p>①・領域、分野別の題材数は「歌唱教材」60、「器楽教材」0、「鑑賞教材」27、「創作教材」8で構成されている。 ・教科書の学習内容を示すページでは、学習指導要領に示された3つの資質・能力（知識・技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力・人間性等）と、それに対応する学習内容や教材が示され、身に付ける学力が一目でわかりやすい。 ・各教材とも「学習目標」「考えたいポイント（課題）」「楽曲の紹介文（創作は除く）」「活動文」「音楽を形づくっている要素」「用語記号（共通事項）」などが見開きのページに示されており、分かりやすい紙面構成となっている。 ・学習指導要領のねらいに沿って、学校で創意工夫できるような単元・題材が設定されている。</p> <p>②・音楽を形づくっている要素の説明のページは、各学年の教材を例にイラストや楽譜入りで分かりやすく説明されている。 ・音楽を形づくっている要素が、楽曲ごとに示され、音楽的な見方・考え方を働かせる視点が分かりやすい。 ・指導要領の共通事項に示されている用語や記号を、ページの端に分かりやすく示している。 ・発声について、姿勢と呼吸、響きのある歌声、声の出る仕組み、変声期に心がけること等、系統立てて全学年で扱われている。 ・指揮の基礎と学年に応じた楽曲がどの学年もセットで扱われている。 ・楽典については、3学年共通したものと、学年ごとに段階を踏まえたものがある。 ・多くのキャラクターによる吹き出しで、知識の習得が図られる工夫がなされている。</p> <p>③・聴き取ったこと、思いや意図、楽曲の魅力、調べたこと等を記入する活動が示されている教材数は「歌唱教材」6、「鑑賞教材」10、「創作教材」8である。 ・創作の学習では、課題や条件に沿って、創作の手順が丁寧に示されている。またワークシートがデジタルツールと結びついており、素材の音を確認したり、作った作品を再生することができ、学習活動が進めやすく、目標により迫ることができる。 ・「学びのコンパス」（ワークシート）では、生徒が自分の考えを整理し、その後グループ活動で考えを深めていくなど、主体的・対話的で深い学びを実現する工夫がなされている ・キャラクターによる吹き出しが多くあり、課題意識をもたせる問いかけで、学びを深めることができる ・3年間の最後には3年間の学びの振り返りやこれからの音楽との関わり方について記入する活動が示されている。 ・年間の最後には、1年間の学びを振り返り、身についた力でプレゼンする等、学習を深めるページが設定されている。</p> <p>④・学習のめあてを掲載している教材数は、「歌唱教材」28、「鑑賞教材」22、「創作教材」6である。 ・巻頭には、アーティストからのメッセージと様々な角度から音楽とは何かを伝えるページが掲載されている。 ・二次元コードからアクセスできるデジタルコンテンツがすべての教材にあり、主体的な学習を促す工夫がなされている。 ・曲の紹介文が各教材に掲載されており、学習の見通しを持ちやすく、主体的に取り組みやすい。（共通教材・鑑賞教材） ・生活や社会と音楽のかかわりでは、様々な分野で活躍する人物が、自分にとっての音楽とは何かを語り、幅広い価値観を示している。また著作権について、2学年にわたって扱われている。</p>
<p>文章表現・資料等</p> <p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等に配慮がなされているか</p> <p>②子どもの自主的、自発的な学習を促すために、指導者にとっても資料・手引き等が有効に使われるものとなっているか</p>	<p>①・本文中の文体・吹き出しの言葉は敬体を用い、めあて・説明文は常体で表記されているので、学習内容を理解しやすい。 ・文字の大きさや行間に配慮があり、歌詞や説明文がよみやすい。また、めあてのみが縦書きで歌唱、鑑賞、創作の分野ごとに色分けされているので、学習のめあてがつかみやすい。 ・作詞・作曲者の名前にルビが打たれているので、読み間違いを防ぐ配慮がされている。</p> <p>②・二次元コード等により、インターネットを利用し参考資料を閲覧できる教材は、一つの教材の中に2つの資料が入っているものもあるが、大きく分類すると「歌唱教材」9、「鑑賞教材」12、「創作教材」「指揮法」2である。全教材のコンテンツ数は96である。 ・範唱や範例、ワークシート等が閲覧できる。 ・資料として、音楽1では楽典、民謡や弦楽合奏に用いられる楽器、リコーダーの運指表、音楽2・3上では、オーケストラの楽器、音楽著作権。音楽2・3下では、ポピュラー音楽図鑑、肖像で見る音楽年表等が巻末に掲載されている。</p>	<p>①・めあてや課題がわかりやすく、多彩なフォントを用いている ・目次の次のページの学習内容では、項目ごとにフォントをかえている。また、指導要領の3観点とそれに照らし合わせた学習内容が記載されていることから、学習内容がわかりやすい。 ・教材ごとに学習内容の横に、わかりやすい形で課題が示されている。 ・作詞・作曲者の名前にルビが打たれているので、読み間違いを防ぐ配慮がなされている。</p> <p>②・二次元コード等により、インターネットを利用し参考資料を閲覧できる教材は一つの教材の中に2～3の資料が入っているものがあるが、大きく分類すると「歌唱教材」52、「鑑賞教材」21「創作教材」6「指揮法」2「楽典、他」16である。全教材のコンテンツ数は248である。 ・「歌唱」の多くはカラビオノ伴奏と範唱が閲覧できる。ワークシートや楽典、著作権、指揮法、著名人の話なども閲覧できる。 ・資料として、音楽1、音楽2・3上では、音楽の約束（楽典）、音を形作っている要素、音楽2・3下では、音楽の約束（楽典）、耳でたどる音楽史等が巻末に掲載されている。</p>
<p>挿絵・図表及び紙質・造本</p> <p>①内容に応じて、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されているか</p> <p>②図版の大きさ、位置等に配慮がなされているか</p>	<p>①・写真掲載ページは111、イラスト掲載ページは75、巻頭に芸術家のメッセージが掲載されている。また、巻末に音楽の種類や楽器についての写真等が見開き3ページで掲載されている。 ・「学習MAP」P.8、9では、歌唱、鑑賞、創作の観点ごとに学びの狙いと学習する曲や活動が示されている。また、音楽を形づくっている要素をもとに学習の進め方を示している。</p> <p>②・全ての生徒に使いやすいUDへの取組がなされている。 ・より多くの人が見やすいカラーCUD（カラーユニバーサルデザイン）に配慮している。 ・まなびリンクから端末の使い方、感染症対策、著作権についての学校生活で気を付けることが掲載されている。 ・環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用、用紙は耐用性が高い上質なものを使用しており、表紙には抗菌加工をしている。</p>	<p>①・写真掲載ページは108、イラスト掲載ページは126、巻頭に芸術家のメッセージが掲載されている。また、裏表紙には地元の祭りや芸能に携わる中学生の写真や説明も掲載されている。 ・目次の次に指導要領の3観点に沿った学習内容が具体的に示されている。また、音楽を形づくっている要素の内容を具体的に示している。</p> <p>②・印刷が鮮明である ・UDフォントを使用し、カラーユニバーサルデザインに配慮している。 ・表紙には、音や音楽と関わる中学生が描かれ、身近なものとして感じることができるよう工夫されている。 ・全ての生徒に使いやすいUDへの取組がなされている。 ・より多くの人が見やすいように、ユニバーサルデザインに配慮している。 ・製本は開きがよく、ページどうしを接着した丈夫で長持ちする様式を採用している。 ・環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用、表紙には抗菌加工をしている。 ・表紙に、楽器に触れ、音楽と関わる中学生が描かれており、生徒が主体的に音楽の学びに向き合い、合奏することの喜びを身近なものとして感じることができるよう工夫されている。</p>
<p>教科独自の特色や長所</p> <p>①学習内容が子どもにとって分かりやすく、学んでみたいと思う工夫がなされているか</p>	<p>①・ICTを活用した（まなびリンク【見る】【聴く】【記録する】）個別最適な学習への配慮がなされている ・歌唱教材は斉唱16曲、2部合唱12曲、3部合唱28曲、4部合唱8曲掲載されている。 ・共通教材は7曲のうち、6曲は写真が掲載されている。そのうち5曲には作者の言葉が添えられている。総ページ数27。 ・創作の学習を分かりやすくできるように、二次元コードからアクセスできる「まなびリンク」を利用している ・鑑賞領域の教材数は、歌曲2、器楽曲11、その他91（西洋音楽、日本の伝統音楽、諸外国の音楽、ポピュラー音楽等） ・鑑賞教材は明るく楽しい紙面構成（2・3年上P.44、45）で実際に見て聴いて学習が進められるように工夫されている。 ・音楽文化と豊かに関わりながら、学習を深める教材（1年P.58、59）を設定している。 ・「歌のアルバム」では、楽しく歌って学習が進められる多彩な合唱教材のページがある（総曲数28）。 ・他教科横断的教材を使うことにより、他教科との学習を並行してできるように配慮されている。（1年英語との関連「エーデルワイス」、2・3年下道徳との関連「旅立ちの日」）</p>	<p>①・豊富なデジタルコンテンツ（【動画】【音源】【制作ツール】【文章、ワークシート】）で授業や個別最適な学びを支えている。 ・歌唱教材は斉唱20曲、2部合唱曲12曲、3部合唱22曲、4部合唱2曲掲載されている。 ・共通教材は7曲のうち6曲は、写真が掲載されている。そのうち4曲には作者の言葉が添えられている。総ページ数は28。 ・創作の学習を無理なく効果的に進められるように、二次元コードからアクセスできるデジタルコンテンツが充実しており、個別最適な学びや協働的な学びの実現のサポートができるようになっている。 ・鑑賞領域の教材数は、歌曲2、器楽曲13、その他203（西洋音楽、日本の伝統音楽、諸外国の音楽、ポピュラー音楽等） ・鑑賞では複数の曲の中から個々の興味・関心に応じたものを選択して学び（1年P.37）個別最適化の実現に繋げている。 ・自国の文化に対する誇りをもつことができるよう、我が国の様々な伝統音楽や伝統芸能を取り上げたり、生徒が興味・関心をもって自分の住む地域の文化に親しむことができたり、（1年P.62・2・3年上P.69）各地に伝わる民謡をはじめ、地域の祭りや芸能が取り上げられたりしている。 ・「心通う合唱」では、楽しく歌って学習が進められる合唱教材のページがある。総曲数23。 ・1年間の学習を見通した振り返りをする場面を設けることで（1年P.8・P.91）、生徒が主体的に学びに向かい、学習を深めることができる。</p>
<p>大分市の子どもの実態</p> <p>①大分市の子どものために親しみがあり、興味をもてる題材が扱われているか</p>	<p>①・大分県に関わりの深い教材「荒城の月」（3ページ）、「花」（6ページ）「早春賦」（4ページ）「鶴崎踊」が取り上げられている。 ・小学校における輪唱、パートナーソング、同声2部合唱から、中学校の混声3部合唱へのスムーズなつながりを意識して配列している。 ・小学校における音のつながり方や重なり方の学習から、中学校の日本語の抑揚を生かした旋律づくり、構成についての学習につながるよう配列されている。 ・小学校で、祭りの音楽や民謡、世界の歌、箏と尺八の曲等について学習し、中学校でも同じジャンルの曲が配列されており、連続性、発展性が考慮されている。 ・デジタルコンテンツの掲載が子どもたちの意欲につながると思われる。</p>	<p>①・大分県に関わりの深い教材「荒城の月」（2ページ）、「花」（4ページ）、「早春賦」（3ページ）など、郷土の教材が丁寧に扱われているとともに、「鶴崎踊」「修正鬼会（しゅじょうおにえ）」（2・3上P.69）が見やすく取り上げられている。 ・小学校における輪唱、パートナーソング、同声2部合唱から、中学校の混声3部合唱へのスムーズなつながりを意識して配列している。 ・小学校におけることばのリズムから打楽器、ボイスアンサンブルの学習から、中学校のリズム創作へとつながるよう配列されている。 ・小学校で、祭りの音楽や民謡、世界の歌、箏と尺八の曲等について学習し、中学校でも同じジャンルの曲が配列されており、連続性、発展性が考慮されている。 ・デジタルコンテンツの充実が子どもたちの意欲につながると思われる。また、表現活動の深まりにつながるワークシートが充実している。</p>
備考		

令和7年度使用中学校用教科書 調査研究報告書

種目（音楽 器楽合奏）

発行者番号		17	27
発行者名		教育出版	教育芸術社
1	<p><u>単元・題材等の構成及び内容の取扱い</u></p> <p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を効果的に構成して、単元・題材等が設定されているか</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が図られるよう工夫がなされているか</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む観点から、対話的、協働的な学びの場が設定できるなど、学習（言語活動等）が充実し、深い学びにつなげることができるか</p> <p>④主体的に学びに向かう力を育むために、興味・関心を喚起するよう工夫がなされているか</p>	<p>①・総ページ数は107ページで、巻頭に和楽器をはじめ様々な楽器が写真で掲載されている。また、最近話題のストリートピアノを紹介し、生活における音楽と人々とのつながりを紹介している。P.103～106 はカラー綴込みでリコーダー運指表とギター&キーボードコード表が掲載されている。</p> <p>・構成は楽器の基礎的、基本的な知識と技能をまとめた「演奏の仕方を身につけよう」と合奏・創作教材による「合わせて演奏しよう」「名曲旋律集」の2部構成である。</p> <p>②・リコーダーでは見開きごとに「学びのねらい」が設定されており、基礎・基本の技能の習得から徐々にレベルアップした「まとめの曲」まで学びが深められるようにまとめている。教材数は32である。</p> <p>③・「吹く楽器」「弾く楽器」「打つ楽器」のまとまりで音楽文化の理解を意図した教材が提示されている。知識・技能の習得にとどまらず、楽器を比較して共通点や相違点を話し合う学習や、SDGs との関連を示した資料が提示されていることで、言語活動等を通して深い学びや発展的な学びにつなげることができる。</p> <p>④・基礎的な技能を身に付けられるように、指導の系統性を重視しており、学習のまとまりごとに「ねらい」や「ポイント」が示されている。また、説明に添えられた写真が大きく、手元、口元を拡大している写真が見やすく、興味・関心を喚起し主体的に学ぶ意欲をもたせる工夫がされている。</p>	<p>①・総ページ数は107ページで、巻頭にドラマーと音楽・文芸評論家からのメッセージ、世界各国の楽器と人に関わる写真が掲載され、音楽を広い視野で捉える意欲付けがされている。</p> <p>・P.104、105 は見開きで「楽器の図鑑」としてオーケストラで使用される楽器をはじめ、和楽器、電子楽器、世界の諸民族の楽器が写真で掲載されている。</p> <p>・目次に続くページに学習指導要領にある資質・能力とそれに対応する学習内容や教材が示されている。教材と学習内容の関連度の大きさを視覚で捉えるよう工夫されており、教材のねらいに応じて適宜学習内容を選ぶことができる。</p> <p>・音楽科における三つの資質・能力を確実に育成できるように、各教材「学習目標」「具体的な学習活動」「音楽を形づくっている要素」を設定し一目で分かるように示されている。また主体的・対話的で深い学びを実現するための「学びのコンパス」が4教材盛り込まれている。</p> <p>②・リコーダーは16ページにわたって基礎的な知識や名称、奏法ができる構成になっている。各ポイントを動画で見たり、伴奏に合わせて演奏できたりする学習に役立つコンテンツを二次元コードで簡単に読み取れるようになっている。（曲の速度を変えられるので、自分の技術に合わせて練習することができる。）</p> <p>③・箏は10ページにわたって基礎的な知識や名称、奏法ができる構成になっている。箏の練習曲で箏の基本的演奏技術のみならず「弾き歌い」や「唱歌」に取り組めるようになっており、主体的な学びや深い学びに向かう力を育む工夫が見られる。またいろいろな奏法をページにつけられた二次元コードを読み込むことで簡単に動画視聴ができ、個々の技術習得に役立つコンテンツとなっている。P.43「My Melody」は日本音階を使った創作のページとなっており、対話的・協働的な学びの設定が効果的になされている。</p> <p>④・単一的な和楽器の知識、技術の習得にとどまらず、日本の伝統音楽の楽器編成や和楽器と様々な音楽との組み合わせを紹介しており、我が国の伝統音楽への興味・関心を高めるとともにその良さを学べる工夫がされている。</p> <p>・技術の習得段階によって楽譜が系統的に掲載されている。クラシックからポップスまで幅広い選曲で、生徒の実態や興味・関心によって選曲できるよう工夫されている。</p>
2	<p><u>文章表現・資料等</u></p> <p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等に配慮がなされているか</p> <p>②子どもの自主的、自発的な学習を促すために、指導者にとっても資料・手引き等が有効に使われるものとなっているか</p>	<p>①・学習目標に、UDフォントを使用し、UDへの配慮ができています。</p> <p>・文字が大きめで、色も鮮やかで見やすい。</p> <p>・見出しは、楽器の種類ごとに色を変えて示されている。</p> <p>・プレス記号は「J」が用いられている。</p> <p>②・学びを支えるWEBリンク「まなびリンク」が設定されており、【見る】【聴く】【知る】といった項目で学ぶことができる。</p> <p>・練習のポイントや演奏のコツなどが、記載されている。</p> <p>・【深めてみよう】→学びを深めるための活動【音のスケッチ】→創作教材という構成である。</p> <p>・「名曲旋律集」では、様々な時代、ジャンルの旋律が掲載されている。</p>	<p>①・UDフォントを全体の9割以上に使用し、UDへの配慮ができています。</p> <p>・UDフォントをタイトルや文章だけでなく楽譜中の歌詞に使用し可読性、可視性を高めている。</p> <p>・見出しは楽器の種類ごとに色を変えられ示されている。</p> <p>・プレス記号は「V」が用いられている。</p> <p>②・二次元コードを使って動画や音声などの情報を視聴閲覧できるようになっており、【動画】【音源】【創作ツール】【文章、ワークシート】といった項目で学ぶことができる。</p> <p>・【音源】の中には伴奏やパートの音源があり、一人でも練習できるよう工夫されている。</p> <p>・練習のポイントや演奏のコツなどが随所に記載されており、分かりやすい。</p> <p>・【学びのコンパス】→学びを深めるための活動 【My Melody】→創作教材という構成である。</p> <p>・楽器にまつわるこぼれ話など生徒の興味関心にもたせる工夫が見られる。</p> <p>・箏の奏法に関して、縦書き楽譜と五線譜楽譜が併記され、見やすく学びやすい。</p>
3	<p><u>挿絵・図表及び紙質・造本</u></p> <p>①内容に応じて、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されているか</p> <p>②図版の大きさ、位置等に配慮がなされているか</p>	<p>①・巻末は、折り込みを利用した3ページからなるリコーダーの運指表、ギター&キーボードのコード表が掲載されている。</p> <p>・写真掲載が47ページ、イラスト掲載が35ページ掲載されている。</p> <p>・楽器の奏法に関するポイントがわかりやすく説明されており、写真等で大きく掲載されている。</p> <p>②・全ての生徒に使いやすいUDへの取組がなされている。</p> <p>・より多くの人が見やすいカラーCUD（カラーユニバーサルデザイン）に配慮している。</p> <p>・まなびリンクから端末の使い方、感染症対策、著作権についての学校生活で気を付けることが掲載されている。</p> <p>・環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用、用紙は耐用性が高い上質なものを使用しており、表紙には抗菌加工をしている。</p>	<p>①・巻末にリコーダーの運指表、ギターのコード表、楽器の図鑑、音楽の約束が掲載されている。</p> <p>・和楽器で音楽を奏でている盲学校の生徒や箏曲部の生徒など、同世代の中学生の写真を用いている。（P107）</p> <p>・写真掲載が49ページ、イラスト掲載が31ページで、巻頭には様々な演奏家の写真とメッセージが掲載されている。</p> <p>・目次の次に学習内容が具体的に示されている。さらに学びを深めるための曲や活動、学びの手がかりとなるヒントとして、リズム、速度、旋律、テクニカル、強弱、構成等の【音楽を形づくっている要素】が記載されている。</p> <p>・奏法については、奏者側から見た写真や、上から見た写真が使用されており、分かりやすい。</p> <p>②・全ての生徒に使いやすいUDへの取組がなされている。</p> <p>・全ての生徒の色覚特性に配慮したデザインになっている。（色覚問題研究グループばすてる助言）</p> <p>・製本は開きがよく、ページどうしを接着した丈夫で長持ちする様式を採用している。</p> <p>・環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用、表紙には抗菌加工をしている。</p> <p>・表紙に、楽器に触れ、音楽と関わる中学生が描かれており、生徒が主体的に音楽の学びに向き合い、合奏することの喜びを身近なものとして感じることができるよう工夫されている。</p>
4	<p><u>教科独自の特色や長所</u></p> <p>①学習内容が子どもにとって分かりやすく、学んでみたいと思う工夫がなされているか</p>	<p>①・巻頭は楽器の音色や響きを生かした音楽文化に関わる学習を取り上げている。（P.2和楽器、P.3リコーダーや打楽器）</p> <p>・楽器を通して人と音楽のつながりや人と社会とのつながりを生み出す取組について掲載されている。（P.4ストリートピアノ）</p> <p>・音楽を愛好する心情を育んでほしいため、各楽器の最初のページは演奏家から生徒へのメッセージを掲載している。</p> <p>・我が国や諸外国に伝わる様々な楽器に触れ、そのよさを感じ取りながら、言語活動に生かすことができるよう工夫されている。（P.30～31、P.55）</p> <p>・SDGs（持続可能な開発目標）との関連を示すページがあり、社会との繋がりを考えさせることができる。（P.56.57弾く楽器の仲間たち）</p> <p>【項目：（10）人や国の不平等をなくそう】</p>	<p>①・「学びのコンパス（アンサンブルセミナー）」のすべてに共通事項に関連する演奏の考えたいポイントが記載されている。</p> <p>・巻頭と各楽器の最初のページに楽器の魅力について演奏家から「生徒の皆さんへ」のメッセージを掲載している。</p> <p>・「中学生の器楽」の学習内容を図などで示し学習方法が分かりやすく記載されている。</p> <p>・リコーダーでは、アルトリコーダーの他に、ソプラノリコーダーでも演奏ができるよう工夫されている。</p> <p>・学習のきっかけとなる参考資料が多く掲載されている。</p> <p>・楽器だけでなく、他のジャンルとのコラボレーションや、バンドのスコアが掲載されており、多様な興味・関心を引き出し、好奇心に働きかけるような内容が組み込まれている。</p> <p>・同世代の中学生による和楽器の演奏写真が取り入れられており、和楽器を身近なものとして捉えられるよう工夫されている。（P.107）</p>
5	<p><u>大分市の子どもの実態</u></p> <p>①大分市の子どもにとって親しみがあり、興味をもてる題材が扱われているか</p>	<p>①・基本的な奏法や姿勢などが大きな写真で紹介されているので、視覚的にとらえることが有効である。また、ページにある二次元コードを読み込むことで、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。</p> <p>・デジタルコンテンツの掲載（37）が子どもたちの意欲につながると思われる。</p>	<p>①・ページにある二次元コードを読みこむことで、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。その情報(動画・音源・創作ツール、ワークシート)が豊富でわかりやすい。</p> <p>・器楽の魅力を感じる演奏スタイルの写真が多く掲載されており、生徒が興味・関心をもって学習を進めることが予想される。生涯にわたって音楽を愛好する心情を育てる学習に有効である。</p> <p>・デジタルコンテンツの充実（127）が子どもたちの意欲につながると思われる。</p>
	備考		

令和7年度使用中学校用教科書 調査研究報告書

種目 (美術)

	発行者番号	9	3 8	1 1 6
	発行者名	開隆堂出版	光村図書出版	日本文教出版
1	<p><u>単元・題材等の構成及び内容の取扱い</u></p> <p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を効果的に構成して、単元・題材等が設定されているか</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が図られるよう工夫がなされているか</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む観点から、対話的、協働的な学びの場が設定できるなど、学習（言語活動等）が充実し、深い学びにつなげることができているか</p> <p>④主体的に学びに向かう力を育むために、興味・関心を喚起するよう工夫がなされているか</p>	<p>①・「鑑賞領域」が9「表現領域」が24 計33</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての内容に「知識・技能」「発想・構想（思考判断表現）」「主体性」の目標が明示されている。 ・安全・原寸・SDGsなどの視点で11種類のマークが使われている（美術1 P.7）。 ・著作権や美術館の業務など感性や奥行き、SDGsや地域交流、美術史などが紹介されている（美術2・3 P.94～141）。 ・「図画工作から美術へ」のページではそれぞれの領域について発達の段階に即した内容で解説されている（美術1 P.2～5）。 ・「その人らしさが大切」（美術1 P.14～17）「生き生きとした姿をあらわす」（美術1 P.22～25）など、主題の設定につながりやすい題材名が多く使われている。 ・多くの題材において4ページずつの構成になっており、「鑑賞」と「発想・構想」「知識・技能」を視覚的に分けて学習できるように配慮されている。 ・「物語だから動かしたい」（漫画・アニメーション）では、物語を魅力的に伝えるための工夫という視点で鳥獣戯画から現代の漫画とアニメーションまでを扱いながら、制作に向けた構想の視点を提示している（美術2・3 P.38～41）。 <p>②・造形的な視点についての吹き出しや巻末資料等での記述の数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・造形の要素 28（美術1） 25（美術2・3） ・造形的な特徴 8（美術1）12（美術2・3） ・親しみやすいイラストと、口語体での吹き出しのセリフが意欲をもてる構成になっている。 <p>③・アイデアスケッチの図版の数11（美術1） 12（美術2・3）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな写真でわかりやすく配置されており（美術2・3 P.78）、学習の手立てとなるヒントがていねいに記載されている。 <p>④・生徒作品を大きく紹介することで、作品のタッチや作者の筆後などが感じられるように構成されている（美術1 P.41等）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「作者の言葉」「美術の用語」（美術1 P.22・23）等、発想や表現方法などの手掛かりとなる言葉が配置されている。 	<p>①・「鑑賞領域」が14「表現領域」が32 計46</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての内容に「知識・技能」「発想・構想（思考判断表現）」「主体性」の目標が明示されている。 ・安全・SDGsなど4種類のマークでポイントが使われている。 ・それぞれの内容において道徳科の学習とのつながり（美術1 P.21等）や、SDGsの目標との関連（美術1 P.32）が明示されている。 ・他教科の学習とのつながりをコラムで紹介している（美術1 P.31等）。 ・資料編の別冊子で表現に関する知識技能のポイントを掲載している（美術1 全35ページ）。 ・絵や彫刻、デザインや工芸の最初に、見開きで鑑賞や表現のポイント、発想のポイントを計6ページで紹介している。 ・日本の絵画を鑑賞するポイントを「四季」「動物」「不思議」「余白」「構図」など15ページを使い（美術2・3 P.27～42）、日本の絵画から西洋の絵画への変遷がつかみやすい構成となっている。 ・仏像の種類や形の特徴などをイラストで紹介している（美術2・3 P.96～97）。 ・「今の自分、これからの自分」（自画像）において、鑑賞ページで生徒作品に見出しにより作者の主題のポイントを明示し、次の表現ページでアイデアスケッチや技能の紹介を行い、段階的に構想を深めながら制作できるよう構成されている（美術2・3 P.54～59）。 <p>②・造形的な視点についての吹き出しや巻末資料等での記述の数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・造形の要素 67（美術1）37（美術2・3） ・造形的な特徴 31（美術1）30（美術2・3） ・場面に応じた吹き出しのセリフが考える視点のヒントを示している。 <p>③・アイデアスケッチの図版の数8（美術1） 21（美術2・3）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイデアスケッチとそれを基にした作品が並べて掲載されており、制作の過程や意図がわかりやすく示されている（美術1 P.26・27）。 <p>④・最初のページは見開きの鑑賞ページから始まり、その後表現の内容の説明が取り入れられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「みんなの工夫」で複数の生徒の作品過程が示されており、活動の見通しを立てる参考になる（美術 2・3 P.90・91）。 	<p>①・「鑑賞領域」が14「表現領域」が36 計50と最も多い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての内容に「知識・技能」「発想・構想（思考・判断・表現）」「主体性」の目標が明示されている。 ・安全・SDGS・短時間でつくるなど9種類のマークが使われている。 ・道徳科とのつながりが掲載されている（美術1 P.18）。 ・題材名の下「鑑賞の入り口」は授業での主発問となる。 ・思考判断の参考としてほぼ全ての題材において「鑑賞の入り口」「造形的な視点」など、生徒にとって考える道筋になる内容が明示されている（美術1 P.18.19等）。 ・ほとんどの生徒作品に「作者の言葉」が掲載されており、学習者の主題、発想・構想の参考になりやすいものとなっている（美術1 P.18.19等）。 ・「ようこそ美術の学びへ」のページでは、それぞれの領域について発達段階に即した内容で解説されている（美術1 P.6～7）。 ・「学びを支える資料」では表現技能を1年生と2・3年上に掲載しており、2・3年下では多様性や社会との関わりなどの概念が多く掲載されている（美術1 P.56～74等）。 <p>②・造形的な視点についての吹き出しや巻末資料等での記述の数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・造形の要素 39（美術1） 43（美術2・3） ・造形的な特徴 12（美術1）18（美術2・3） ・制作や鑑賞のポイントを吹き出しでわかりやすく示されている。 <p>③・アイデアスケッチの図版の数（美術1 11 美術2・3 15）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイデアスケッチとともに、どういう意図や思いで制作したのか作者の言葉が効果的に配置されている。 <p>④・数多くの作品写真が掲載されており、鑑賞の資料が豊富である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全題材の本文と合わせた題材導入動画がある。
2	<p><u>文章表現・資料等</u></p> <p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等に配慮がなされているか</p> <p>②子どもの自主的、自発的な学習を促すために、指導者にとっても資料・手引き等が有効に使われるものとなっているか</p>	<p>①・題材名が丸ゴシックでサイズも適切。</p> <p>②・「CONTENTS」という二次元コードで読み取り、動画へと導く工夫がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめに「教科書の使い方」（美術1 P.7）が示されており、各ページのマークが解説されている。 ・巻末に「学びの資料」がそれぞれ付属しており単体（別冊）ではない。 ・色相環の彩度の表現において色覚特性に配慮している（美術1 P.64）。 	<p>①・題材名が丸ゴシックでサイズも適切。</p> <p>②・「全国の生徒の作品を見てみよう」「作者のインタビュー動画を見てみよう」という二次元コードで読み取り、動画へと導く工夫がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「みんなの工夫」という生徒目線のインタビュー記事が興味を引く。 	<p>①・題材名は丸ゴシックでサイズも適切。</p> <p>②・「学びのはじめに」という二次元コードで読み取り、動画へと導く工夫がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目次に授業の導入で活用できる「美術との出会い」「社会に生きる美術の力」など歌手、タレントなどの言葉をまとめた興味を引くページがある。 ・はじめに「教科書の使い方」（P.7）が示されていて、各ページのマークが解説されている。 ・題材名の下に「鑑賞の入り口」という導入で与えることができる「鑑賞の視点」が各ページにある。 ・「造形的な視点」「表現のヒント」などがあり、各課題に対して生徒が意欲的に取り組むことができる工夫がある。 ・題材名の下本文と二次元コンテンツの配置が位置的に近く、扱いやすい。 ・色相環の彩度の表現において色覚特性に配慮している（美術1 P.72）。
3	<p><u>挿絵・図表及び紙質・造本</u></p> <p>①内容に応じて、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されているか</p> <p>②図版の大きさ、位置等に配慮がなされているか</p>	<p>①・表紙の表面に凹凸があり、興味を引く工夫がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美術史では、日本と西洋の彫像の比較をし、違いや共通点を見つけやすい（美術2・3 P.98～103）。 ・最近話題になっているマンガを巻頭で折り込みで取り上げ、興味・関心を喚起している（美術2・3 P.2～5）。 <p>②・図版の配置や大きさがページによって異なる。</p>	<p>①・学習者の興味を引くために吹き出しなどでセリフを入れているが、情報量が多い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料が別冊になっているが、かなり内容を絞り込んでいる。 ・紙質を和紙の質感にし、5つのキーワードでの構成がわかりやすく、次々とページをめくらせる楽しさがある（美術2・3 P.27～42）。 <p>②・各ページ、構成（構図）が異なる。</p>	<p>①・表紙が表裏の両面にわたって大きな図版になっており、鑑賞資料としても活用できる工夫がある。そのまま巻頭ページへつながることで、年度初めのオリエンテーションに活用できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各題材名の下（左ページ）に大きな図版がありインパクトがある。 ・白を基調とした背景に作品の写真が鮮やかで美しく高精細で興味を引く（浮世絵 P.24.25）。 ・1年の「屏風、美の仕掛け」では見開きで図版があり、実際に屏風の形に折ることができる。 <p>②・各ページが余計なデザインがなく、すっきりとまとめられており見やすい。</p>
4	<p>教科独自の特色や長所</p> <p>①学習内容が子どもにとって分かりやすく、学んでみたいと思う工夫がなされているか</p>	<p>①・表紙の表面に作品の手触りを意識した凹凸がつけてあり、実物へ興味が湧くように工夫がされている（美術1・2・3 表紙）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参考作品のレイアウトのメリハリが効いており、驚きと共に興味を高める。 ・それぞれの巻頭に、岡本太郎、新海誠、荒木飛呂彦など、話題になっている作品が掲載されており、興味・関心をもたせることができる（美術1 P.3）（美術2・3 P.2～5）。 ・海外の彫刻作品や、仏像など、角度を変えて撮影された資料が使われており、立体感を意識した鑑賞が可能である（美術2・3 P.56・57）。 ・二次元コードで音声ガイドや画像、動画などを鑑賞できるようになっている。 	<p>①・ひとつのりんごからの発想の具体例が見やすく、楽しめる（美術1 P.14・15）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実在する学校の中庭の写真に具体的な切り取り方の提示があり、わかりやすい（美術1 P.25）。 ・屏風の対比ができるだけでなく、迫力ある彫像の写真もあることで何度も見比べ、違いを探すなど関心をもつことができる（美術1 P.36～41）。 ・文様の種類が多岐にわたっており、興味を引く工夫がある（美術1 P.52～53）。 ・「比べる」というタイトルにふさわしいだけの多種多様なカップの写真が、興味・関心をもたせやすい（美術2・3 P.86・87） ・二次元コードで音声ガイドや画像、動画などを鑑賞できるようになっている。 	<p>①・1枚の作品の習作や拡大版を並行して見られることで、作品に興味を持ちやすい（美術1 P.2～4）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常にある物を身近な画材で描いているプロの作品が親近感をもたせる（美術1 P.13）。 ・生活の中で使うものが生徒作品で多く紹介されることで、より身近に感じられ制作への意欲につながりやすい（美術1 P.38～39）。 ・SNSで取り上げられるような印象的な写真を表紙に置き、中学生の興味・関心を引いている（美術2・3 表紙）。 ・二次元コードで音声ガイドや画像、動画などを鑑賞できるようになっている。
5	<p>大分市の子どもの実態</p> <p>①大分市の子どものために親しみがあり、興味をもてる題材が扱われているか</p>	<p>①・「炎と共に生きる(小鹿田焼)」(美術1 P.48)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大分市の子どもの身近にある小鹿田焼の写真が掲載されており、改めて郷土の作品のデザイン性や機能性のすばらしさに気付くことができる。 	<p>①・「美術館を楽しもう」に大分県立美術館のOPAM美術部が写真入りで紹介されている（美術1 P.66）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「OPAM美術部」（美術1 P.66） ・「地域の魅力を表すパッケージ（まんじゅう）」（美術2・3 P.89） ・「日本の伝統工芸（別府竹細工）」（美術2・3 P.101） 	<p>①・「人間っておもしろい」朝倉文夫「墓守」（美術1 P.18）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いつもの道で探してみよう」赤瀬川原平「風のレコード」（美術2・3 P.5） ・市内の野外彫刻とつなげて郷土の作家への関心をもつことができる
	備考			

令和7年度使用中学校用教科書 調査研究報告書

種目 (保健体育)

	発行者番号	2	4
	発行者名	東京書籍	大日本図書
1	<p><u>単元・題材等の構成及び内容の取扱い</u></p> <p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を効果的に構成して、単元・題材等が設定されているか</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が図られるよう工夫がなされているか</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む観点から、対話的、協働的な学びの場が設定できるなど、学習（言語活動等）が充実し、深い学びにつなげることができているか</p> <p>④主体的に学びに向かう力を育むために、興味・関心を喚起するよう工夫がなされているか</p>	<p>①・見開き1単位時間（年間配当時間は保健編16単位時間、体育編3単位時間）。使用頻度が高い保健編を先に配列し、章のとびらでは学習内容を明確に示している。</p> <p>・学習内容を学年ごとに配列し、各学年の学習内容が明確に分かるようにしている。</p> <p>②・学習指導要領に示された基礎的・基本的な事項は、本文でもれなく簡潔にまとめている。</p> <p>・各章末の「学習のまとめ」には、キーワードの解説、章末問題、ワークシートの二次元コードコンテンツを設け、知識の習得状況を確認、整理し、定着させることができるようにしている。</p> <p>・健康や安全に関わるスキルをまとめて示した「巻末スキルブック」を設けている。(P.177)</p> <p>③・細かいステップ「見つける」→「学習課題」→「課題解決」→「本文資料」→「活用する」→「広げる」で発問を設け、常に思考力・判断力・表現力を働かせながら学習を進めることができるようになっている。(P.6)</p> <p>④・学習効果・効率の向上や実感を伴った理解などを目的として、動画やシミュレーション、思考ツールやワークシートなど、紙面を補完する二次元コードコンテンツを約150点用意し、二次元コードは主に見開きページの右下に配置し、授業の中で必要に応じて効果的に使用できるようになっている。</p>	<p>①・1見開き1単位時間（年間配当時間は保健編16単位時間、体育編3単位時間）。本文と資料を左ページと右ページに分けて示している。</p> <p>・学習内容を学年ごとに配列し、各学年の学習内容が明確に分かるようにしている。</p> <p>②・学習指導要領に示された基礎的・基本的な事項は、本文でもれなく簡潔にまとめている。</p> <p>・見開きの左側ページには、ねらい、導入、知識がまとめられており、右側のページには、対話的な活動ができるように資料等が表示されている。</p> <p>・知識の定着を図るために、章のまとめには「重要な言葉」として分かりやすく語句がまとめられている。さらに知識の定着を確認するために、ウェブサイトでまとめの問題ができる工夫がある。(P.14)</p> <p>③・章ごとに主体的・対話的で深い学びを実現できる活動「学びを活かそう」が設定されている。また、各小単元の「やってみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」で思考力、判断力、表現力、などが育成されるようになっている。(口絵15・16)</p> <p>④・Web コンテンツを豊富に用意し、動画やアニメーションを視聴したり、テストやシミュレーションをすることで学習に興味・関心を持たせることができる。</p>
2	<p><u>文章表現・資料等</u></p> <p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等に配慮がなされているか</p> <p>②子どもの自主的、自発的な学習を促すために、指導者にとっても資料・手引き等が有効に使われるものとなっているか</p>	<p>①・文字は教育漢字以外の常用漢字には振り仮名がついている。</p> <p>・本文が明朝体、キーワードがゴシック体で太字と区別しやすい。見出しの文字もフォントが大きい。</p> <p>・行間は適度で見にくさもなく鮮明、色使いも淡い配色で目に優しい。(色覚特性への配慮)</p> <p>・文章表現は中学生に相応しく、分かりやすい。</p> <p>②・「見つける」「課題の解決」「活用する」「広げる」の学習の流れがあり、授業展開がしやすい。</p>	<p>①・文字は教育漢字以外の常用漢字には振り仮名がついている。</p> <p>・本文が明朝体、キーワードがゴシック体で太字と区別しやすい。見出しの文字もフォントが大きい。</p> <p>・左ページに文章、右ページに資料等のレイアウトでまとめられている。</p> <p>・内容ごとに「トビックス」があり、授業の導入などで扱い、生徒の興味・関心を惹きつけることができる。</p> <p>②・「つかもう」「やってみよう」「活用して深めよう」で生徒の思考が深められる。</p>
3	<p><u>挿絵・図表及び紙質・造本</u></p> <p>①内容に応じて、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されているか</p> <p>②図版の大きさ、位置等に配慮がなされているか</p>	<p>①・文章に即した資料で、表やグラフやイラストを用いて生徒の興味・関心を惹きつけるものになっている。</p> <p>②・生徒の負担に配慮し軽量の紙（再生紙・植物油インキ）が使われている。(384g)</p> <p>・AB判サイズでカラー印刷（194ページ）、グリーンプリンティング認定工場で印刷している。</p>	<p>①・右ページに資料等がまとめられていてインパクトがある。</p> <p>②・環境に配慮した紙と植物油インキを使用し、表紙は丈夫で汚れにくい加工になっている。(438g)</p> <p>・AB判サイズでカラー印刷（191ページ）、3者より幅が狭い。</p>
4	<p>教科独自の特色や長所</p> <p>①学習内容が子どもにとって分かりやすく、学んでみたいと思う工夫がなされているか</p>	<p>①・生涯にわたる生活・健康・環境といった具体的な内容や、自然災害・交通事故といった今日的課題を取り入れている。</p> <p>・Dマークコンテンツ（二次元コード）で動画（実写やアニメーションなど）視聴やシミュレーションができるようになり、授業中に効果的に活用できる工夫が見られる。</p> <p>・1時間の授業ごとにDマークコンテンツが活用できるようになっており、簡単にアクセスしやすい。</p>	<p>①・生涯にわたる生活・健康・環境といった具体的な内容や、自然災害・交通事故といった今日的課題を取り入れている。</p> <p>・左側に文章、右側に図表や資料がはっきり分かれているため取り組みやすい。</p> <p>・「トビックス」を使い、興味・関心が高まるよう工夫している。</p> <p>・資料を映像化した内容のもの、調べ学習に役立つサイトの紹介がある。</p>
5	<p>大分市の子どもの実態</p> <p>①大分市の子どものために親しみがあり、興味をもてる題材が扱われているか</p>	<p>①・身近で具体的な題材や日常生活と関連した内容を取り込み、生活に生かす工夫が見られる。</p> <p>・章の始めに小学校で学習すること、高校で学習することを掲載しており、系統性を把握しやすい。</p> <p>・各章末の「学習のまとめ」には、その章の重要語句を開設したキーワードの解説、章末問題ワークシートのコンテンツがあり、学習事項の理解と定着ができるように工夫されている。</p> <p>・「活用する」では、習得した知識・技能を活用して、より深く考えることができる。</p> <p>・各章末にSDGsの目標を達成するために自分ができることは何かを考える内容が取り入れられている。</p>	<p>①・身近で具体的な題材や日常生活と関連した内容を取り込み、生活に生かす工夫が見られる。</p> <p>・章の始めに小学校で学習すること、高校で学習することを掲載しており、系統性を把握しやすい。</p> <p>・地域や家庭など身近なことについて考える課題を示し、主体的・対話的で深い学びとなる工夫が見られる。</p> <p>・各章末に「章末資料」「学びを活かそう」「重要な言葉」が設けられており、学習した内容をより深く理解するための工夫が見られる。</p>
	備考		

令和7年度使用中学校用教科書 調査研究報告書

種目（ 保健体育 ）

	発行者番号	5 0	2 2 4
	発行者名	大修館書店	Gakken
1	<p><u>単元・題材等の構成及び内容の取扱い</u></p> <p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を効果的に構成して、単元・題材等が設定されているか</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が図られるよう工夫がなされているか</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む観点から、対話的、協働的な学びの場が設定できるなど、学習（言語活動等）が充実し、深い学びにつなげることができているか</p> <p>④主体的に学びに向かう力を育むために、興味・関心を喚起するよう工夫がなされているか</p>	<p>①・1見開き1単位時間（年間配当時数は保健編16単位時間、体育編3単位時間）。</p> <p>・他教科（理科、家庭、社会、道徳等）との関連を示し、教科横断的な学習をできるようにしている。（P.32）</p> <p>②・学習指導要領に示された基礎的・基本的な事項は、本文でもれなく簡潔にまとめている。</p> <p>・二次元コードからWeb上の「保体クイズにトライ」で学習した内容を振り返り、確認することができるようにしている。</p> <p>③・3ステップ「つかむ」「身につける・考える」「まとめる・振り返る」の学習の流れや系統性を示し、見通しをもって学習に臨めるよう工夫されている。また学んだことを生かして、学びを広げたり深めたりする課題が設けられている。（口絵9）</p> <p>④・ウェブサイトから参考になる情報を調べることのできる「Web保体情報館」を掲載し、ICTを活用して生徒が能動的に学習できるようになっている。</p>	<p>①・1見開き1単位時間（年間配当時数は保健編16単位時間、体育編3単位時間）。</p> <p>・章のとびら、並びに各項目に二次元コードを配置し、関連するデジタルコンテンツ（動画やワークシートなど）を活用できるようにしており、より広く、深く学習を進めることができる。</p> <p>②・学習指導要領に示された基礎的・基本的な事項は、本文でもれなく簡潔にまとめている。</p> <p>・学習内容や課題に応じて、自ら工夫しながら保健体育の学習を進めることができるように、「さまざまな学習方法」を紹介している。また、課題を設定し、解決していくことができるように「課題学習の整理の仕方の例」を示している。（P.9～11）</p> <p>③・各項目で学習課題を明示し「ウォームアップ（課題の発見）」→「エクササイズ（課題の解決）」→「学びを活かす（学びの活用）」の構成で保健体育の「見方・考え方」を働かせ、課題解決に向けて考えたり話し合ったりしながら思考・判断するとともに、他者に伝える力（表現力）を養うことができるよう工夫されている。（P.8）</p> <p>④・単元に関連する職業を紹介する「JOB」という項目があり、キャリア教育につながる学習ができる。（P.16）</p> <p>・教えあい学びあう学習活動には、「協働」のマークを示し、主体的・対話的かつ協働的に学習できるよう工夫されており、各項目の最後にある「とりくメーカー」での取り組み度合いの確認や章末での自己評価ができる。（P.17）</p>
2	<p><u>文章表現・資料等</u></p> <p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等に配慮がなされているか</p> <p>②子どもの自主的、自発的な学習を促すために、指導者にとっても資料・手引き等が有効に使われるものとなっているか</p>	<p>①・文字は教育漢字以外の常用漢字には振り仮名がついている。</p> <p>・本文が明朝体、キーワードがゴシック体で太字と区別しやすい。見出しの文字もフォントが大きい。</p> <p>・左ページが①、右ページが②と内容がページをまたがらずにまとめられていて見やすい。</p> <p>・内容ごとに「コラム」や「ほり下げる」があり、生徒の興味・関心を惹きつけることができる。</p> <p>②・「課題をつかむ」「学習のまとめ」で自主的・自発的な学習を促すことができる。</p>	<p>①・文字は教育漢字以外の常用漢字には振り仮名がついている。</p> <p>・本文がUDデジタル教科書体、キーワードがゴシック体で太字と区別しやすい。見出しの文字もフォントが大きい。</p> <p>・十分な余白によって、行間や文字間に余裕がある。</p> <p>・内容ごとに「情報サブリ」があり、生徒への問題提起にも活用できる。</p> <p>②・「ウォームアップ」「エクササイズ」「学びを活かす」で順序立てた授業展開ができる。</p>
3	<p><u>挿絵・図表及び紙質・造本</u></p> <p>①内容に応じて、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されているか</p> <p>②図版の大きさ、位置等に配慮がなされているか</p>	<p>①・文章に即した資料で、表やグラフやイラストを用いて生徒の興味・関心を惹きつけるものになっている。</p> <p>②・カラーユニバーサルデザイン、環境に配慮した紙、植物油インキを使用している。（423g）</p> <p>・AB判サイズでカラー印刷（201ページ）</p>	<p>①・文章に即した資料で、表やグラフやイラストを用いて生徒の興味・関心を惹きつけるものになっている。</p> <p>②・カラーユニバーサルデザイン、環境に配慮した紙、植物油インキ、印刷方法を使用している。（414g）</p> <p>・AB判サイズでカラー印刷（203ページ）</p>
4	<p>教科独自の特色や長所</p> <p>①学習内容が子どもにとって分かりやすく、学んでみたいと思う工夫がなされているか</p>	<p>①・生涯にわたる生活・健康・環境といった具体的な内容や、自然災害・交通事故といった今日的課題を取り入れている。</p> <p>・吹き出しを上手に使い、生徒の実生活をイメージさせることで意欲向上につなげている。</p> <p>・生徒に分かりやすい単元構成になっている。</p> <p>・デジタル教材について「動画コンテンツ」、「保体クイズにトライ」、話し合ったり考えたりした内容を書き込むことができる「Webワークシート」、調べ学習に役立つ「Web保体情報館」がある。</p>	<p>①・生涯にわたる生活・健康・環境といった具体的な内容や、自然災害・交通事故といった今日的課題を取り入れている。</p> <p>・適切な場所に資料が配置されており、日常生活における実践力が身に付くよう工夫されている。</p> <p>・課題をつかむために「ウォームアップ」では身近な話題を用いるなど、導入が工夫されている。</p> <p>・見開き右下にある「章デジ」から、動画や資料、教材、外部リンク、ワークシートにつながるようになっており、授業中に活用しやすいよう工夫されている。</p>
5	<p>大分市の子どもの実態</p> <p>①大分市の子どもにとって親しみがあり、興味をもてる題材が扱われているか</p>	<p>①・身近で具体的な題材や日常生活と関連した内容を取り込み、生活に生かす工夫が見られる。</p> <p>・章の始めに小学校で学習すること、高校で学習することを掲載しており、系統性を立てやすい。</p> <p>・導入部分になる「課題をつかむ」では、生徒の興味・関心を喚起する工夫がされ、各章末に「特集資料」「章のまとめ」が設けられている。</p> <p>・デジタル教材の「保体クイズにトライ」では1問1答クイズとなっており、学習の振り返りがしやすい。</p>	<p>①・身近で具体的な題材や日常生活と関連した内容を取り込み、生活に生かす工夫が見られる。</p> <p>・章の始めに小学校で学習すること、高校で学習することを掲載しており、系統性を考えることができる。</p> <p>・基礎的・基本的な内容を厳選し、重要な内容と発展的な内容が系統的に適切に構成されている。</p> <p>・「ウォームアップ」「エクササイズ」「学びを活かす」で構成されたおり、1時間の流れが分かりやすい。</p> <p>・各章末に「探求しようよ」や「章のまとめ」が設けられており、学習内容をより深める工夫が見られる。「章のまとめ」は、「振り返ろう」「確かめよう」「生かそう」の3項目に分かれており、学習したことを確認したり、活用したり、人に伝えたりすることができる。</p>
	備考		

令和7年度使用中学校用教科書 調査研究報告書

種目 (技術・家庭 (技術分野))

	発行者番号	2	6	9
	発行者名	東京書籍	教育図書	開隆堂出版
1	<p><u>単元・題材等の構成及び内容の取扱い</u></p> <p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を効果的に構成して、単元・題材等が設定されているか</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が図られるよう工夫がなされているか</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む観点から、対話的、協働的な学びの場が設定できるなど、学習（言語活動等）が充実し、深い学びにつなげることができているか</p> <p>④主体的に学びに向かう力を育むために、興味・関心を喚起するよう工夫がなされているか</p>	<p>①・1 2 3 4の4編成で、各編、第1章を「生活や社会を支える技術」とし、第2章を「問題解決」とし、第3章を「社会の発展」とし、3章で構成されている。</p> <p>②・「目標」「学習課題」「まとめよう」で構成し、学習の流れを分かりやすくしている。</p> <p>・基礎的・基本的な知識が順序立てて習得できるように、「技術のとびら」(P.32)などにまとめられて工夫がされている。</p> <p>③・「話し合ってみよう」(P.105)、「やってみよう」(P.35)、「考えてみよう」(P.28)と具体的に、思考させたり、話し合いをさせたりする場面の設定ができている。</p> <p>④・「調べてみよう」(P.29)という学習意欲を喚起するような場面設定ができている。</p> <p>・各編で、問題解決の手順を示した「問題解決例」(P.72)を掲載し、主体的に学ぶ意欲を喚起している。</p>	<p>①・ABCDの4編成で、各編、第1章を「技術をみつめよう」とし、第2章を「技術をいかそう」とし、第3章を「未来をつくろう」とし、3章で構成されている。</p> <p>・「めあて（見つける）」「学ぶ」「振り返る」で構成し、学習の流れを分かりやすくしている。</p> <p>②・基礎的・基本的な知識が順序立てて習得できるように、「資料」(P.16)として学習内容に掲載されている。</p> <p>③・「学ぶ」の場面では、「やってみよう」(P.28)という項目があり、具体的に思考させる場面設定ができている。</p> <p>④・「考えてみよう」(P.41)「もっと知ろう」(P.79)という学習意欲を喚起するような場面設定ができている。</p> <p>・各編で、問題解決の手順を示した「問題を解決する流れを考えよう」(P.36)を掲載し、主体的に学ぶ意欲を喚起している。</p>	<p>①・ABCDの4編成で、各編、第1章を「生活や社会と技術」とし、第2章を「問題解決」とし、第3章を「これからの技術の発展」とし、3章で構成されている。</p> <p>・「学習目標」「学習課題」「内容」「CHECK」で構成し、学習の流れを分かりやすくしている。</p> <p>②・基礎的・基本的な知識が順序立てて習得できるように、「図」(P.28)などにまとめられて工夫がされている。</p> <p>③・学習内容に「～を調べてみよう」(P.28)という表現があり、具体的に思考させる場面設定ができている。</p> <p>④・各編で、問題解決の手順を示した、「問題解決の手順」(P.50)を掲載し、主体的に学ぶ意欲を喚起している。</p>
2	<p><u>文章表現・資料等</u></p> <p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等に配慮がなされているか</p> <p>②子どもの自主的、自発的な学習を促すために、指導者にとっても資料・手引き等が有効に使われるものとなっているか</p>	<p>①・基本文は、明朝体で、適度な大きさで表示している。また、資料内の文字やタイトルの文字は丸ゴシック体で示している。</p> <p>②・読みの難しい漢字にルビを振っている。</p> <p>・二次元コードの内容は、道具の使い方の動画、ワークシート、シミュレーションなど。</p> <p>・「資料」を提示し、技術について、より深い理解を促すためにバランスよく配置されている。</p>	<p>①・基本文は、明朝体を使用している。重要語句はゴシック体を使用し、青色で表記している。</p> <p>・読みの難しい漢字についてはルビを振っている。</p> <p>・別冊の補助テキストとして、「スキルアシスト」を使用し、工具や作業手順の手助けとしている。</p> <p>②・二次元コードの内容は、工具の使い方、ワークシート、技術者のインタビュー動画など。(二次元コードの内容を表記している。)</p> <p>・資料的扱いで、「技ビト」・「スゴ技」を提示し、社会の中での技術の活用法や携わっている人物を紹介している。</p>	<p>①・基本文は明朝体、重要語句は、ゴシック体で表記している。</p> <p>②・二次元コードの内容は、工具の使い方、ワークシート、チェックシート、授業展開など。</p> <p>・資料的に、「参考」を提示し、知識や技能の手助けをしている。</p>
3	<p><u>挿絵・図表及び紙質・造本</u></p> <p>①内容に応じて、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されているか</p> <p>②図版の大きさ、位置等に配慮がなされているか</p>	<p>①・生徒の作業の流れに応じた挿絵が配置されている。(P.40)</p> <p>・本文の位置を左揃えにすることで、生徒の視線が上から下へと自然に流れるようにしている。</p> <p>②・ユニバーサルデザインに配慮し、色情報以外の模様や記号でも識別できるようにしている。(P.2、3)</p>	<p>①・生徒の作業の流れに応じた挿絵が配置されている。(スキル P.2)</p> <p>②・色のみでしか判断できない表現は避け、文字や模様、記号で識別できるように配慮されている。(P.3)</p>	<p>①・生徒の作業場面に応じた挿絵が配置されている。(P.77)</p> <p>②・各種マークや囲みが配置されていて、色によって受ける情報に差がないように配慮している。(P.2、3)</p>
4	<p>教科独自の特色や長所</p> <p>①学習内容が子どもにとって分かりやすく、学んでみたいと思う工夫がなされているか</p>	<p>①・「環境」「消費者」「伝統文化」「防災」「情報モラル」「SDGs」といったマークを設け、現代的な諸問題を意識しながら学習が進められるようになっている。(P.74)</p> <p>・各編末の「すごいぞ！技術 (P.21)」では、それぞれの技術の内容において最前線で活躍する「技術の匠 (P.86)」を紹介し、技術の学習をさらに深めたり、調べたりすることができるようになっている。</p>	<p>①・「共生」「防災」「環境」「消費者」「知的財産」「情報モラル」や「SDGs」などにマークを設けて今日的な課題に取り組めるようになっている。</p> <p>・別冊「スキルアシスト」には基礎技能を本紙よりもさらに詳しい手順や安全について示し、参照できるようになっている。</p> <p>・「技ビト (P.22)」「スゴ技 (P.29)」と題して、社会で活躍する技術者や、さまざまな製品に込められた技術などを紹介し、工夫・創造することの大切さや、製品をつくり出す責任や倫理観なども学べるようになっている。</p>	<p>①・持続可能な社会を実現するために SDGs と関連させながら、技術と社会、環境とのかかわりが学習できるようになっている。(P.4、49)</p> <p>・技術に関係する仕事を行っている人物を紹介し、仕事の意義や楽しさについて触れており、生徒が技術に関係する仕事に興味を持てるようになっている。(P.104)</p>
5	<p>大分市の子どもの実態</p> <p>①大分市の子どものために親しみがあり、興味をもてる題材が扱われているか</p>	<p>①・生物育成分野において、大分県農林水産研究指導センター取り組みが技術の匠として掲載されている。(P.101)</p>	<p>①・「博物館へ行ってみよう」のページに、大分県立歴史博物館の名前が掲載されている。(後④)</p>	<p>①・生物育成分野において、大分県佐伯市のヒラメの陸上養殖の様子が掲載されている。(P.122)</p> <p>・エネルギー変換分野において、地熱発電所の例として、大分県八丁原発電所が掲載されている。(P.164)</p>
	備考	・教科書の重量 670 g	・教科書の重量 625 g	・教科書の重量 632 g

令和7年度使用中学校用教科書 調査研究報告書

種目 (技術・家庭 (家庭分野))

	発行者番号 発行者名	2 東京書籍	6 教育図書	9 開隆堂出版
1	<u>単元・題材等の構成及び内容の取扱い</u> ①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を効果的に構成して、単元・題材等が設定されているか ②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が図られるよう工夫がなされているか ③思考力、判断力、表現力等を育む観点から、対話的、協働的な学びの場が設定できるなど、学習（言語活動等）が充実し、深い学びにつなげることができているか ④主体的に学びに向かう力を育むために、興味・関心を喚起するよう工夫がなされているか	①・教科書のはじめに「Warm up」で教科書の使い方や学習の進め方をわかりやすく示している。 ・各節は「目標」「レッツスタート」「学習課題」「本文、図版」「活動」「まとめの活動」の流れで統一されている。授業の流れが見えることで、生徒にわかりやすい構成になっている。 ・内容は6編で構成されており、「B衣食住の生活」→「C消費生活・環境」→「A家族・家庭生活」という展開になっている。 ②・各章末には、大切な用語と確認問題の「学習のまとめ」があり3観点に応じた構成になっている。身に付けたい基礎的・基本的な知識及び技能が「目標」「キーワード」として示されている。さらに、技能の確認ができるよう「いつも確かめよう」が示されている。 ③・「生活の課題と実践」を設け、問題解決学習を進められるように、学習の流れが明確に示されている。話し合いや観察、レポートなどのポイントや手立てが記載されている。実践例6。(P.271~P.281) ・キャラクター「ミカッタ」のせりふは見方・考え方を示唆する内容になっており、生徒が見方・考え方を働かせて思考し、深い学びが実現できるように工夫されている。 ・編の導入では、学習や家族・家庭の基本的な機能、見方・考え方を確認し、見通しをもって学習することができるようになっている。 ④・衣生活に関わる実習の中に、「幼児が使う小物やおもちゃ」の製作など、「家族・家庭生活」の内容でも使える実習例材がある。 ・「プロに聞く」等、読みやすく興味を引く資料がある。 ・「主体的・対話的で深い学び」につながる場面として「考えてみよう」「やってみよう」「調べてみよう」などの活動を多く取り上げ、主体的に調べたり、友達と協働して比較・検討したりするための発問を設けるなど、深い学びが実現できるように工夫されている。	①・各領域の導入で「自立度チェック」ができ、主体的な学びにつながる工夫がある。 ・内容はA・B・Cという表記で、ガイダンス→「A家族・家庭生活」→「B衣食住の生活」→「C消費生活・環境」という展開になっている。 ・各章末には「学習のふり返り」があり、評価の3観点に沿って記述できるように工夫されている。 ②・身に付けたい基礎的・基本的な知識及び技能が「めあて」「キーワード」として示されている。本文では「見つめる・学ぶ・ふり返る」として学習過程が示されている。 ③・教科書全体を通して、問題解決学習の流れに統一している。 ・導入の「見つめる」を受け、生徒は自分ごととして捉えることのできる「見つめてみよう」に取り組むことで、学習と生活を結び付ける工夫がされている。 ・「生活の課題と実践」を設け、生徒一人一人が身近な生活の中から問題を発見し、課題を設定して解決できるように、問題解決的な学習の例を多く示している。具体例8。(P.266~P.275) ④・「考えてみよう」「話し合ってみよう」など、個人の価値観を問うコーナーがあり、生徒の思考力・判断力を養うことができるようになっている。 ・「話し合ってみよう」「調べてみよう」など、実践的・体験的な活動を通して学ぶことができるワークが多数掲載され、主体的・対話的で深い学びが実現できるように工夫されている。 ・章末に「学びを生かそう」を配置し、身に付けた知識及び技能にフィードバックできる課題例や「課題設定のヒント」が示されている。 ・失敗例を写真で示し、課題解決的な思考を促す工夫がある。 ・各所でキャラクターのつぶやきによって、生徒の興味・関心を喚起している。 ・各章末に「センパイに聞こう」のコーナーがあり、学びを生かした進路や将来について考えるきっかけを作る工夫がある。 ・生活の営みに係る見方・考え方を働かせることができるように、身につけた知識・技能にフィードバックできる課題設定のヒントが示されている。	①・各領域の導入が、生徒の関心と実生活から出発しており、主体的な学びにつなげる構成の工夫がある。 ・内容は、A・B・Cという表記で、ガイダンス→「A家族・家庭生活」→「B衣食住の生活」→「C消費生活・環境」という展開になっている。 ・ガイダンスにおいて、主体的・対話的で深い学びについて、具体的な学習方法を記している。 ・「節タイトル」「学習の目標」「本文の記述」「生活の中の課題」「評価につながる学習のまとめ」の構成になっている。 ②・各章末にはまとめがあり、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」に沿って記述できるように工夫されている。 ・身に付けたい基礎的・基本的な知識及び技能が「学習の目標」として示されている。 ・調理の実際において、「調理方法 Q&A」が設定され、科学的根拠に基づいた知識・技能が図られるようになっている。(P.128~149) ③・「生活の課題と実践の進め方」で、レポート、ポスター、コンピューター等を使ったまとめ方のポイントや手立てが記載されている。具体例10 (P.292~P.303) ④・生活の中の具体的なできごとから、考える課題として「やってみよう」「考えてみよう」「調べてみよう」「話し合ってみよう」が設定されている。 ・節ごとに、たまごのキャラクターの問いかけにより、自分の生活をふり返ることができる。 ・Aの領域で「多様性」についての理解を深め、今後の社会の在り方について考えさせる内容を記している。(P.26~P.27、P.80~81) ・衣生活に関わる実習の中に、「ごっこ遊び道具」の製作等、「家族・家庭生活」の内容でも使える実習例材がある。(P.223) ・ガイダンスの生活課題への取り組み方において、有名な選手の実践例の紹介があり、また、各章に「先輩からのエール」を掲載する等、興味を引く資料がある。
2	<u>文章表現・資料等</u> ①文字、行間、鮮明度、文章表現等に配慮がなされているか ②子どもの自主的、自発的な学習を促すために、指導者にとっても資料・手引き等が有効に使われるものとなっているか	①・生徒が読みやすい文字の大きさや行間になっている。 ・振り仮名を多く用いている。また、重要語句は黒太ゴシックで強調している。 ・行数の表示が、5行ごとに左側に記載されている。 ②・関連する資料閲覧のための二次元コードの数は140。含まれるコンテンツの数は374。 ・コンテンツの種類は「動画」「資料」「シミュレーション」「思考ツール」「ワークシート」「図鑑」「クイズ」「WEBサイト」「他教科リンク」と様々な場面で活用できる工夫がされている。 ・関連する他教科の学習内容は、二次元コードの「他教科リンク」で確認できる。数は31。	①・生徒が読みやすい文字の大きさや行間になっている。 ・振り仮名を多く用いている。また、重要語句は青色の太ゴシックで強調している。 ・行数の表示は右側に5行ごとに記載されている。 ②・関連する資料閲覧のための二次元コードの数は66。含まれるコンテンツの数は136。 ・コンテンツの種類は「動画」「資料」「ワークシート」「栄養計算ソフト」など生徒の自主的な学習が促されるよう工夫がされている。 ・関連する他教科の学習内容は「関連マーク」で示されている。マークの数は14。 ・巻末に献立シールがあり、実物をイメージしながら献立作成ができるよう工夫がされている。	①・生徒が読みやすい文字の大きさや行間になっている。 ・振り仮名を多く用いている。また、重要語句は黒太ゴシックで強調している。 ・行数の表示が左右どちらかに5行ごとに記載されている。 ②・関連する資料閲覧のための二次元コードの数は87。含まれるコンテンツの数は250以上。 ・コンテンツの種類は「動画」「資料」「アニメーション」「学習カード」など生徒の自主的な学習が促されるよう工夫がされている。 ・関連する他教科の学習内容は「他教科マーク」で示されている。マークの数は46。
3	<u>挿絵・図表及び紙質・造本</u> ①内容に応じて、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されているか ②図版の大きさ、位置等に配慮がなされているか	①・4人の生徒と、ロボット2体が説明や思いを吹き出して伝えている。 ・各ページの下部に、「せいかつメモ」として、関連した内容の豆知識が記載されている。 ・SDG sとの関連した学習には、「D」マークが示されている。 ・調理実習例の中で、加熱調理の仕方を調理名の所に表示している。調理の手順の中に、火加減がはっきりと表示され、調理ポイントが掲載されている。 ・食アレルギーの原因となる食品(28品目)にマークがつけられている。 ②・食品表示や材料の調理上の説明がある。組み合わせる料理や手順例が記載されている。 ・生徒の負担に配慮し、軽量な用紙を使用している。 ・再生紙・植物油インキを使用。 ・ユニバーサルフォントが使用されている。 ・編の最初のページなどダイナミックな写真を用いることで、興味関心を高められるよう工夫されている。 ・1日にとりたい食品と分量の例が実物大でわかりやすく示されている。(P.44~P.47)	①・先生2名、中学生2名のキャラクターが、各場面で説明や問いかけを吹き出して伝えている。 ・導入に生徒のなじみのあるアニメやマンガの家族が掲載されている。(P.14、15) ・幼児等の写真が多数掲載されている。 ・調理ポイントが各調理工程に細かく記載されている。 ・アレルギー物質28品目には、下線が引かれている。 ②・再生紙・植物性インキを使用。 ・ユニバーサルデザインの考えにもとづいて編集されている。	①・全内容について、たまごをモチーフとしたナビゲートキャラクターが課題の問いかけや補足説明を吹き出して伝えている。 ・右上のページに、写真やマーク、他教科との関連が表示されている。また、4人の中学生のキャラクターが、各場面での疑問や思いを吹き出して伝えている。 ・調理における科学的なポイントが「調理方法のQ&A」という形で示されている。 ・アレルギー物質を含む食材には、黄色のマーカがつけられている。 ②・1日にとりたい食品の分量については、実物大の食品が写真で示されている。(P.108~113) ・0歳、6歳、15歳の実物大の手形、足形が示されている。(P.42~43) ・環境に配慮した用紙やインキを使用。 ・カラーユニバーサルデザインの配慮がされている。
4	教科独自の特色や長所 ①学習内容が子どもにとって分かりやすく、学んでみたいと思う工夫がなされているか	A「家族・家庭生活」 ①・実際の幼児の生活の様子、「プロに聞く!」、保健体育との関連などデジタルコンテンツが豊富に準備されている。 ・幼児と触れ合うときのポイントや事後の活動を中心に学習できる。(P.242~P.255) ・触れ合い体験の事例数は3つ。うち1つは写真での観察例で地域や学校の実態に応じて選択できるようになっている。 ②・高齢者の身体的な特徴を理解するための関わり方(介助)を中心に学習ができ、中学生なりの地域の関わり方が学習できる。(P.262、P.263) B「衣食住の生活」 ①・新しく学ぶ内容が大きく見開きでわかりやすい。身近な作品例とリフォーム作品があり詳しい。(P.142~P.160) ・布を用いた製作の数は14。和服についてのページ数は4。 ・衣服の手入れ(洗濯と補修)についてのページ数は12。(P.126~P.137) ②・調理実習例の数は44。和食の調理例が29例。蒸す調理が4例。それぞれの工程の火加減やポイントが示され、どの調理も詳しく記述がされている。 ・デジタルコンテンツ(栄養バランスチェック)では、個に応じた学習が進められるよう工夫されている。 ③・安全な住まいでは、家庭内事故と地震対策を中心に記述されている。 C「消費生活・環境」 ①・インターネット通販シミュレーションや契約クイズなど実感を持って学習できるように工夫されている。 ・支払い方法や、悪徳商法など様々な内容が詳しく記述されている。商品購入のシミュレーションができる記述がある。(P.194~P.209)	A「家族・家庭生活」 ①・幼児の実際の動画や学習を深めるワークシートや資料などデジタルコンテンツが内容に応じて準備されている。 ・幼児と触れ合うときのコツが学習できる。(P.58~P.63) ・ふれあい体験の具体例は6つ。直接触れ合う機会がない時の具体例が3つ。体験後の具体的な振り返り、まとめ方の例が示されている。 ②・地域の人との関わりから発展し、高齢者との関わり方について学習ができる。(P.26、27) B「衣食住の生活」 ①・布を用いた製作の数は7。和服についてのページ数2。 ・各個人が制作したい大きさに仕上がるような工夫がある。手縫いのページが見開きでまとまっている。(P.188、P.190) ・衣服の手入れ(洗濯と補修)についてのページ数7。(P.166~P.173) ②・調理実習例の数は44。和食の調理例が33例。蒸す調理が4例。失敗しないよう調理工程でのポイントが示されている。(P.114~P.139) ・制作の「アレンジ例」や「献立バランス計算ソフト」といったデジタルコンテンツを用いて、体験的、実践的に学べるよう工夫されている。 ③・災害に備える具体的な記述が多く、対策を中心とした学習ができる。(P.214~P.217) C「消費生活・環境」 ①・国連広報センターや国民生活センター、消費者庁HPへのリンクなど、社会や世界とつながりをもって学習できるよう工夫されている。 ・ある家庭の1か月の生活費の例があり、実際の消費生活での選択や困りについて考えさせる問いがある。	A「家族・家庭生活」 ①・ロールプレイングの実践動画や幼児の実際の動画、「先輩からのエール」などデジタルコンテンツが全体的に配置されている。 ・幼児との触れ合い体験中に困りそうなポイントを事前に考えさせる構成になっている。(P.60~P.69) ・触れ合い体験の事例数は5つ。うち1つは映像やロールプレイングによる体験実習となっている。 ・衣服の手入れ(洗濯と補修)についてのページ数10。(P.190~P.199) ②・高齢者の活躍の様子や、介助の仕方、中学生の関わり等、多岐にわたって学習できるようになっている。(P.78~P.80) B「衣食住の生活」 ①・布を用いた製作の数8。和服についてのページ数4。 ・制作の基礎がまとめてあり、復習と新しい学習内容とにまとめられている。 ②・調理実習例の数は50。和食の調理例が39例。蒸す調理が4例。4つのステップで調理の工程が示され、端的でわかりやすい。(P.128~P.157) ・「料理方法 Q&A」や「目に見えない栄養素」など科学的な視点から考えることができるよう工夫されている。 ③・安全な住まいでは、家庭内事故と地震対策など多岐にわたって学習できるようになっている。特に災害の備えの内容が充実している。(P.242~P.255) C「消費生活・環境」 ①・身近な消費者トラブルQ&Aや悪質商法のロールプレイングなど自分事として学習できるよう工夫されている。 ・消費者の権利と責任が具体例で示され、わかりやすい。(P.276~P.277)
5	大分市の子どもの実態 ①大分市の子どもの親しみがあり、興味をもてる題材が扱われているか	①・地域の食文化での関連は1例(だんご汁)。(P.102) ②・「第1章家庭科分野のガイダンス」の中に、小学校と中学校の学習内容との関連が記載されている。小学校で学んだ内容と関連する箇所には、「小学校」のマークがあり、学習内容の項目が記載されている。	①・地域の食文化での関連は2例(とり天、だんご汁)。(P.142、146) ②・小学校で学んだ内容と関連する箇所には、単元の学習項目の下に「関連小学校家庭科」として学習内容の項目が記載されている。	①・地域の食文化での関連は1例(だんご汁)。(P.160、165) ②・小学校で学んだ内容と関連する箇所には、領域の最初のページに「小学校での学び」として、各単元ページには「小学校」のマークがあり、学習内容の項目が記載されている。
	備考			

令和7年度使用中学校用教科書 調査研究報告書

種目（英語）

	発行者番号	2	9
	発行者名	東京書籍	開隆堂出版
1	<p><u>単元・題材等の構成及び内容の取扱い</u></p> <p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を効果的に構成して、単元・題材等が設定されているか</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が図られるよう工夫がなされているか</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む観点から、対話的、協働的な学びの場が設定できるなど、学習（言語活動等）が充実し、深い学びにつなげることができているか</p> <p>④主体的に学びに向かう力を育むために、興味・関心を喚起するよう工夫がなされているか</p>	<p>①・全体の指導計画が Stage 1～3 で構成され、それぞれの Unit の冒頭に Goal を示し、Preview→Part 1→Part 2→Read and Think →Unit Activity という順で系統的に活動を積み上げ、Stage Activity（学期末・年3回）では複数の技能・領域を統合的に活用した言語活動を行うように構成されている。</p> <p>・Real Life English では「聞く」「話す（やり取り）」「書く」に焦点をあて、実践的なコミュニケーション力をつけことを目指している。</p> <p>・SDG s に関連した題材を多く取り上げ、Stage Activity ではカナダの生徒から届くビデオレターに応える形で、多様な文化や価値観に触れたりしてダイバーシティについて深く考える機会がある。（2年 P.80、81）</p> <p>②・各学年・各学期の到達点を CAN-DO リストとして示すとともに、2・3年では単元を貫く「問い」を示し、到達点（目標）を確認しながら学習できる。</p> <p>・語彙数は小学校 630 語+中学校 1700 語で合計 2300 語あるが、800 語を「発信まで使えるようになりたい語」と設定し、繰り返し提示して定着を促すようにしている。</p> <p>・基本本文は原則短めの本文からで、本文の流れを分断せずに「目的・場面・状況」を意識しながら音読や文法事項を用いた自己表現に取り組むことができる。</p> <p>③・Real Life English で場面や働きに特化した技能を扱ったのち、Stage Activity で技能の統合を図り、総合的な発信の力に結び付く活動が手順を踏まえて構成されている。</p> <p>④・学習の見通しを立てられるように、1年間の活動のゴールが示されている。</p> <p>・CAN-DO リストで、各学年とも Unit ごと及び3つの Stage ごとに、達成度を振り返ることができる構成になっている。</p> <p>・各学年にある「学び方コーナー」では、語彙・音声・表現・文章の4種のテーマから学習に役立つコツを系統的に紹介している。</p> <p>・Learning ... in English では、様々な問題を英語を通して学べるよう工夫されている。</p>	<p>①・各 PROGRAM は「とびら」（目標の確認）→Scenes（場面で新しい表現を学習）→Tuning in（題材の予備知識の獲得）→「本文」（題材内容について考える）→Review&Retell（本文内容の振り返り）→Action（学んだ内容で自己表現）→英語早わかり（学んだ内容の整理）で構成されている。</p> <p>・学期末のまとめの活動として Our Project が配置されており、生徒、教師ともに3年間の到達目標が明確になっている。</p> <p>・題材は SDG s 17 の項目を取り上げており、「地球市民」としての感性を養う題材（日本文化・キャリア教育・科学・スポーツ・異文化理解・物語・環境）などを配置している。（2年 P.75）</p> <p>・各単元の前半において、新出表現に関する知識・技能を習得できる構成になっている。理解を深めるための活動は、大半の生徒が正答できる難易度に設定されている。</p> <p>②・文構造・文法事項は各単元始めの Scenes でマンガ形式で導入される。目的・場面・状況が明確なため、視覚的に新出表現を理解できる。</p> <p>・3年間で学ぶ新出語は 1644 語が設定されている。重要語は太字で表記している。</p> <p>③・各課の Think では情報を整理して自分の考えを持ち、Small Talk で身近な話題について短時間で話し、Share では自分の考えをもとに友だちと話し合うことで思考力・判断力を使って、論理的に表現するように促す構成になっている。</p> <p>・学んだ表現や技能を使った総合的なパフォーマンス活動が展開できる Our Project が設けられている。</p> <p>④・PROGRAM、Our Project ごとに Goal が示されているとともに、達成度のチェック欄や振り返りの欄があり、見通しをもった学習ができる構成である。</p> <p>・CAN-DO リストで、各学年とも PROGRAM ごとに、達成度を振り返ることができる構成になっている。</p>
2	<p><u>文章表現・資料等</u></p> <p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等に配慮がなされているか</p> <p>②子どもの自主的、自発的な学習を促すために、指導者にとっても資料・手引き等が有効に使われるものとなっているか</p>	<p>①・1年はユニバーサルフォントを使用している。2・3年は原則活字体を使用（手紙や原稿等はユニバーサルデザインフォントを使用）している。</p> <p>・1年は文字が大きく行間もとられているので、読みやすくする配慮がされている。</p> <p>・教科書内に答えやメモ、英文等を書き込むスペースが確保されている。</p> <p>②・各ページの二次元コードを読み取ることで、ウェブアプリや資料、動画コンテンツ、クイズを使用し、学習することができるようになっている。</p> <p>・直接書き込むことのできる表等のあるページが多い。別にワークシートなどを準備せずに Reading や Activity などができる。1年の教科書には Your Turn で最後に基本本文を書いてまとめることで、定着を図ることができるよう工夫されている。</p> <p>・1年の巻末 Word Room の内容・量が充実している。語順カードがついている。</p>	<p>①・1年は原則2種類の手書きに近いフォントを使用。（PROGRAM 3まではより手書きに近いフォント、PROGRAM 4からはブロック体に近いフォントを使用）している。2・3年は、原則活字体を使用（Scenes for Basic Dialogs の吹き出しはブロック体に近いフォントを使用）している。</p> <p>・1年は文字が大きく行間もとられているので、読みやすくする配慮がされている。</p> <p>・教科書内に答えやメモ、英文等を書き込むスペースが確保されている。</p> <p>②・各ページの二次元コードを読み取ることで、本文・語句の音声、動画コンテンツ（アニメーション・題材導入・文法解説・発表モデル）、単語学習アプリを使用し、学習することができるようになっている。</p> <p>・1年の巻末に切り取り式のアクションカードが付属されており、パターンプラクティスやペア学習などで活用できるようになっている。</p>
3	<p><u>挿絵・図表及び紙質・造本</u></p> <p>①内容に応じて、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されているか</p> <p>②図版の大きさ、位置等に配慮がなされているか</p>	<p>①・1つの本文に対して必ず一つ以上の写真やイラストが配置されている。</p> <p>・写真ははっきりとした色調で、イラストは淡い色調で表現されている。</p> <p>②・本文の文字の近くに挿絵を配置せず、読みやすいように配慮している。</p> <p>・カラーユニバーサルデザインに配慮している。</p> <p>・A4判、環境にやさしい用紙と植物油インキを使用している。</p> <p>・教科書を開いた状態で、手を添えなくても元に戻りづらい。</p>	<p>①・1つの本文に対して必ず一つ以上の写真やイラストが配置されている。</p> <p>・写真とイラストが鮮明である。</p> <p>・PROGRAMの最初の Scenes for Basic Dialogs が漫画形式になっており、内容理解を助けている。（2年 P.76）</p> <p>②・カラーユニバーサルデザインに配慮している。</p> <p>・A4判、環境に配慮した用紙とインキを使用している。</p> <p>・教科書を開いた状態で、手を添えなくても元に戻りづらい。</p>
4	<p>教科独自の特色や長所</p> <p>①学習内容が子どもにとって分かりやすく、学んでみたいと思う工夫がなされているか</p>	<p>①・学習者用デジタル教科書には、音声、動画、アニメーション、速度調整、拡大、書き込み、反転、ルビ、思考ツール、クイズ、リンク貼り付け機能や内容がある。</p> <p>【学習者用デジタル教科書】</p> <ul style="list-style-type: none"> 画面の拡大ができ、ポップアップ画面で本文の速度調整などが簡単にできる。 本文に関わる動画がない。・Google 翻訳が利用できる。 教科書二次元コードコンテンツが使用できる。文法解説動画もあり、単語や文法の練習問題に取り組むことができる。 	<p>①・学習者用デジタル教科書には、音声、動画、アニメーション、速度調整、拡大、書き込み、反転、ルビ、ふせん、リンク貼り付け、説明読み上げの機能や内容がある。</p> <p>【学習者用デジタル教科書】</p> <ul style="list-style-type: none"> 画面の拡大や音声の速度調整が簡単にできる。 フラッシュカードの順番、数などを自由にカスタマイズ、保存できる。 教科書 QR コンテンツが使用できる。文法解説動画アニメーションは二次元コードから見ることもできる。
5	<p>大分市の子どもの実態</p> <p>①大分市の子どもにとって親しみがあり、興味をもてる題材が扱われているか</p>	<p>①・2年の Unit 3 に職場体験の話題が取り上げられている。</p> <p>・Unit 0 を設け、小学校との接続を意識している。</p> <p>・Unit 1～Unit 4 まで小学校の既習事項の文法的な理解が容易に行えるよう、まとまりを意識した配列になっている。1年の初段階の文法事項として、一般動詞と be 動詞の並列提示、助動詞 can、疑問詞を設定している。</p> <p>・小学校の語彙を中学1年で繰り返し使用し、巻末資料でまとめられている。「小」のマークで小学校で学習したこととの関連が明確に示されている。</p>	<p>①・2年の PROGRAM 8 に修学旅行（広島）についての話題が取り上げられている。</p> <p>・2年の PROGRAM 5 に職場体験の話題が取り上げられている。</p> <p>・Get Ready を設け、小学校で学んだ内容を確認できるように配慮している。</p> <p>・1年生初期段階の文法事項として、be 動詞（am,are）→一般動詞→助動詞 can→be 動詞（is）→一般動詞（3単現）を設定している。</p> <p>・小学校既習語彙はページ脚注の「小学校で学んだ単語」という欄で取り上げられている。</p>
	備考		

令和7年度使用中学校用教科書 調査研究報告書

種目（英語）

	発行者番号	15	17
	発行者名	三省堂	教育出版
1	<p><u>単元・題材等の構成及び内容の取扱い</u></p> <p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を効果的に構成して、単元・題材等が設定されているか</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が図られるよう工夫がなされているか</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む観点から、対話的、協働的な学びの場が設定できるなど、学習（言語活動等）が充実し、深い学びにつなげることができているか</p> <p>④主体的に学びに向かう力を育むために、興味・関心を喚起するよう工夫がなされているか</p>	<p>①・各レッスンは Part と Goal Activity によって構成され、Part では Scene 1 で新しい文法事項を学び活用し、Scene 2・3 で英文の概要・要点をとらえ Activity では目標となる言語活動が設定されている。</p> <p>・Take Action では、聞く、話す、読む活動があり、Reading Lesson では多様なジャンルの英文を読み Project では複数の技能を統合して活用する活動に取り組むように構成されている。</p> <p>・各レッスンで、ねらいや振り返りが具体的に示され、生徒が各学年の目標を意識しながら、目標の設定、活動への取組、振り返りという学びのサイクルができるようになっている。</p> <p>・CAN-DO リストに示された5つの領域の目標に向かって、それぞれの学年で必要な指導を段階的に行える構成になっており、評価がしやすい。</p> <p>・題材は中学生の知的好奇心や発達の段階に合っており、身の回りの問題や社会的問題について考えさせるものを取り上げられている。</p> <p>②・語彙 小学校 600～700 語、中学校 1600～1800 語あり、重要語として小学校 374 語 中学校 622 語の合計 996 語を発信語彙と設定している。</p> <p>・音声から文字、練習活動からコミュニケーション活動へと授業がスムーズに流れるように活動が配列されている。</p> <p>③・Read+Write/Speak（概要や要点を読み取り、自分の意見を発信する）、Read+Write/Speak（構成を意識して自分の考えや気持ちを書く、相手に伝えるように発表する）等目的や場面、状況に応じた言語活動に取り組み、各技能を育成できる構成になっている。</p> <p>・Project では領域統合型の活動を年3回設定しており、話したことを参考に書いたり、書いたことを基に発表したりする活動と、事実や自分の考えを整理して話したり書いたりする活動を通して、表現したり伝え合ったりする力を養えるようになっている。</p> <p>・考えを広げたり深めたりできる多様な題材や言語活動がある。</p> <p>・「What Can I Do?」を用いて1年間の学習を通して、どんなことができるようになったかを自己評価し、学習を振り返るようになっている。</p>	<p>①・各レッスンは、「扉」（「内容理解」と「活動」のゴール）→Part（本文の内容・文法事項）→Task（本文の内容の確認・自分の意見の表現）→自己評価→Grammar→Project で構成されている。</p> <p>・単元以外に、4技能5領域の力が身に付くよう、Tips、Activities Plus（Questions and Answers）と Useful Expressions で活動に取り組むことができる。</p> <p>・Activities Plus では、既習の言語活動を用いて様々な応答例を示しており、ペア・ワークに継続的に取り組むことができるようになっている。</p> <p>・題材は日常生活から、社会的なテーマまで多様な題材が使われ、伝記、物語文、説明文などの読み物教材がある。</p> <p>・CAN-DO 自己チェックリストを最後に掲載し、その関連個所を示しており、自己評価へとつなげている。</p> <p>②・語彙は 小学校 600 語、中学校 1688 語あり、発信語を小学校 435 語、中学校 465 語 合計 900 語としている。</p> <p>・各 Part に、本文に関連した Key Sentences があり、定着を図るために、Tool Kit や Let's Listen が設けられている。</p> <p>③・Tips では、4技能習得のコツについて、Project につなげる活動として設定されている。</p> <p>・Project では、Lesson や活動で積み上げてきた基礎的・基本的な知識や技能等を総合的に活用し、思考ツールを使って、自分、友だち、社会についての考えを深めたり広げたりできる構成になっている。</p> <p>・Activities Plus は、帯活動などで継続的に活用でき、既習事項の定着に適している。</p> <p>④・前学年の復習ができる導入単元（Review Lesson）を配置している。</p> <p>・CAN-DO 自己チェックリストを用いて、3年間を見通した到達目標や単元ごとの振り返りが充実している。</p>
2	<p><u>文章表現・資料等</u></p> <p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等に配慮がなされているか</p> <p>②子どもの自主的、自発的な学習を促すために、指導者にとっても資料・手引き等が有効に使われるものとなっているか</p>	<p>①・1年生は手書きに近いフォントを使用。資料 Further Reading のみ活字体を使用している。2・3年生は原則活字体を使用（Small Talk と Language Focus のページは手書きに近いフォントを使用）している。</p> <p>・1年生を中心に文字が大きく、前半は行間が大きくとられ、読みやすくなる配慮がされている。</p> <p>・教科書内に問題の答えやメモ、英文等を書き込むスペースが確保されている。</p> <p>②・各ページの二次元コードを読み取ることで、新出単語や本文（アニメーションも含む）を聞くことができるようになっている。発音チェックもできるようになっている。</p> <p>・巻末にロールプレシートが付属されており、ペア学習で情報格差のあるスピーキング活動を行うことができるようになっている。</p>	<p>①・1年は原則2種類のフォントを使用（Lesson 3までは手書きに近いフォント、Lesson 4からはブロック体に近いフォント）している。資料 Further Reading のみ活字体を使用している。2・3年生は原則活字体を使用（日記等では手書きに近いフォント、本文以外ではブロック体に近いフォントを使用）している。ユニバーサルデザインフォントを使用している。</p> <p>・文字の大きさが適当で、1年を中心に行間が広くとられており、読みやすくなる配慮がされている。</p> <p>・教科書内に答えやメモ、英文を書くスペースが十分に確保されている。</p> <p>②・各ページの二次元コードを読み取ることで、音声、動画、ワークシートなどを活用することができる。</p>
3	<p><u>挿絵・図表及び紙質・造本</u></p> <p>①内容に応じて、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されているか</p> <p>②図版の大きさ、位置等に配慮がなされているか</p>	<p>①・1つの本文に対して必ず一つ以上の写真やイラストが配置されている。</p> <p>・写真ははっきりとした色調で、イラストは淡い色調で表現されている。</p> <p>②・本文の文字の近くに挿絵を配置せず、読みやすいように配慮している。</p> <p>・カラーユニバーサルデザインに配慮している。</p> <p>・A4判、環境にやさしい用紙と植物油インキを使用している。</p> <p>・教科書を開いた状態で、手を添えなくても元に戻りづらい。</p>	<p>①・1つの本文に対して必ず一つ以上の写真やイラストが配置されている。</p> <p>・写真やイラストを含め、全体的にはっきりとした色調で表現されている。</p> <p>②・カラーユニバーサルデザインに配慮している。</p> <p>・AB版・環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用している。</p> <p>・教科書を開いた状態で、手を添えなくても元に戻りづらい。</p>
4	<p>教科独自の特色や長所</p> <p>①学習内容が子どもにとって分かりやすく、学んでみたいと思う工夫がなされているか</p>	<p>①・学習者用デジタル教科書には、音声、動画、アニメーション、拡大、書き込み、反転、ルビ、ふせん、単語練習、学習履歴の機能や内容がある。</p> <p>【学習者用デジタル教科書】</p> <ul style="list-style-type: none"> 映像や音声にアクセスしやすい。画面の拡大や音声の速度調整も簡単にできる。 日本人が文法解説動画で説明し、1タップで見れる。画面から1タップでつながるコンテンツが多い。 教科書 QR コンテンツが使用できる。辞典機能があり、新出単語の練習なども取り組むことができる。 AIによる発音チェック機能がある。Google 翻訳が利用できる。 	<p>①・学習者用デジタル教科書には、音声、動画、アニメーション、速度調整、拡大、書き込み、カラオケ表示、反転、ルビ、録音・再生、フラッシュカード、音声認識の機能や内容がある。</p> <p>【学習者用デジタル教科書】</p> <ul style="list-style-type: none"> 画面の拡大や音声の速度調整ができる。 アニメーションで文法動画があり、Let's Use の表現活動は、やり取り見本動画がある。音声の録音、再生機能がある。 本文に関わる動画がない。 教科書 QR コンテンツが使用できる。
5	<p>大分市の子どもの実態</p> <p>①大分市の子どものために親しみがあり、興味をもてる題材が扱われているか</p>	<p>①・3年の Lesson 3 に修学旅行（広島）の話題が取り上げられている。</p> <p>・2年の Lesson 3 に職場体験の話題が取り上げられている。</p> <p>・1年の教科書で、Lesson 1～Lesson 4 を中学校での学びの接続として設定している。</p> <p>・「聞いてみよう」では、小学校で体験した場面や似た状況での対話や発表を聞いてこれまでの学びを振り返ることができる。</p> <p>・1年生初期段階の文法事項として一般動詞と be 動詞の並列提示、助動詞 can を取り上げている。一般動詞と be 動詞を並列提示することにより、比較しながら学ぶことができるようになっている。</p>	<p>①・修学旅行についての話題は取り上げられていない。</p> <p>・2年の Lesson 4 に職場体験の話題が取り上げられている。</p> <p>・1年の教科書で、初めに Springboard 1～6 で振り返りができるようになっている。Lesson 1～Lesson 3 Part 1 までの早期段階に小学校で学習した表現や文型、文法事項を再び扱うようになっている。</p> <p>・1年生初期段階の文法事項として一般動詞と be 動詞の並列提示、助動詞 can を取り上げている。一般動詞と be 動詞を並列提示することにより、比較しながら学ぶことができるようになっている。</p>
	備考		

令和7年度使用中学校用教科書 調査研究報告書

種目（英語）

	発行者番号	38	61
	発行者名	光村図書出版	啓林館
1	<p><u>単元・題材等の構成及び内容の取扱い</u></p> <p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を効果的に構成して、単元・題材等が設定されているか</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が図られるよう工夫がなされているか</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む観点から、対話的、協働的な学びの場が設定できるなど、学習（言語活動等）が充実し、深い学びにつなげることができるか</p> <p>④主体的に学びに向かう力を育むために、興味・関心を喚起するよう工夫がなされているか</p>	<p>①・各単元は「扉」（話の大筋をつかむ）→Part1～3（本文理解→音読→基本文の練習）→Goal（単元の目標に応じた言語活動・振り返り）で構成されている。</p> <p>・各学年3つの「You Can Do It!」があり、各単元で繰り返し学んだ知識・技能を生かして取り組むことができる。さらにまとめの言語活動が設定されており、思考力・判断力・表現力を養うことができる。</p> <p>・領域別の単元系統が示され、5領域の言語活動がバランスよく配置されており、それぞれの領域ごとに小教材や帯活動が工夫されている。</p> <p>・3年間を通じて「できるようになること」が系統的に設定されており、本文は4人の主人公を中心にした3年間ひと続きのストーリーになっており、共感的に学習することができる。</p> <p>②・各Partで4技能5領域の技能を活用し、基本文コーナーやActive Grammarで文構造や文法等の知識を整理し、活用できるようにしている。</p> <p>・各Unitの基本文には文法の解説動画が付属し、楽しみながら文法についての理解が深められる。</p> <p>・重要語は小学校417語（総578語）＋中学校484語（総659語）＝901語を繰り返しの学習語として設定している。</p> <p>③・各Unitの「Goal」や「You Can Do It!」では複数の領域を横断した活動に取り組むように構成されている。</p> <p>・協働学習を通し思考力・判断力・表現力を養いながら、できることの定着が図れる構成になっている。</p> <p>・帯教材のLet's Talk!は、即興性のあるやり取りができる構成になっている。</p> <p>④・巻頭の「どのように英語を学ぶのでしょうか。」と巻末のCAN-DOリストをチェックしながら、学習を進めることができるようになっている。</p> <p>・各Unitと「You Can Do It!」に「振り返り」のコーナーが設けられていて、次の学びにつなげることができるようになっている。</p> <p>・巻末付録の「英語の学び方ガイド」では、学習に役立つコツを紹介している。</p>	<p>①・各単元は「とびら」（Input/Outputのゴール）→Part（知識・技能の習得）本文を読み、気付きを促すTargetを含む英文を聞く→話す→書くで構成されている。</p> <p>・聞く・読む量を学習段階に応じて増やして、徐々にまとまりのある分量を読み取る・読み取る力を養うようになっている。</p> <p>・どのコーナーでも、紙面上部に目標が掲載され、学習の見通しが立てられるようになっている。Unitでは単元の学習の最後に目標に基づいて自己評価を行い、学習をふり返ることができるようになっている。</p> <p>・興味を引き付ける題材や、今日的な課題についての題材など、日常的な話題から社会的な話題まで、多様な話題を扱っている。</p> <p>②・小学校600～700語、中学校は1600語～1800語を扱うことになっており、重要語を小学校約390語、＋中学校約650語、合計1040語選定し、話す・書くで表現できるようにしている。</p> <p>・Partでは、本文を聞いて生徒の気づきを促し、Targetや語句を確認し、概要や要点を捉えたのちに、Targetがどんなことを伝えたいときに使われるのかを理解させることができる。</p> <p>・「Focus on Form」のページでは、どんなことを言いたいときに、どんな文構造・文法で表現したらいいか解説している。</p> <p>③・「Read/Listen&Think」でまとまった分量の英文を読んだり聞いたりして、話の要点を捉える力やそれに対する自分の考えや気持ちを表現する力を養うことができる。</p> <p>・「Think&Speak/Write」では、学んだ表現を使い、テーマに沿って文章を書いたり、ペアやグループで発表したりする構成になっている。</p> <p>・「Express Yourself」でテーマに沿って短い文章を作り、発表する力を育てる構成となっている。</p> <p>・「Project」では既習の言語材料を使って場面や状況に応じて考え、判断し、表現する総合的な活動が設定されている。</p> <p>④・見通しを持った学習が進められるように、Unitの目標が明示されている。</p> <p>・「英語の学び方」では、音声や語彙、表現など、学習に役立つコツを紹介している。</p> <p>・巻末のCAN-DOリストをチェックしながら学習を進めることができるようになっている。</p>
2	<p><u>文章表現・資料等</u></p> <p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等に配慮がなされているか</p> <p>②子どもの自主的、自発的な学習を促すために、指導者にとっても資料・手引き等が有効に使われるものとなっているか</p>	<p>①・1年は原則2種類のフォントを使用（Unit3までは手書きに近いフォント、Unit4からはブロック体に近いフォント）している。最後のLet's Read②のみ活字体を使用している。2・3年生は原則活字体を使用（本文以外ではブロック体に近いフォントを使用）している。ユニバーサルデザインフォントを使用している。</p> <p>・1年を中心に行間が広くとられており、読みやすくする配慮がされている。</p> <p>②・各ページの二次元コードを読み取ることで、本文（アニメーションも含む）、リスニング音声、基本文の解説、補充用リーディング教材が使用できる。スピーキングの力を伸ばすコンテンツもある。</p> <p>・巻末に帯教材としてStory Retellingができる写真やイラストがまとめられている。</p> <p>・巻末に帯教材として「Let's Talk」があり、スピーキング活動を行うことができるようになっている。</p>	<p>①・1年は原則手書きに近いフォントを使用（最後のLet's Read2は活字体を使用）している。2・3年生は原則活字体を使用している。</p> <p>・本文を中心に文字の大きさが適当である。</p> <p>②・各ページの二次元コードを読み取ることで、本文・新出語彙の音声、リスニング音声、動画コンテンツ（アニメーション・スライドショー・解説）を使用し、学習することができるようになっている。</p>
3	<p><u>挿絵・図表及び紙質・造本</u></p> <p>①内容に応じて、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されているか</p> <p>②図版の大きさ、位置等に配慮がなされているか</p>	<p>①・1つの本文に対して必ず1つ以上の写真やイラストが配置されている。</p> <p>・写真は鮮やかな色調で、イラストは淡い色調で表現されている。</p> <p>・教科書内に問題の答えやメモ等を書き込むスペースが確保されている。1年の4線の2・3線幅が広い。</p> <p>②・カラーユニバーサルデザインに配慮している。</p> <p>・AB版、環境に配慮した紙、植物油インキを使用している。</p> <p>・開いた状態で、手を添えなくても元に戻りづらい。</p>	<p>①・1つの本文に対して必ず1つ以上の写真やイラストが配置されている。</p> <p>・写真は鮮やかな色調で、イラストは淡い色調で表現されている。</p> <p>・教科書内に問題の答えやメモ等を書き込むスペースが確保されている。</p> <p>②・カラーユニバーサルデザインに配慮している。</p> <p>・A4版、再生紙、植物油インキを使用している。</p> <p>・開いた状態で、手を添えなくても元に戻りづらい。</p>
4	<p>教科独自の特色や長所</p> <p>①学習内容が子どもにとって分かりやすく、学んでみたいと思う工夫がなされているか</p>	<p>①・学習者用デジタル教科書には、音声、動画、アニメーション、拡大、書き込み、反転、ルビ、ハイライト、ふせん、録音・再生、フラッシュカードの機能や内容がある。</p> <p>【学習者用デジタル教科書】</p> <p>・音声や映像などのコンテンツに1タップでつながる。画面の拡大や音声の速度調整も簡単にできる。本文のストーリーはアニメーションと実写ドラマがある。</p> <p>・単語の発音は「まなぶ」のフラッシュカードを選び練習ができる。（1タップではない）</p> <p>・教科書二次元コードコンテンツが使用できる。・録音、再生機能で自分の発音を確認できる。</p>	<p>①・学習者用デジタル教科書には、音声、動画、アニメーション、拡大、書き込み、反転、説明読み上げ、カラオケ表示、マスク表示の機能や内容がある。</p> <p>【学習者用デジタル教科書】</p> <p>・映像や音声にアクセスしやすい。画面の拡大や音声の速度調整も簡単にできる。Part本文の実写ドラマがある。</p> <p>・リスニングは答えを見る場合パスワードを設定する。</p> <p>・画面上にヘルプがあり、アイコン一覧と機能の説明がある。アイコンの並べ方はカスタマイズが可能である。</p> <p>・教科書二次元コードコンテンツが使用できる。</p>
5	<p>大分市の子どもの実態</p> <p>①大分市の子どものために親しみがあり、興味をもてる題材が扱われているか</p>	<p>①・3年のUnit2（京都）、Unit3（広島）に修学旅行の話題が取り上げられている。</p> <p>・1年の教科書の最初に「Let's Be Friends」で小学校で学習した基本表現の復習ができるようになっている。</p> <p>・1年の初期段階の文法事項として、be動詞・一般動詞・助動詞canを取り上げている。Unit1でこれら3つの肯定文、Unit2は疑問文で導入する構成になっている。</p> <p>・Unit2で動名詞と不定詞（want to～）が導入されている。</p> <p>・Unit1～Unit3は本文を漫画形式にして場面を推測しやすくしている。</p> <p>・小学校既習語彙には桜マークを付けている。</p>	<p>①・3年のUnit2に修学旅行（広島）の話題が取り上げられている。</p> <p>・Let's Startで小学校で学習した内容を復習できるようになっている。</p> <p>・小学校で「聞く」「話す」を中心に英語を学んできたことを踏まえて、1年のUnit1～Unit5は「話すこと」を中心に設定している。</p> <p>・1年の初期段階の文法事項として、be動詞・一般動詞・助動詞canを取り上げている。Unit1はこれら3つの肯定文と否定文で、Unit2は疑問文で導入する構成になっている。</p> <p>・小学校既習語彙には「小」マークを付けている。</p>
	備考		

令和7年度使用中学校用教科書 調査研究報告書

種目（ 道徳 ）

	発行者番号	2	1 7
	発行者名	東京書籍	教育出版
1	<p><u>単元・題材等の構成及び内容の取扱い</u></p> <p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を効果的に構成して、単元・題材等が設定されているか</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が図られるよう工夫がなされているか</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む観点から、対話的、協働的な学びの場が設定できるなど、学習（言語活動等）が充実し、深い学びにつなげることができているか</p> <p>④主体的に学びに向かう力を育むために、興味・関心を喚起するよう工夫がなされているか</p>	<p>①・学習指導要領及び生徒の実態等に応じた題材の構成になっている。本編（35教材）と付録（4教材）、コラム（16教材）で構成されている。</p> <p>・「情報モラル」「キャリア教育」「国際理解」「防災教育」「地域連携」「人権教育」「環境問題」「伝統・文化」など、中学校学習指導要領総則編の付録に示されている現代的な課題を積極的に取り上げている。小学校との関連を図るとともに、SDG s と関連して扱える教材を各学年3本付録として掲載しており、17のゴールの中から関連して学習できるようにしている。</p> <p>・学年の配当時数に基づき、道徳科の授業を行う上で、適切な教材数を用意し、学年ごとの発達の段階を踏まえ、内容が少しずつ高度になるように配慮している。</p> <p>・各資料に学習指導要領の4つの視点をマークで示し、考える観点が提示されている。</p> <p>・中学校学習指導要領「総則」の道徳教育に関する配慮事項で示されている記述を手がかりに、道徳教育の状況調査を踏まえ、全学年を通じての重点内容項目と学年ごとの重点内容項目を設定している。</p> <p>・巻末の「教材一覧表」で、「関係する主なテーマ」として、現代的な課題への対応を一覧できる。</p> <p>②・長く親しまれている教材「7 1冊のノート」、新たな価値を見いだす教材「9 魔法使いの少年」、防災を題材にした教材「16 水辻村の決断」、人物から道徳的な価値を学ぶ教材「日々を支える、散歩と朝ご飯」、教材として映像を活用（NHK番組）するなど、未知の世界や新しい考えに出合う喜びを味わえるよう、様々なジャンルの教材を集録している。</p> <p>③・物事を多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育むよう配慮している。</p> <p>・巻頭の「道徳の授業はこんな時間に」では、「考え、議論する道徳」を実現するための学習の流れとして、「気づく」「考える」「深める」「広げる」を提示するとともに、学習のテーマや「考えよう」「見つめよう」「『考えよう』をぐっと深める」を具体的に示している。</p> <p>④・1教材当たりの分量を少なめに設定したり、文章の代わりに漫画や写真、イラスト、グラフ等で説明したりするなどの配慮をしている。</p> <p>・教材ごとに二次元コードによる資料閲覧ができ、導入等で生徒の興味・関心を喚起させるのに有効である。</p>	<p>①・学習指導要領及び生徒の実態・能力等に応じた題材の構成になっている。</p> <p>・学校における道徳教育の要として、他教科や総合的な学習の時間、特別活動、学校行事、年中行事などとの関連を図った学習計画が立てやすくしている。また、学年の教材を本教材30本+補充教材5本で構成しており、地域や学校で設定した重点課題などに取り組むなどの柔軟なカリキュラム編成が可能な教材構成としている。</p> <p>・教科書全体は、「さあ、道徳を始めよう！」「本教材とコラム」「補充教材」「『よりよく生きる』って、どういうことだろう？」で構成しており、1年間の学習の流れが見通せるようになっている。</p> <p>・教材は、「学習の視点」「導入」「教材文」「学びの道しるべ」（手引き）で構成しており、1時間の流れが分かりやすく示されている。</p> <p>②・教材末の「学びの道しるべ」（手引き）で、構造化した3つの問いにより、道徳的価値について段階的に深めていけるようにしている。</p> <p>③・全学年を通して、生徒の発達の段階を意識し、教材内容を精選し、じっくりと考えたり対話を通して深めたりする時間が十分とれるようにしている。</p> <p>・物事を広い視野から多面的・多角的に考えたり、道徳的価値を自分との関わりで深めたりすることができる多種多様な教材を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てられるようにしている。</p> <p>・「ひろば」のコーナーでは、コミュニケーションや情報モラルなど、生徒自身の生活を振り返らせることができる。「やってみよう」のコーナーでは、身近な話題を題材に、思考や議論を促している。</p> <p>④・現代社会が抱える様々な問題について、子どもたち一人一人が自ら課題を発見し、思考し、持続可能な社会の形成に積極的に関わっていくとする意欲を高める教材や資料を掲載している。取り扱い内容については専門家による校閲を受けている。</p> <p>・教材を生徒が自分に引きつけて考えることを促す教材冒頭の「導入」で、ねらいとする道徳的価値への意識付けをし、主体的な学びを目指している。</p> <p>・学年末の「『よりよく生きる』って、どういうことだろう？」のページで、1年間の道徳科の学びをこれからの生き方に生かし、生徒それぞれのウェルビーイングの実現につなげていくことができるようにしている。</p>
2	<p><u>文章表現・資料等</u></p> <p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等に配慮がなされているか</p> <p>②子どもの自主的、自発的な学習を促すために、指導者にとっても資料・手引き等が有効に使われるものとなっているか</p>	<p>①・学年相応の文章である。難解語句については、頁下段に分かりやすく表記している。未習の漢字や固有名詞などに振り仮名を振っている。</p> <p>・発達の段階に応じた文字の大きさである。UDフォントを使用しており、字が見やすい。</p> <p>・設問や吹き出しなどには文節改行を施し、読みやすさに配慮している。</p> <p>・色覚特性の観点から、配色とデザインに配慮している。</p> <p>②・コラム等の補助教材は3学年合計92である。</p> <p>・二次元コードからアクセスして見られる資料数は3学年合計309ある。朗読音声、VR映像、ワークシート、心情円、ウェブサイト、映像、資料、他教科リンクなどがあり、各表題の下に一覧が示されている。</p> <p>・資料として各学年付録に「小学校道徳であつかわれる教材」1本と、「道徳×SDG s」3本の、合計4本の教材がある。</p> <p>・学びを振り返る切取りのミシン目のあるシートがある。</p>	<p>①・学年相応の文章である。難解語句については、頁下段に分かりやすく表記している。未習の漢字や固有名詞などに振り仮名を振っている。</p> <p>・発達の段階に応じた文字の大きさである。UDフォントを使用している。文字が大きく行間が広めに設定されている。</p> <p>・言葉のまとまりを捉えやすくするため、文章の改行位置に配慮している。</p> <p>②・コラム等の補助教材は3学年合計31である。</p> <p>・二次元コードからアクセスして見られる資料数は3学年合計158ある。学習に役立つ情報（教材解説、関連動画、外部リンク）を「まなびリンク」としてウェブサイトに掲載している。</p> <p>・学びを振り返る切取りのミシン目のあるシートがある。</p>
3	<p><u>挿絵・図表及び紙質・造本</u></p> <p>①内容に応じて、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されているか</p> <p>②図版の大きさ、位置等に配慮がなされているか</p>	<p>①・教材1つあたりの挿絵・写真の数は、3学年平均で4.8である。</p> <p>・統計資料を使用する教材数は3学年合計5つある。</p> <p>②・写真や挿絵が大きく、適切な位置に配置されている。</p> <p>③・A B判。別冊なし。</p> <p>・環境への配慮から、再生紙・植物油インキを用いている。</p> <p>・用紙の軽量化を図っている。</p>	<p>①・教材1つあたりの挿絵・写真の数は、3学年平均で3.5である。</p> <p>・統計資料を使用する教材数は3学年合計3つある。</p> <p>②・写真や挿絵が大きく、適切な位置に配置されている。</p> <p>③・B 5判。別冊なし。</p> <p>・環境への配慮から、再生紙・植物油インキを用いている。</p> <p>・用紙の軽量化を図っている。</p>
4	<p>教科独自の特色や長所</p> <p>①学習内容が子どもにとって分かりやすく、学んでみたいと思う工夫がなされているか</p>	<p>①・「多様性」を題材にした教材には、パラリンピックで活躍した倉橋さんや、作家の星野さんなどの生き方を扱った教材やマララさんの「すべての子供に教育を」というスピーチの一部を扱った教材、性的マイノリティーの滝沢ななえさんが多様性尊重の社会実現へ挑む姿を扱った教材がある。</p> <p>・「情報モラル」を題材とした教材には調和のあるインターネット利用と投稿の危険性を扱ったものやSNSを通したやりとりの中での危険性、歩きスマホの危険性、SNSでの個人情報の扱いについてなどの教材がある。</p> <p>・「いじめ」を題材とした教材には、漫画風にして考えさせる教材が各学年にあり、イラストからいじめの場面を考えさせ、特に、傍観者について取り上げる教材やいじめの4層構造のそれぞれの立場から考える教材、「中学生サミット」について紹介し、中学生の目線からいじめ問題を考える教材がある。各学年にユニット「いじめのない世界へ」を配置し、複数教材を通して多面的・多角的に、いじめ問題に向き合うことができるよう配慮されている。球技大会や、班編成、合唱コンクール、運動会の大縄跳び、部活動などの取組について話し合うことで互いの考えや思いを理解し合い、よりよい集団になるために自分ができることを考える内容の教材がある。</p> <p>・開発者・新幹線車両清掃員・看護師・作家・和菓子職人・伝統工芸職人・外交官・音楽家・YouTuber・スポーツ選手・宇宙飛行士・発明家・環境活動家・書道パフォーマンスの高校生など、多岐にわたって人物を取り上げている。阿部 詩（柔道選手）・桃田賢斗（バドミントン選手）・マララ（人権活動家）・ヒカキン（YouTuber）・野口聡一（宇宙飛行士）・滝沢秀一（芸人、ごみ清掃員）など、生徒に馴染みのあるスポーツ・文化両面の様々な人の生き方を題材とした教材がある。</p>	<p>①・「多様性」を題材にした教材には、義足の女性がアメリカで自分らしさを隠さない生き方をする姿を扱った教材やダウン症の秋雪さんと家族の姿から「精一杯生きる」ことを考える教材、サッカーの試合で選手たちが人種差別に対する抗議をした出来事を扱った教材がある。</p> <p>・「情報モラル」を題材とした教材にはSNSのルール・マナーやスマホとの上手な付き合い方や適切な利用、SNSや歩きスマホの危険性とマナーなどを扱った教材がある。</p> <p>・「いじめ」を題材とした教材には、日常の出来事からいじめがどうやってはじまるのか、どう止めればよいのかを考える教材や合唱に取り込む姿勢の違いから友達を追い詰めたことについて考える教材、いじめの加害者の視点から、大人になっても残る後悔や心の傷について考える教材がある。全学年に「いじめをなくそう」というユニットを設定し、いじめや差別に対して多種多様な教材から考えていくことができる。宿泊体験や3年生を送る会、合唱コンクールや3年生を送る会などの学校行事を通して、学校の一員として自分にできることは何なのか、考える教材がある。</p> <p>・開発者・スポーツ選手・発明家・落語家・スタントマン・狂言師・医師・空港清掃員・宇宙飛行士・棋士・料理人・歌舞伎役者・写真家・国連難民高等弁務官・アーティスト・外交官・学者・ノーベル平和賞受賞者など多岐にわたって人物を取り上げている。今日和（パラリンピック選手）・桂米朝（落語家）・野村萬斎（狂言師）・藤井聡太（棋士）など、生徒に馴染みのある人の生き方を題材とした教材がある。</p>
5	<p>大分市の子どもの実態</p> <p>①大分市の子どもにとって親しみがあり、興味をもてる題材が扱われているか</p>	<p>①・喫緊の課題である「いじめ防止」「生命の尊重」ユニットとして3つの教材を組み合わせることで、全学年で重点的に取り上げている。また、いじめの問題のユニット、生命尊重のユニット、情報モラル、自己肯定感を育む教材は、指導に最適な時期を考慮し、各学年同じ時期に配列されている。</p> <p>【いじめを題材とした教材】</p> <p>1年：イラストからいじめの場面を考えさせ、特に傍観者について取り上げる教材がある。</p> <p>2年：いじめの4層構造のそれぞれの立場から、いじめの問題を考える教材がある。</p> <p>3年：「中学生サミット」について紹介し、中学生の目線でいじめ問題を考える教材がある。</p> <p>【情報モラルを題材とした教材】</p> <p>1年：調和のあるインターネット利用と投稿の危険性を扱った教材がある。</p> <p>2年：SNSでの投稿に関する問題点やSNSを通したやり取りの中での危険性を扱った教材がある。</p> <p>3年：歩きスマホの危険性やSNSでの個人情報の扱いについて扱った教材がある。</p> <p>・巻頭で、「考え、議論する道徳」を実現するための学習の流れを提示している。</p> <p>・各教材に「つぶやき」欄が設けられ、思ったことや考えを記入することで、話し合い活動を円滑に行えるようになっている。</p>	<p>①・いじめについては、複数教材とコラムからなるユニットを設定し、多様な側面から連続して学ぶことで考えを深めていけるようになっている。また、情報モラルについては、教材に加えてコラムでも扱い、学びを深めることができるようになっている。</p> <p>【いじめを題材とした教材】</p> <p>1年：日常の出来事から、いじめがどうやって始まるのか、どう止めればよいか考える教材がある。</p> <p>2年：合唱に取り込む姿勢の違いから、友達を追い詰めたことについて考える教材がある。</p> <p>3年：いじめの加害者の視点から、大人になっても残る後悔や心の傷について考える教材がある。</p> <p>【情報モラルを題材とした教材】</p> <p>1年：SNSのルール、マナーやスマホとの上手な付き合い方について扱った教材がある。</p> <p>2年：スマホの適切な利用とSNSの危険性について扱った教材がある。</p> <p>3年：歩きスマホの危険性とマナーについて考えることを扱った教材がある。</p> <p>・内容が把握しやすい短かめの教材、漫画写真、絵本などを用いた教材を掲載し、教材の読み取りに偏ることなく、じっくり考え話し合うことができる。</p> <p>・自分の考えを表現したり、他者と考えを交流させたりする言語活動を重視している。また、「問題解決的な学習」や「体験的な学習（モラルスキルトレーニング、役割演技）」などの多様な指導方法を効果的に取り入れている。</p>
	備考		

令和7年度使用中学校用教科書 調査研究報告書

種目（ 道徳 ）

	発行者番号	3 8	1 1 6
	発行者名	光村図書出版	日本文教出版
1	<p><u>単元・題材等の構成及び内容の取扱い</u></p> <p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を効果的に構成して、単元・題材等が設定されているか</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が図られるよう工夫がなされているか</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む観点から、対話的、協働的な学びの場が設定できるなど、学習（言語活動等）が充実し、深い学びにつなげることができているか</p> <p>④主体的に学びに向かう力を育むために、興味・関心を喚起するよう工夫がなされているか</p>	<p>①・学習指導要領及び生徒の実態等に応じた題材の構成になっている。</p> <p>②・よりよい未来に向かって多様な人々と共に生きていくためには、人権に対する感性を磨く必要があり、道徳科として人権に対する知識と考え方を学び、生徒一人一人の感性を高められるよう、人権のユニットを設けている。</p> <p>③・教材と教材のつながりや、道徳の学びと生徒の生活のつながりを意識し、授業で考えたことが生徒のよりよい生き方に結びつく教科書を目指している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 誰もが教材を共通の土台にして考え、しっかりと話し合えるよう配慮している。 生徒が、教材を通して何を学ぶのか、学びのテーマをはっきりと意識することができるようにしている。そして、学びのテーマに迫るため、次のような二つの問いを設定している。道徳的な問題を明らかにする問い（課題の設定）道徳的な価値についての理解や自覚を深める問い（中心となる発問）また、最後にもう一度、「考えよう」に掲げた学びのテーマに戻ることで、本時のまとめができるようにしている。 生徒が、多面的・多角的な見方や考え方ができるよう、「考えよう」とは切り口を変えた問いを設けている。 教材の特質に合わせて、他教科や日常生活、他教材とつなげたり、さらに深めたいテーマへとつなげたりすることを意識した呼びかけを示している。道徳の学びが1時間の授業で終わってしまうのではなく、そこからさらに深く考えたり、行動につなげたりできるよう工夫している。 日常生活にありがちな、道徳的な判断を求められる場面を取り上げ、対話を通して問題を解決しようとする教材を用意している。 読み物を通して考えたことを、活動を通してさらに深めていく教材を用意している。 主体的な学び手を育てるため、1年間の初めに道徳科は何を学ぶ教科なのかを自覚し、自分なりの学びの目標ももてるようにしている。また、学年末には、1年間道徳科で学んだことが、自分にとってどんな意味があったのかをしっかりと振り返れるようにしている。 「チャレンジ」のコーナーでは、生徒自らが課題を設定し考えることを促しており、考え、議論する道徳の一助となっている。 教材によっては、問題解決のための思考のステップが示され、生徒の学習意欲や深まりを喚起している。 <p>④・教科書の二次元コードから容易に教材文の朗読にアクセスすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自ら問いをもち、その問いを探求する姿勢を育めるような工夫をしている。学年の最初に問いをもつ大切さを意識させ、自分の中に芽生えた疑問を問いの形にできるような場を設けている。3学期には、問い合うことによって考えを深め、物事の本質を探求する教材を配置している。 	<p>①・学習指導要領及び生徒の実態等に応じた題材の構成になっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 人間が時に見せる苦悩、奮起する強さや気高さなど、先人や今を生きる人物の多様な生き方に触れ、様々な価値観や生き方に出合える教材を用意している。 中学生の発達の段階に沿って自己肯定感が育めるよう、学年ごとのテーマを設けて教材の選定や配列を工夫している。 日常生活に生かし、希望をもって明るい中学校生活が送れるよう、他教科等との関連にも配慮している。 生徒が1年間の見通しを立て、主体的に取り組めるよう、発達の段階などを踏まえて身近な教材を選定し、各テーマを学ぶ必然性が感じられる時期に設定している。 これからの社会を担う生徒たちが、他者への共感性を高め、多様性を認め合うよりよい社会の実現について自分のこととして考え取り組んでいけるよう、個々や社会の幸せを目指すウェルビーイングを念頭にユニット化している。「自立と共生」「環境と未来」のテーマに沿ってユニットを構成している。また、ユニット以外にも多様性を踏まえて、人間としての生き方やよりよい社会について考えられる教材を配置している。 生徒が感動と共感をもって、興味・関心を高め学習に取り組めるよう、生命の尊重、自然保護、伝統と文化、先人の伝記、スポーツ、情報化への対応等の現代的な課題など、多様な題材を教材として用いている。 「視野を広げて」のコーナーでは、いじめや安全について触れられており、日常や災害時のアンガーマネジメントなど心のもち方について触れられている。 <p>②・これからの社会を創造していく生徒たちが、現代的課題に関わって自分の生き方を考えられるように、テーマを設定しコラムを配置している。</p> <p>③・多様な学習に対応できるように、「問題解決的な学習」「体験的な学習」などのページには、「学びを深めよう」を例示している。</p> <p>④・学びの見通しがもて、主体的・対話的で深い学びが実現できる紙面構成や「学びを深めよう」や「別冊ノート」により、ともに納得し自分の成長が実感できる工夫をしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 新たな発見をもたらし、生徒一人一人が人間としての生き方を前向きに考えたいくなるよう工夫している。 生徒が自主的、主体的に学びやすいように、学びのキーワードと発問例を教材ごとに示している。
2	<p><u>文章表現・資料等</u></p> <p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等に配慮がなされているか</p> <p>②子どもの自主的、自発的な学習を促すために、指導者にとっても資料・手引き等が有効に使われるものとなっているか</p>	<p>①・学年相応の文章表現である。難解語句に関しては頁下段に分かりやすく表記している。未習の漢字や固有名詞などに振り仮名を振っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 発達の段階に応じた文字の大きさである。UDフォントを使用している。 てびきの問いは、意味のまとまりで改行することで、生徒が問われていることの意味をつかみやすいようにしている。 <p>②・コラム等の補助教材は3学年合計52である。</p> <ul style="list-style-type: none"> 二次元コードからアクセスして見られる資料数は3学年合計100ある。朗読音声、資料、動画がある。 資料として各学年付録に読物資料が2本、学習用資料が2本ある。 一人一人の生徒の特性に合わせて教科書をカスタマイズできるよう、文字の大きさを変更できる機能や、全ての漢字に振り仮名を表示する機能、白黒反転機能、機械読み上げ機能等を搭載した学習者用デジタル教科書を準備している。 	<p>①・学年相応の文章である。難解語句については、頁下段に分かりやすく表記している。未習の漢字や固有名詞などに振り仮名を振っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 発達の段階に応じた文字の大きさである。UDフォントを使用している。 <p>②・コラム等の補助教材は3学年合計38である。</p> <ul style="list-style-type: none"> 二次元コードからアクセスして見られる資料数は合計349ある。心情メーター、思考ツール、ワークシート、朗読音声、ウェブリンク、人物紹介、画像、動画がある。 生徒一人一人の学びを支える別冊ノートがある。
3	<p><u>挿絵・図表及び紙質・造本</u></p> <p>①内容に応じて、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されているか</p> <p>②図版の大きさ、位置等に配慮がなされているか</p>	<p>①・教材1つあたりの挿絵・写真の数は、3学年平均で5.2である。</p> <ul style="list-style-type: none"> 統計資料を使用する教材数は3学年合計4つある。 <p>②・写真や挿絵が大きく、適切な位置に配置されている。</p> <p>③・B5変型判。別冊なし。</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境への配慮から、再生紙・植物油インキを用いている。 用紙の軽量化を図っている。 	<p>①・教材一つあたりの挿絵・写真の数は、3学年平均で6.0である。</p> <ul style="list-style-type: none"> 統計資料を使用する教材数は3学年合計4つある。 <p>②・写真や挿絵が大きく、適切な位置に配置されている。</p> <p>③・B5判。別冊（道徳ノート）あり。</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境への配慮から、再生紙・植物油インキを用いている。 用紙の軽量化を図っている。
4	<p>教科独自の特色や長所</p> <p>①学習内容が子どもにとって分かりやすく、学んでみたいと思う工夫がなされているか</p>	<p>①・「多様性」を題材にした教材には、手に障がいがあるペイジさんがインターネットで自分のことを伝える教材やLGBTQ、高齢者、多様なルーツ、障がいなどを扱った教材、ルワンダで義肢の無償提供プロジェクトを立ち上げた日本人女性を扱った教材がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「情報モラル」を題材とした教材には、節度ある端末の使い方についてやインターネットへの依存や利用する中での危険性、インターネット上の著作権やSNS投稿への危険性などを扱った教材がある。 「いじめ」を題材とした教材には、信頼できる友達について考えさせた後、いじめの4層構造について考える教材やからかうことがいじめにつながることやいじめ反対運動について考える教材、修学旅行の班に入れない友だちに関する苦悩や他者理解の大切さを考える教材がある。また、全学年、読み物教材と具体的な活動を伴う「まなびをプラス」で生徒が自分事としていじめ問題を捉えられるように工夫されている。文化祭や合唱コンクール、部活動などの取組について考えることで、集団の一員としてよりよくあるためにどうすればよいかを考える教材がある。 カメラマン・ねぶた師・スポーツ選手・ジャーナリスト・中国の思想家・設計士・民謡歌手・木桶職人・登山ガイド・開発者・漫画家・花火師・彫刻家・建築家など、国内外多岐にわたって人物を取り上げている。北村麻子（ねぶた師）・田中希実（陸上選手）・秋元治（漫画家）・吉田真美（義肢職人）の生き方を題材にした教材がある。 	<p>①・「多様性」を題材にした教材には、性の多様性、個性、特性を互いに認め合うことの大切さを扱った教材や車いすテニスの選手として活躍した国枝さんの生き方を扱った教材、ノーベル平和賞受賞のマララさんの、子どもたちを救うためのスピーチを扱った教材などがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「情報モラル」を題材とした教材には、SNSの使い方や肖像権について知っておくべきこと、インターネットでのマナーや書き込みによるトラブル、依存、肖像権や著作権などを扱った教材がある。 「いじめ」を題材とした教材には、陰口を言われた主人公の姿から、いじめを身近な問題として考える教材や、海外での経験から他者を尊重することの大切さを考える教材、いじめ加害者の後悔から互いに人間として尊重し合う生き方を考える教材などがある。ユニット「いじめと向き合う」は、いじめの事例を直接的に扱った教材と、違う視点から間接的に考える教材の両方で構成され、多面的・多角的に考えられるように工夫されている。ラグビー日本代表の廣瀬さんの行動や漫画「ハイキュー!!」の登場人物の姿、「制服は誰のものなのか」を考える生徒会役員の姿を通して、集団の一員としての行動を考える教材がある。 漫画家・芸術家・樹木医・空港清掃員・バスガイド・役者・スポーツ選手・ジャーナリスト・医師・伝統工芸職人・開発者・義肢装具士・建築家・研究者・ノーベル賞受賞者・外交官など、多岐にわたって人物を取り上げている。マザーテレサ（ノーベル平和賞）・山中伸弥（ノーベル生理学・医学賞）・中村裕（太陽の家）・高橋陽一（漫画家）の生き方を取り上げている。
5	<p>大分市の子どもの実態</p> <p>①大分市の子どもにとって親しみがあり、興味をもてる題材が扱われているか</p>	<p>①・いじめ問題、情報モラルに関する内容では、「学びプラス」を設け、前の時間に教材を読んで考えたことを、次の時間には活動を通して深めたり、違う角度から迫ったりすることで、実感を伴った学びに高められるようになっている。</p> <p>【いじめを題材とした教材】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1年：信頼できる友達について考えさせた後に、いじめの4層構造について考える教材がある。 2年：からかうことがいじめにつながることやいじめ反対運動について考える教材がある。 3年：修学旅行の班に入れない友達に関する苦悩や他者理解の大切さを考える教材がある。 <p>【情報モラルを題材とした教材】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1年：節度ある端末の使い方について扱った教材がある。 2年：インターネットへの依存や利用する中での危険性について扱った教材がある。 3年：インターネット上の著作権やSNS投稿への危険性について扱った教材がある。 <ul style="list-style-type: none"> 問題解決の道筋を視覚化し、何のために、何を話し合うのかが明確になっている。 巻末の「学びの道具箱」では、考えを整理したり話し合いを活性化したりするのに役立つツールが紹介されている。 	<p>①・いじめについて自分たちの問題として主体的に考え議論できるよう、多様な教材やコラムをユニット化し、年間で複数配置している。いじめと向き合うユニットは、5月連休明けと夏休み明けの生徒の人間関係が変化しやすい時期に配置している。また、情報モラルについては、現代的、社会的課題への対応を意識し教材・紙面を構成している。</p> <p>【いじめを題材とした教材】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1年：2学期に陰口を言われた主人公の姿から、いじめを身近な問題として考える教材がある。 2年：筆者の海外での経験から、他者を尊重することの大切さを考える教材がある。 3年：いじめの加害者の後悔から、互いに人間として尊重し合う生き方を考える教材がある。 <p>【情報モラルを題材とした教材】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1年：SNSの使い方や肖像権について知っておくべきことを扱った教材がある。 2年：インターネットでのマナー、書き込みによるトラブル、依存について扱った教材がある。 3年：スマホやSNSとの付き合い方、肖像権、著作権について扱った教材がある。 <ul style="list-style-type: none"> 全ての教材とコラムにデジタルコンテンツが用意されており、考え議論するツールとして活用できる。（動画・参考資料・朗読音声・ワークシート・心情メーター・シンキングツールなど）
	備考		

令和7年度使用中学校用教科書 調査研究報告書

種目（ 道徳 ）

	発行者番号	2 2 4	2 3 2
	発行者名	Gakken	あかつき教育図書
1	<p><u>単元・題材等の構成及び内容の取扱い</u></p> <p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を効果的に構成して、単元・題材等が設定されているか</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が図られるよう工夫がなされているか</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む観点から、対話的、協働的な学びの場が設定できるなど、学習（言語活動等）が充実し、深い学びにつなげることができているか</p> <p>④主体的に学びに向かう力を育むために、興味・関心を喚起するよう工夫がなされているか</p>	<p>①・学習指導要領及び生徒の実態等に応じた題材の構成になっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ひとつのテーマのもと、内容項目が異なる複数の教材を連続して学ぶユニット学習教材を用意し、考えを深めている。テーマは「SDG s」「多様性」「キャリア」の3つで、生徒が広い視野で社会を捉え、よりよく生きることについて多面的・多角的に考えを深めることができるようにしている。 道徳の学びにおいて最も重要なテーマを「いのち」に設定している。生命の尊さや人権を重んじ、多様性を受け入れながら、他者と共によりよく生きることについて考えるようにしている。自分の成長を実感しながら、未来に向かって歩んでいこうとする意欲を育もうとしている。 <p>②・各資料に学習指導要領の4つの視点をマークで示している。また、教材文の後ろに、考え、話し合うための問いかけがある。</p> <p>③・主体的・対話的に学ぶヒントとなるオリエンテーションのページを用意し、「考えを深める4つのステップ」に沿って学ぶ特設ページ「深めよう」を教材の後に適宜配置し、授業の流れが具体的に分かるようにしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 特設ページ「クローズアップ」では、教材の内容項目に則した関連情報、多様な意見、内容項目が異なる視点からの関連情報などを扱い、教材を軸に多面的・多角的に考える機会をつくっている。 生徒の問題意識を尊重し、自ら考え、議論する道徳が実現できるように、教材の構成や発問を工夫している。 自分について考えた上で、現代的な課題を自分事として考えられるよう工夫されている。 <p>④・現代的な課題とともに自分自身を見つめることができるページを巻頭に設けている。SDGs を表現した大判イラストを背景に、現代的な課題への関心と課題に取り組む意欲を生み出し、学びの見通しを立てることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1年間の学びを振り返りながら、未来をイメージするページで、自分の成長を確認することができる。また、学年間のつながりも意識できる。 日々の道徳の授業について気付いたことを記録する「学びのメモ」と学期ごとに道徳の学びを振り返る「学びの記録」を巻末の綴じ込みとして付けている。記録を通して、生徒が自らの成長に気づき、自己を深く見つめることができる。 	<p>①・学習指導要領及び生徒の実態等に応じた題材の構成になっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> これまで読み継がれてきた定番の読み物教材を大切にしながら、様々な形式の教材を精選している。生徒に新鮮な驚きと感動を与えると共に、授業者にとって多様な指導方法を取り入れやすい内容となっている。各学年での発達段階を考慮しながら、生徒に身近な題材だけでなく、大人が読んでも心に残るような題材を選んでいる。生徒同士での対話だけでなく、教師や保護者とも対話が深まる道徳が実現できることを目指している。 様々な現代的課題の取り扱いを重点的に検討し、一部のテーマは1学年の中で連続的に学習できるようユニット化している。また、そのユニットを3学年で展開し、発達の段階に合わせた教材を設けることで、継続して学びを広げ、深められる構造にしている。 <p>②・巻末付録では、SDGs の目標と道徳科の学びの関連を示している。1時間の学習で終わらず、継続的な学びの機会となるよう工夫している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教材を読んで考えるための視点を提示し、この教材で「何を」「どのように」考えるのかを授業者と生徒が共有できるようにしている。 <p>③・各学年3つの教材に「マイ・プラス」を設置し、学習の進め方を提示している。生徒がいろいろな立場に立って想像したり考えたりできるように問いを設定している。話し合いや役割演技を取り入れて、授業を活発に、また円滑に進めることができるようにしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒がフラットに教材と出合うことができるよう、内容項目についての記載はしていない。決まった答えを答えさせる授業、1つの結論に導く授業にならないように配慮している。 <p>④・巻末に、学期ごと及び1年間の学習の振り返りができるワークシート「学習の記録」を用意している。切り取って使用することができるので、管理しやすい。振り返りの記述は、生徒が自分自身の成長に気付くきっかけとなり、教師にとっては評価の際の資料として生かすことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教材ごとの発問が共通した観点（自分を見つめて考える・いろいろな見方で考える・考えを深める・自分との対話）によって示されており、精選されている。生徒の思考を促すだけでなく、評価の一助にもなる。 教材の後に配置した補助資料を授業の終末や事後に読むことで感動や思考を促す工夫をしている。また、教材とSDG sとの関連や様々な地域の事例を紹介しており、終末や事後に使用することで生徒の視野を広げることができる。
2	<p><u>文章表現・資料等</u></p> <p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等に配慮がなされているか</p> <p>②子どもの自主的、自発的な学習を促すために、指導者にとっても資料・手引き等が有効に使われるものとなっているか</p>	<p>①・学年相応の文章である。難解語句については、頁下段に分かりやすく表記している。未習の漢字や固有名詞などに振り仮名を振っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 発達の段階に応じた文字の大きさである。UDフォントを使用している。 <p>②・コラム等の補助教材は3学年合計59である。</p> <ul style="list-style-type: none"> 二次元コードからアクセスして見られる資料数は3学年合計38ある。画像、思考ツール、動画、年表がある。 学びを振り返る切取りのミシン目のあるシートがある。 	<p>①・学年相応の文章である。難解語句については、頁下段に分かりやすく表記している。未習の漢字や固有名詞などに振り仮名を振っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 発達段階に応じた文字の大きさである。UDフォントを使用している。文字が大きく行間が広めに設定されている。 <p>②・コラム等の補助教材は3学年合計18である。</p> <ul style="list-style-type: none"> 二次元コードからアクセスして見られる資料数は、3学年合計56ある。ウェブリンク、動画、資料がある。一部の教材では、授業の導入として使える動画と終末に使える動画をそれぞれ収録。導入では授業を円滑に進める手助けとなり、終末では感動的な余韻で授業を締めくくることができる。 付録にSDG sに関する資料とふるさとに関する資料が各1本ある。 学びを振り返る切取りのミシン目のあるシートがある。
3	<p><u>挿絵・図表及び紙質・造本</u></p> <p>①内容に応じて、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されているか</p> <p>②図版の大きさ、位置等に配慮がなされているか</p>	<p>①・教材一つあたりの挿絵・写真の数は、3学年平均で5.8である。</p> <ul style="list-style-type: none"> 統計資料を使用する教材数は3学年合計4つある。 <p>②・写真や挿絵が大きく、適切な位置に配置されている。</p> <p>③・A B判。別冊なし。</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境への配慮から、再生紙・植物油インキを用いている。 製本には、リサイクル性の高いPORのりを使用している。 	<p>①・教材1つあたりの挿絵・写真の数は、3学年平均で4.6である。</p> <ul style="list-style-type: none"> 統計資料を使用する教材数は3学年合計2つある。 <p>②・写真や挿絵が大きく、適切な位置に配置されている。</p> <p>③・B5判。別冊なし。</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境への配慮から、再生紙・植物油インキを用いている。 用紙の軽量化を図っている。
4	<p>教科独自の特色や長所</p> <p>①学習内容が子どもにとって分かりやすく、学んでみたいと思う工夫がなされているか</p>	<p>①・「多様性」を題材にした教材には、筋ジストロフィーの青年と耳と声が不自由な陶芸家との出会いを扱ったものやLGBTQについて、性を表す4つの要素やカミングアウトについて扱ったもの、パラリンピック陸上女子走り幅跳びの選手の生き方を扱った教材などがある。全学年に「色とりどりに輝く」というユニット学習がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「情報モラル」を題材とした教材には、インターネットでのマナー、トラブル、依存、活用やSNSでのトラブル、スマホやSNSとの付き合い方、肖像権や著作権などを扱った教材がある。 「いじめ」を題材とした教材にはSNSでの会話の問題点を捉え、偏見なく接する人間関係について考える教材や吹奏楽部の部長と部員との関係を描いた漫画から集団生活について考える教材、いじめの加害者の後悔から、いじめをしてしまうことについて考える教材がある。いじめ防止を多面的・多角的な視点から、年間を通して「自分事として捉える」ために、様々な内容項目の教材から学べるようになっている。駅伝部や陸上部、吹奏楽部など部活動の取り組みを通して、集団の一員としてどんな行動をすればよいか、考える教材がある。 宇宙飛行士・翻訳家・柔道家・中学校教師・伝統芸能家・職人・芸能人・開発者・ねぶた師・農家・スポーツ選手・研究者など、国内の歴史上の人物や現在活躍している人物を数多く取り上げている。野口聡一（宇宙飛行士）・イチロー（野球選手）・高梨沙羅（スキージャンプ選手）・松井秀喜（野球選手）・長谷部誠（サッカー選手）・山中伸弥（医師）・上杉鷹山・伊能忠敬（江戸時代の先人）などの生き方を題材とした教材がある。 	<p>①・「多様性」を題材にした教材には、母国ケニアで植林活動をするマータイさんの、権力に屈しない生き方を扱った教材や国や文化の異なる人や障がいのある人と共に生きることを考える教材、人権差別と闘いノーベル平和賞を受けたネルソン・マンデラの生き方を扱った教材がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「情報モラル」を題材とした教材には、インターネットでの誹謗中傷や情報リテラシーについて扱った教材、SNSの使い方やスマホへの依存について扱った教材、個人情報に関するSNSでのトラブルやインターネットの危険性を扱った教材がある。 「いじめ」を題材とした教材には、幼なじみ同士の会話から、周囲の人の視線に左右される弱さについて考える教材やいじめの加害者に対して注意する主人公の思いについて考える教材、いじめをテーマとした児童生徒の詩を読み、様々な視点でいじめ問題を考える教材がある。「いじめ」について全学年、5月6月に重点的に学習できるように教材が配置されている。選手としてではなく、チームを支える立場の人の行動や思いについて考えることで集団の中での自分の役割について考える教材がある。 スポーツ選手・新幹線の運転士・医師・環境保護活動家・球審・実業家・職人・獣医・大統領・医学研究者・ノーベル平和賞受賞者など、国内外多岐にわたって人物を取り上げている。・安藤百福（インスタントラーメン発明家）・又吉直樹（芸人・作家）・羽生結弦（プロスケーター）・大谷翔平（プロ野球選手）池江璃花子（水泳選手）など、生徒に馴染みのある著名人の生き方を題材とした教材がある。
5	<p>大分市の子どもの実態</p> <p>①大分市の子どものために親しみがあり、興味をもてる題材が扱われているか</p>	<p>①・「いのちの教育」を土台とし、「多様性」と「いじめ防止」の教材を連携させることで、年間を通じていじめのない社会づくりに取り組めるようになっている。また、情報モラルについて、生徒の発達や成長に合わせた教材を取り上げ、課題について考えることができるようになっている。</p> <p>【いじめを題材とした教材】</p> <p>1年：SNSでの会話の問題点を捉え、偏見なく接する人間関係について考える教材がある。</p> <p>2年：吹奏楽部の部長と部員との関係を描いた漫画から、集団生活について考える教材がある。</p> <p>3年：いじめの加害者の後悔から、いじめをしてしまうことについて考える教材がある。</p> <p>【情報モラルを題材とした教材】</p> <p>1年：SNSでの会話の問題点を捉え、偏見なく接する人間関係について考える教材がある。</p> <p>2年：インターネットの活用の仕方やSNSでのトラブルについて扱った教材がある。</p> <p>3年：スマホやSNSとの付き合い方、肖像権、著作権について扱った教材がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「考えを深める4つのステップ」に沿って学ぶ特設ページ「深めよう」教材の後に適宜配置している。 デジタルコンテンツの活用により、学びの幅を広げ、考えを深められる。 話し合いがたいくさる良質な発問を吟味し、適切な本数を掲載している。 	<p>①・いじめ問題、情報モラル等重要なテーマについては、連続して配列し、学びを深められるようになっている。また、生命尊重といじめ防止は最重要課題とし、関わりの深い内容項目の配当時間を考慮している。</p> <p>【いじめを題材とした教材】</p> <p>1年：幼なじみ同士の会話から、周囲の人の視線に左右される弱さについて考える教材がある。</p> <p>2年：いじめの加害者に対して注意する主人公の思いについて考える教材がある。</p> <p>3年：いじめをテーマとした児童生徒の詩を読み、様々な視点でいじめ問題を考える教材がある。</p> <p>【情報モラルを題材とした教材】</p> <p>1年：インターネットでの誹謗中傷や情報リテラシーについて扱った教材がある。</p> <p>2年：SNSの使い方やスマホへの依存について扱った教材がある。</p> <p>3年：個人情報に関するSNSでのトラブルやインターネットの危険性を扱った教材がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学年3つの教材に「マイ・プラス」を設置し、生徒がいろいろな立場に立って想像したり考えたりできるように問いを設定されている。話し合いや体験的な学習を取り入れて、授業を活発に、円滑に進めることができるようになっている。
	備考		

令和7年度使用中学校用教科書 調査研究報告書

種目（ 道徳 ）

	発行者番号	2 3 3
	発行者名	日本教科書
1	<p><u>単元・題材等の構成及び内容の取扱い</u></p> <p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を効果的に構成して、単元・題材等が設定されているか</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が図られるよう工夫がなされているか</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む観点から、対話的、協働的な学びの場が設定できるなど、学習（言語活動等）が充実し、深い学びにつなげることができているか</p> <p>④主体的に学びに向かう力を育むために、興味・関心を喚起するよう工夫がなされているか</p>	<p>①・学習指導要領及び生徒の実態等に応じた題材の構成になっている。</p> <p>・生徒の道徳的価値への自覚を促す多彩な読み物教材やワーク教材等が用意されている。また、学習指導要領総則にある重点項目については十分に内容を吟味し、掲載している。発問には「考えよう」「深めよう」と示し、学習活動が端的に分かる工夫をしている。本教材以外にも、道徳的価値に迫るための折込ページを設け、我が国、郷土の伝統文化を中心に取り上げている。</p> <p>・各学校の年間指導計画に寄り添ったカリキュラム構成がしやすいように、視点別内容項目順に教材配列をしている。</p> <p>・長く親しまれ、続いてきた伝統文化とともに、意識的に守り続け価値付けていく伝統文化を取り上げ、文化の担い手としての意識を高める教材を配置している。（「分け火」巻末付録「わたしたちの郷土」）</p> <p>・【情報モラルの問題】各学年に、情報モラルの問題を過不足なく扱っている。（「情報の光と闇 ～ファクトチェック～」）、【生命尊重】「命」のありようについてしっかり認識できるように扱っている。（「誰かのために」）、【キャリア教育】キャリア形成について認識し、考えさせる教材を選定している。（「パーソナリティー」ほか）、【SDGs】持続可能な発展に関わる題材についても留意して取り上げ、グローバルな見方・考え方ができる教材を導入している。（「百の診療所より、一本の用水路を」）</p> <p>②・「個別の知識・技能」については、各内容項目ごとに設置した道徳的価値に迫るための活動場面において、生徒の個々の経験や現状を確認できるように配慮している。</p> <p>③・「思考力・判断力・表現力等」については、各発問に伴う言語活動として設定し、「道徳的課題に注目する発問」「課題についての見方を広げたり考えを深めたりする発問」「大事なことを自分自身のこととして見つめる発問」等のそれぞれの場面で発揮できるようにしている。</p> <p>・問題解決的な学習、体験的な活動については、教材の特性に合わせて発問や展開を工夫している。</p> <p>④・「学びに向かう力、人間性」については、各教材の発問「深めよう」において、自らのこれからの在り方を考える場面を設定している。</p> <p>・「ウェルビーイングカード」が付録としてあり、生徒同士の活発な話し合いを支援している。</p> <p>・教科書の冒頭に「ガイダンス」教材を配置し、道徳学習の進め方、振り返り、小教材による演習を設定している。各教材の発問には、「考えよう」「深めよう」を置き、学習活動を明確に提示している。</p>
2	<p><u>文章表現・資料等</u></p> <p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等に配慮がなされているか</p> <p>②子どもの自主的、自発的な学習を促すために、指導者にとっても資料・手引き等が有効に使われるものとなっているか</p>	<p>①・学年相応の文章表現である。難解語句については、頁下段に詳しく表記している。固有名詞や常用漢字などに振り仮名を振っている。</p> <p>・発達の段階に応じた文字の大きさである。UDフォントを使用している。文字が大きく行間が広めに設定されている。</p> <p>②・コラム等の補助教材は3学年合計3である。</p> <p>・二次元コードからアクセスして見られる資料数は、3学年合計49ある。音声朗読、動画、ウェブリンクがある。</p>
3	<p><u>挿絵・図表及び紙質・造本</u></p> <p>①内容に応じて、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されているか</p> <p>②図版の大きさ、位置等に配慮がなされているか</p>	<p>①・教材一つあたりの挿絵・写真の数は、3学年平均で3.1である。</p> <p>・統計資料を使用する教材数は3学年合計4つある。</p> <p>②・写真や挿絵が大きく、適切な位置に配置されている。</p> <p>③・A B判。別冊なし。</p> <p>・環境への配慮から、再生紙・植物油インキを用いている。</p>
4	<p>教科独自の特色や長所</p> <p>①学習内容が子どもにとって分かりやすく、学んでみたいと思う工夫がなされているか</p>	<p>①・「多様性」を題材にした教材には、車椅子テニスで活躍した国枝さんの座右の銘をテーマに扱った教材や明治時代に日本人女性として初めて医師になった萩野吟子の人生を扱った教材、日本人とアメリカ人を両親にもつ副島さんの外見で決めないことを扱った教材がある。</p> <p>・「情報モラル」を題材とした教材には、情報の信用性について注意すべきことについて扱った教材やAIとの付き合い方についての留意点を扱った教材、SNSでの誹謗中傷をなくすためのディベートを扱った教材がある。</p> <p>・「いじめ」を題材とした教材には、いじめの被害者、被害者の親、傍観者などのコメントからいじめの原因を考える教材や中学時代のいじめを娘に告白する主人公の姿から、心の弱さについて考える教材、いじめについての会話から、立場の違う者同士が認め合うことについて考える教材がある。卒業生の手紙や運動会の係活動、吹奏楽部のコンクールへの出場などの題材で、よりよい集団生活を送るためにどうすればよいかを考える教材がある。全学年でいじめを題材とした教材を扱っており、3年間で学びを進めることができる。</p> <p>・スポーツ選手・実業家・人権活動家・思想家・デザイナー・医師・研究者・タレント・職人・国連難民高等弁務官など各界で活躍する人を取り上げている。国枝慎吾（車いすテニス選手）・加藤セチ（研究者）・井上康生（柔道）・ドリアーノ・スミス（琵琶修復師）の生き方を題材とした教材がある。</p>
5	<p>大分市の子どもの実態</p> <p>①大分市の子どものために親しみがあり、興味をもてる題材が扱われているか</p>	<p>①・各学年ともに、特に「公正、公平、社会正義」の内容項目においては意識的に教材を選定し、いじめにつながる問題に正対して考えるように配慮されている。それ以外の内容項目においても、生徒の学校生活の中で陥りやすい場면을積極的に取り上げ、常に気を付けなければいけないこととして認識できるようにしている。また、情報モラルの問題を過不足なく扱っている。</p> <p>【いじめを題材とした教材】</p> <p>1年：いじめの被害者、被害者の親、傍観者などのコメントからいじめの原因を考える教材がある。</p> <p>2年：中学時代のいじめを娘に告白する主人公の姿から、心の弱さについて考える教材がある。</p> <p>3年：いじめについての会話から、立場の違う者同士が認め合うことについて考える教材がある。</p> <p>【情報モラルを題材とした教材】</p> <p>1年：情報の信頼性について注意すべきことについて扱った教材がある。</p> <p>2年：AIとの付き合い方についての留意点を扱った教材がある。</p> <p>3年：SNSでの誹謗中傷をなくすためのディベートを扱った教材がある。</p> <p>・読み取りの偏重から脱却し、「考え議論し、探究する道徳」授業への転換を図りやすいように工夫している。</p>
	備考	